SONY®

4-450-870-**01**(2)

ポータブルラジオレコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。
この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ICZ-R51

⚠警告 安全のために

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- **安全のための注意事項を守る**
- **故障したら使わない**
- **万一異常が起きたら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する**

警告表示の意味

この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなど人身事故が生じます。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号


火災


感電

行為を禁止する記号


禁止


分解禁止


ぬれ手禁止


接触禁止



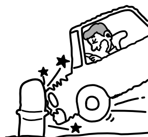




下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

運転中は使用しない

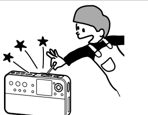




- 自動車、オートバイなどの運転をしながらヘッドホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に充分ご注意ください。

内部に水や異物を落とさない

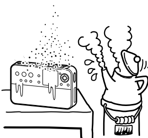




水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電池を抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所には置かない





火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。

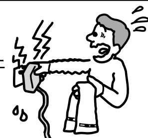
雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない



感電の原因となります。

ぬれた手でACアダプターをさわらない





感電の原因となることがあります。

海外で使用しない

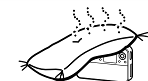




交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

本体やACパワーアダプターを布団などでおおった状態で使わない





熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

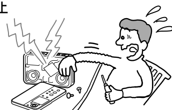


下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

内部を開けない

感電の原因となることがあります。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。





大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。





はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音がでて耳を痛めることがあります。



- 本製品の不具合により、録音や再生ができなかった場合、および録音内容が破損または消去された場合など、いかなる場合においても録音内容の補償についてはご容赦ください。
  また、いかなる場合においても、当社にて録音内容の修復、復元、複製などはいたしません。
- 本製品を使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- お客様が録音したものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

バックアップのおすすめ

万一の誤消去や、ポータブルラジオレコーダーの故障などによるデータの消滅や破損にそなえ、大切な録音内容は、必ず予備として、パソコンまたはメモリーカードに保存してください。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、以下の注意事項を必ずお守りください。

電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。
種類によっては該当しない注意事項もあります。

充電式電池
ニカド（Ni-Cd）
ニッケル水素（Ni-MH）
リチウムイオン（Li-ion）

乾電池
アルカリ、マンガン

ボタン型電池
リチウムなど

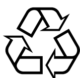
⚠危険 充電式電池、乾電池、ボタン型電池が液漏れしたとき

- 充電式電池、乾電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない。
- 液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口（裏表紙）またはソニーサービス窓口に相談する。
- 液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるため、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師に相談する。
- 液が身体や衣服についたときは、やけどやけがの原因になるため、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談する。

⚠危険 充電式電池について

- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- バッテリーキャリングケースが付属されている場合は、必ずキャリングケースに入れて携帯、保管する。
- 火の中に入れない。
- ショートさせたり、分解したり、加熱したりしない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。
- 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多いところで使わない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけない。
- 指定された種類の充電式電池以外は使用しない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 種類の違う電池を混ぜて使わない。

日本国内での充電式電池の廃棄について



Ni-MH

ニッケル水素充電池は、リサイクルできます。不要になったニッケル水素充電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。
充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については一般社団法人JBRCホームページ http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html を参照してください。



乾電池、ボタン型電池について

- 小さい電池は飲み込むおそれがあるので、乳幼児の手の届かないところに保管する。**電池を飲み込んだときは、窒息や胃などへの障害の原因になるので、ただちに医師に相談してください。**
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。
- ショートさせたり、分解したり、加熱したりしない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 使い切った電池は取りはずす。長時間使用しないときや、USB ACアダプターで使用するときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。
- 液漏れした電池は使わない。



乾電池、ボタン型電池について

- 火のそばや直射日光の当たるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。
- 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多いところで使わない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけない。
- 指定された種類の電池以外は使用しない。

お願い

使用済み充電式電池は貴重な資源です。端子（金属部分）にテープを貼るなどの処理をして、充電式電池リサイクル協力店にご持参ください。

マニュアルについて



紙で見る

本書(取扱説明書)

ポータブルラジオレコーダーの詳細操作情報を記載しています。

クイックスタートガイド(別冊)

ポータブルラジオレコーダーの基本操作(録音・再生・消去)や上手に録音、ポータブルラジオレコーダーを活用するための情報などを記載しています。



パソコン
スマートホン
タブレットで見る

ヘルプガイド

パソコンでポータブルラジオレコーダーを楽しむ情報も含めた詳細な情報や、困ったときの対処方法を調べることができます。
(→ 122ページ)

また、外出先などでスマートホンやタブレット端末で調べることもできます。

ポータブルラジオレコーダー サポート・お問い合わせページ
(→ 121ページ)

トラブルの解決方法や接続機器の互換性情報、最新情報を掲載しています。

Sound Organizerヘルプ(→ 95ページ)

Sound Organizerの使いかたについて詳しく記載しています。

目次

ラジオを録音する

再生する

マイクで録音する

編集する

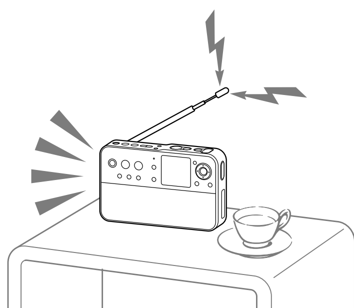
設定を変更する

パソコンを活用する

困ったときは

その他

こんなことができます



ラジオを聞く

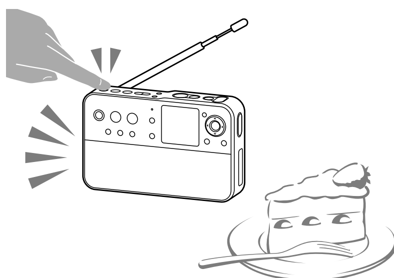
ラジオ放送をカンタン受信

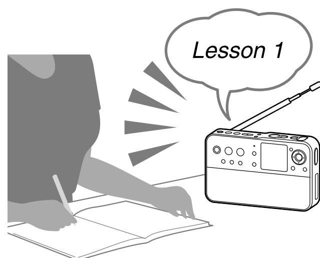
AM/FMラジオ放送のほか、外部入力によるインターネットラジオ放送などが楽しめます。
お気に入りの放送局は、あらかじめ登録しておけば、ボタンひとつでラクラク選局。

ラジオを録る

ラジオ番組をラクラク録音予約

深夜番組や、毎日放送される語学講座も、録音予約で聞き逃しません。
録音ボタンを押すだけで、聞いている番組をすぐに録音できます。





再生する

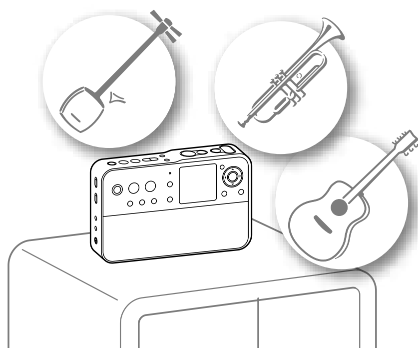
大型スピーカーでクリアに再生

聞き取れなかったフレーズは、再生速度を遅くしたり、リピート再生することもできます。

マイクで録る

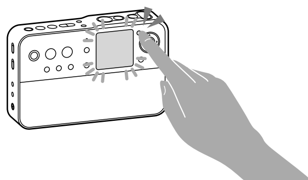
内蔵マイクで手軽に録音

ICレコーダーボタンを押すと、内蔵マイクを使った録音が可能に。
楽器練習から口述録音まで、さまざまなシーンに合わせて録音できます。
内蔵メモリーのほか、メモリーカードにも録音できます。



暗い部屋での操作も

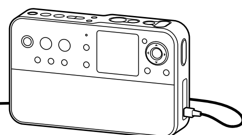
ライトボタンで、表示窓のバックライトを点けたり消したりできます。暗い部屋での操作に便利です。



録音した音声の編集も

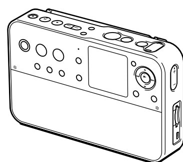


後で聞き返すのに便利なように、音声ファイルを分けたり移動したり、編集もカンタン。
アプリケーションソフトを使って、パソコンでのバックアップ、再生、編集もできます。



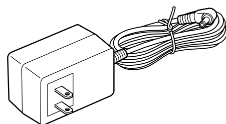
準備1：箱の中身を確認する

本体（1）

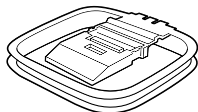


表示窓に貼られているフィルムをはがしてお使いください。

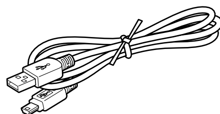
ACアダプター（5V）（1）



AMラジオ用ループアンテナ（1）

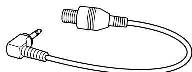


USBケーブル（1）



パソコンに接続する場合は必ず付属のケーブルを使って、接続してください。

FMラジオ用アンテナ接続ケーブル（1）



取扱説明書（1）

保証書（1）
（取扱説明書の裏面に印刷されています。）

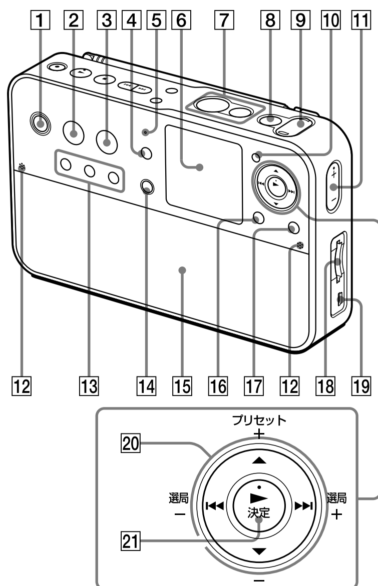
クイックスタートガイド（1）

ポータブルラジオレコーダー本体の内蔵メモリーには、ヘルプガイドとアプリケーションソフトSound Organizerが保存されています。
ヘルプガイドとアプリケーションソフトSound Organizerは、パソコンにインストールしてお使いください。

この取扱説明書で説明している以外の変更や改造を行った場合、ポータブルラジオレコーダーを使用できなくなることがありますので、ご注意ください。

各部のなまえ

本体（表面）



1 電源ボタン

2 AM ／ FM ／外部入力ボタン

3 ICレコーダーボタン

4 予約ボタン

5 アクセスランプ

6 表示窓

7 イージーサーチ（戻る（－3秒）、進む（+10秒））ボタン

8 速度調節（DPC）標準ボタン

9 速度調節（DPC）速く、遅くボタン

10 ライトボタン

11 音量＋*／－ボタン

12 内蔵マイク（ステレオ）

13 お気に入りラジオ局（1、2、3）ボタン

14 ファイル消去ボタン

15 スピーカー

16 録音済ファイルボタン

17 メニュー／終了ボタン

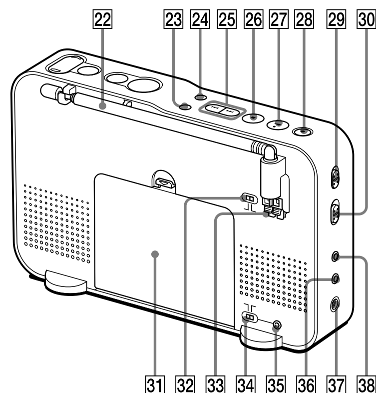
18 メモリースティック デュオ™/SDメモリーカードスロット
（本書では、メモリースティック デュオ™とSDカードを総称して「メモリーカード」と呼びます。また、メモリースティック デュオ™/SDカードカードスロットは「メモリーカードスロット」と呼びます。）

19 ⭠ （USB）端子

20 コントロールボタン（▲（プリセット+）、▼（プリセット−）、⏮（選局−）、⏭（選局+））

21 ► 決定ボタン*

本体(裏面)



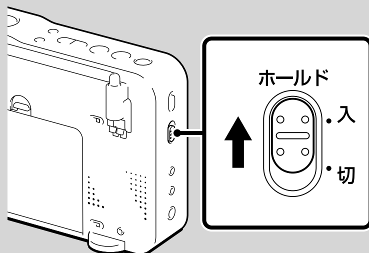
22 ロッドアンテナ
23 トラックマークボタン
24 ⇆(リピート) A-Bボタン
25 ⏮ 早戻しボタン、⏭ 早送りボタン
26 ■ 停止ボタン
27 ► 再生ボタン*
28 ● 録音/一時停止ボタン
29 ラジオノイズカットスイッチ
30 ホールドスイッチ
31 電池ぶた
32 内蔵/外部 AMアンテナ切り換えスイッチ
33 AMラジオ用ループアンテナ接続端子
34 本体/外部 FMアンテナ切り換えスイッチ
35 FMラジオ用アンテナ接続ケーブルジャック
36 外部入力(オーディオ/マイク)ジャック*
37 DC入力 5V端子
38 🎧(ヘッドホン)ジャック

* 凸点(突起)がついています。操作の目安、端子の識別としてお使いください。

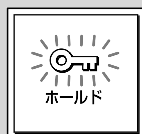
誤操作を防止する（ホールド）

ポータブルラジオレコーダーを持ち運ぶ際など、誤ってボタンが押されて動作するのを防ぐために、すべてのボタン操作を無効にすることができます（ホールド）。

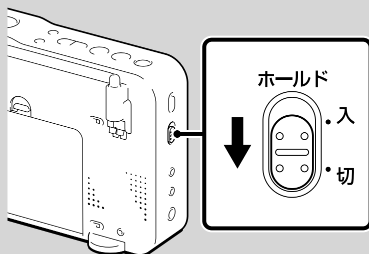
ボタンを操作できなくするには



ホールドスイッチを「入」の位置にスライドします。
「ホールド」が約3秒間表示され、すべてのボタン操作が無効になります。



ボタンを操作できるようにするには



ホールドスイッチを「切」の位置にスライドします。

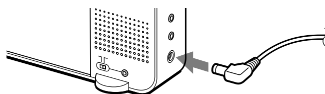
ご注意

- 録音中にホールドにした場合、すべてのボタン操作が無効になります。録音を止めるには、まずホールドを解除してください。
- オンタイマー再生を止めるには、まずホールドを解除してください。

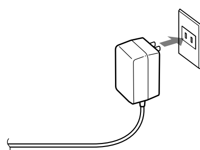
準備2：電源について

ACアダプターで使う

1 ACアダプター（付属）のDCプラグをポータブルラジオレコーダー左側面のDC入力 5V端子につなぐ。



2 ACアダプターをコンセントに差し込む。



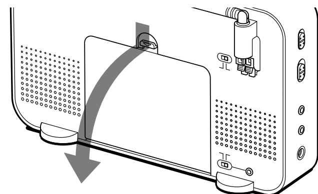
ご注意

- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
- ACアダプターは、お手近なコンセントを使用してください。使用中、不具合が生じたときは、すぐにコンセントからプラグを抜き、電源を切ってください。
- ACアダプターのプラグを金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。
- ACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。

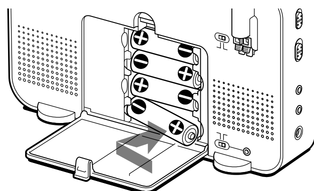
電池で使う

乾電池（別売）を入れる

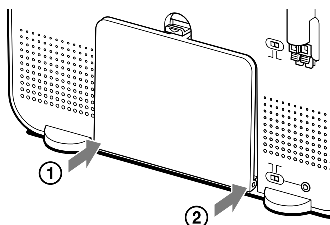
1 電池ぶたのツメを矢印の方向へ押しながら開ける。



2 単3形アルカリ乾電池（別売）を4本入れ、ふたを閉める。
どの電池も（－）から先に入れてください。



お買い上げのあと、初めて電池を入れたときや、電池を抜いたまま長時間お使いにならなかったあとに電池を入れたときには、時計設定画面が表示されます。「電源を入れてすぐに時計を合わせる」（21ページ）の手順に沿って時計を合わせてください。



電池ぶたは落としたり、無理な力を加えたりするとはずれることがあります。そのときは上の図のように、電池ぶたを本体側の形に合わせて置き、電池ぶたの左右2箇所（①、②）を上から押し込みはめ直してください。

充電式電池（別売）を使うには

ポータブルラジオレコーダーで充電式電池を充電することはできません。

充電済みの以下の充電式電池を「乾電池（別売）を入れる」と同じ手順でポータブルラジオレコーダーに入れて使用できます。

- 充電式単３形ニッケル水素電池（別売）：NH-AA-4BKB

ご注意

ポータブルラジオレコーダーにはマンガン電池はお使いになれません。

ヒント

- 電池を交換する際、電池を取りはずしても録音したファイルや予約設定は消えません。
- 電池を交換する際、電池を取りはずしても約20日間、時計は動いています。この間に新しい電池に交換することをおすすめします。

電池を交換する時期

電池の残量が少なくなってくると、表示窓のアニメーション表示でお知らせします。

電池の残量表示

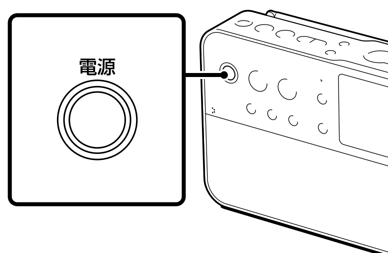
：電池の交換時期が近づいています。



：「電池残量がありません」が表示され、操作ができなくなります。

準備3：電源を入れる

電源を入れるには



電源ボタンを押すと、「アクセス中...」のアニメーションが表示され電源が入ります。

電源を切るには

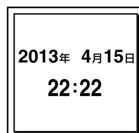
電源ボタンを押すと、「電源オフ」のアニメーションが表示されます。
しばらくたつと表示が消灯して電源が切れます。

ヒント

- 長時間ご使用にならない場合は、電源を切っておくことをおすすめします。
- ICレコーダーモードで停止状態のまま操作せずに放置していると、約60分後に電源が自動的に切れます。

現在時刻表示について

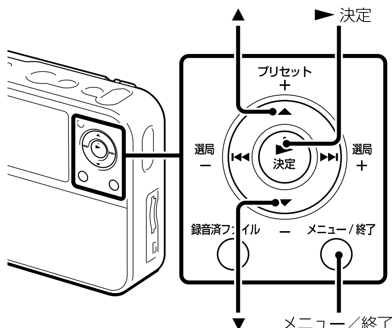
ポータブルラジオレコーダーをACアダプターでお使いの場合、電源を切ると現在時刻が表示されます。
ライトボタンを押すと、バックライトを消すことができます。



ご注意

電池でお使いになっている場合は、表示されません。

準備4：初期設定をする



タイマーや録音予約機能を使用して、希望の番組を正確に録音したり、録音した日時を記録するためには、次の順序で初期設定を行う必要があります。

- **時計を合わせる**
- **地域設定を行う**
- **自動時刻補正機能を有効にする**

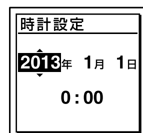
電源を入れてすぐに時計を合わせる

お買い上げのあと、初めて電源を入れたときや、ポータブルラジオレコーダーに電源がない状態（電池が入っていない、ACアダプターをつないでいないなど）で約20日以上経過した場合は、時計設定がクリアされます。以下の手順で時計を設定し直してください。

1 年月日と時分を合わせる。

コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、年の数字（西暦の4桁）を選び、► 決定ボタンを押します。同じ手順で、月、日、時、分の順に設定します。

コントロールボタンの ⏮ または ⏭ を押すと、年、月、日、時、分を移動することができます。

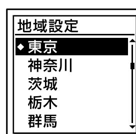


時計を合わせると、「受信する地域を設定してください」とメッセージが表示されます。次の「現在いる地域を設定する」の手順に従って、地域を設定してください。

現在いる地域を設定する

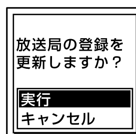
現在いる地域を設定すると、ラジオの放送局を自動でプリセット登録することができます。お買い上げ時は地域設定されていません。

1 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して地域を選び、► 決定ボタンを押す。



地域については次ページの「地域一覧」をご覧ください。

2 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して「実行」を選び、► 決定ボタンを押す。



地域が設定されると、「時報を利用して自動的に時刻を合わせますか？」とメッセージが表示されます。
次の「自動的に時刻を補正する」の手順に従って、自動時刻補正を有効に設定してください。

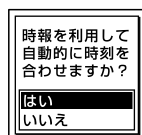
ちょっと一言

地域が正しく設定されるとAMのプリセット番号P01に、時報補正に使用する、NHK第1放送またはNHK第2放送が設定されます。

自動的に時刻を補正する

自動時刻補正を有効にすると、NHK第1放送またはNHK第2放送の時報に合わせて、自動的に時刻が補正されます。

1 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して「はい」を選び、► 決定ボタンを押す。



メッセージが表示され、自動時刻補正機能が有効に設定されます。

停止画面が表示されます。

自動時刻補正のしくみ

ポータブルラジオレコーダーでは、0:00、8:00、16:00の1日3回、およびそれぞれの時刻の1時間前に時刻確認を行います。この両方で電源が切られた状態で、AMラジオのP01に登録されたNHK放送の時報を自動的に検出し、時刻の補正を行います。
時刻補正を行うためには以下の条件を満たしている必要があります。

- 時計が設定されている。
- ポータブルラジオレコーダーの設定時刻と時報の時刻の差が3分以内に設定されている。
- 地域が正しく設定されている。（AMラジオのプリセット番号P01に時報を放送するNHK第1放送またはNHK第2放送が登録されている。）
- 時刻補正メニューの設定が「自動時刻補正」になっている。
- 時刻補正を行う定刻の前後3分間、事前確認を行う定刻の1時間前の前後3分間に電源を切っている。

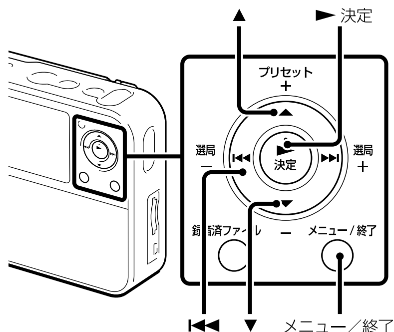
ご注意

- 以下の場合は、自動時刻補正ができません。
  – AMのプリセット番号P01に、時報補正に使用する、NHK第1放送またはNHK第2放送が設定されていない場合
  – ラジオの受信状態が悪い場合
  – 予約録音動作中の場合
  – 設定された時刻が3分以上ずれていて、処理中に時報音が検出できない場合
- 自動時刻補正中に電源ボタンを押した場合、AM/FM/外部入力ボタンで放送を切り換えた場合、またはラジオの周波数を変更した場合は、自動時刻補正は停止します。

地域一覧

地域名	地域名
北海道（札幌）	富山
北海道（函館）	石川
北海道（旭川）	福井
北海道（帯広）	大阪
北海道（釧路）	京都
北海道（北見）	兵庫
北海道（室蘭）	滋賀
青森	奈良
岩手	和歌山
秋田	鳥取
宮城	島根
山形	岡山
福島	広島
埼玉	山口
千葉	徳島
東京	香川
神奈川	愛媛
茨城	高知
栃木	福岡（福岡）
群馬	福岡（北九州）
山梨	佐賀
長野	長崎
静岡	大分
愛知	熊本
岐阜	宮崎
三重	鹿児島
新潟	沖縄

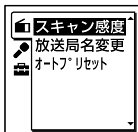
メニューを使って時計を合わせるには



ラジオ受信中、外部入力再生中または停止中にメニューを使って時計を合わせることができます。
ここではラジオ受信中の画面を例に説明します。

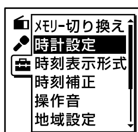
1 メニュー画面で「時計設定」を選ぶ。

① メニュー／終了ボタンを押してメニューモードに入る。
メニュー画面が表示されます。



② コントロールボタンの ◀◀ を押したあと、コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して (本体設定)タブを選び、► 決定ボタンを押す。

③ コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「時計設定」を選び、► 決定ボタンを押す。



2 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「2013年1月1日」を選び、► 決定ボタンを押す。



3 年月日と時分を合わせる。
コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、年、月、日、時、分の順で数字を選び、► 決定ボタンを押す。
年を設定するときは、西暦の4桁の数字を選んでください。

4 メニュー／終了ボタンを押して、メニューモードを終了する。

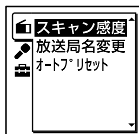
ご注意
それぞれの手順の間を1分以上あけると、設定中の項目がキャンセルされ、通常の表示に戻ります。

メニューを使って現在いる地域を設定するには

ラジオをお使いになる地域が変わったら、次の手順で地域を設定し直してください。
ラジオ受信中、外部入力再生中または停止中にメニューを使って地域を設定することができます。
ここではラジオ受信中の画面を例に説明します。

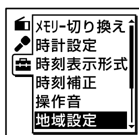
1 メニュー画面で「地域設定」を選ぶ。

① メニュー／終了ボタンを押してメニューモードに入る。
メニュー画面が表示されます。

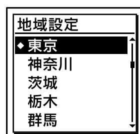


② コントロールボタンの ⏮ を押したあと、コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して 🧰(本体設定)タブを選び、► 決定ボタンを押す。

③ コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して「地域設定」を選び、► 決定ボタンを押す。

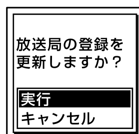


2 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して地域を選び、► 決定ボタンを押す。



地域については「地域一覧」(22ページ)をご覧ください。

3 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して「実行」を選び、► 決定ボタンを押す。



地域が設定されます。

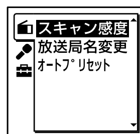
4 メニュー／終了ボタンを押して、メニューモードを終了する。

メニューを使って時刻補正を設定するには

ラジオ受信中、外部入力再生中または停止中にメニューを使って、時刻補正の設定を変更することができます。
ここではラジオ受信中の画面を例に説明します。

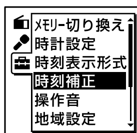
1 メニュー画面で「時刻補正」を選ぶ。

① メニュー／終了ボタンを押してメニューモードに入る。
メニュー画面が表示されます。



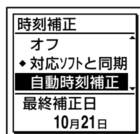
② コントロールボタンの ⏮ を押したあと、コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して 🧰(本体設定)タブを選び、► 決定ボタンを押す。

③コントロールボタンの▲または▼を押して「時刻補正」を選び、► 決定ボタンを押す。



2 コントロールボタンの▲または▼を押して「オフ」、「対応ソフトと同期」または「自動時刻補正」を選び、► 決定ボタンを押す。

メッセージが表示され、時計補正方法が設定されます。



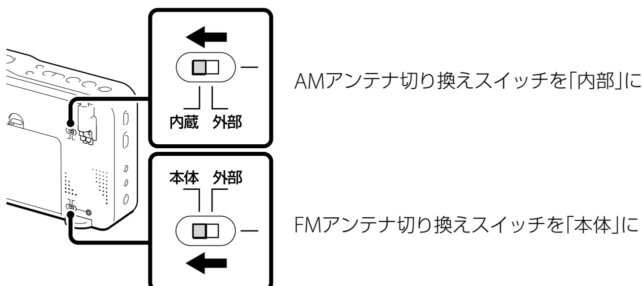
「オフ」を選んだ場合：
「時計設定」画面で、手動で時計合わせを行ってください。
「対応ソフトと同期」を選んだ場合：
ポータブルラジオレコーダーをパソコンにつないでアプリケーションソフトSound Organizerを起動すると、パソコンの時計に自動的に合わせます。
「自動時刻補正」を選んだ場合：
AMラジオのP01に登録したNHK第1放送またはNHK第2放送の時報を利用して、時刻が自動的に補正されます。「最終補正日」欄には、自動時刻補正を行った最終日が表示されます。

3 メニュー／終了ボタンを押して、メニューモードを終了する。

ラジオを聞く

1 ホールドスイッチが「切」になっていること、また内蔵／外部AMアンテナ切り換えスイッチが「内蔵」、本体／外部FMアンテナ切り換えスイッチが「本体」になっていることを確かめる。

付属のAMラジオ用ループアンテナを接続しない状態、付属のFMラジオ用アンテナ接続ケーブルを使い、お部屋のテレビ受信用アンテナ端子に接続しない状態で、内蔵／外部AMアンテナ切り換えスイッチと本体／外部FMアンテナ切り換えスイッチが「外部」になっていると、AM/FMラジオの受信ができません。ご注意ください。なお、AM/FMラジオの受信状態がよくない場合は、33ページの手順に沿って付属のAMラジオ用ループアンテナや、FMラジオ用アンテナ接続ケーブルをつなぎ、切り換えスイッチを「外部」にしてください。

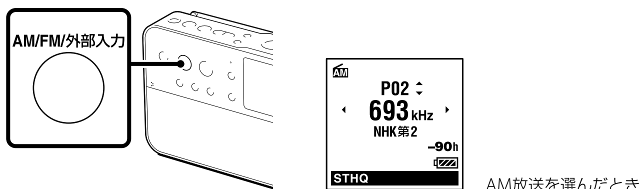


AMアンテナ切り換えスイッチを「内部」に

FMアンテナ切り換えスイッチを「本体」に

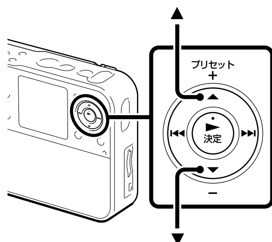
2 AM ／ FM ／外部入力ボタンを押して、AM放送またはFM放送画面を表示する。

AM ／ FM ／外部入力ボタンを押すごとに、AM放送、FM放送、外部入力の順に切り換わります。



AM放送を選んだとき

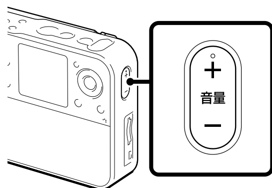
3 コントロールボタンの▲（プリセット+）または▼（プリセットー）をくり返し押して選局する。



ヒント

初期設定で、現在いる地域を設定しておく必要があります。
詳しくは「現在いる地域を設定する」（21ページ）をご覧ください。

4 音量＋／－ボタンを押して、音量を調節する。

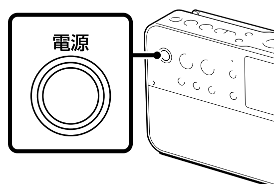


ヒント

- ポータブルラジオレコーダーのお気に入りラジオ局ボタンにお好みの放送局を登録することができます。詳しくは「お気に入りラジオ局に登録する」（30ページ）をご覧ください。
- 周波数で選局して聞くこともできます。詳しくは「周波数を選んで聞く」（35ページ）をご覧ください。

ラジオを止めるには

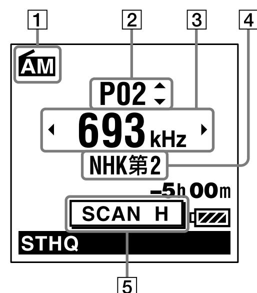
1 電源ボタンを押す。



ヒント

電源を切らずに、AM/FM/外部入力ボタンを押して外部入力モードに切り換えたり、ICレコーダーボタンを押してICレコーダーモードに切り換えることができます。

ラジオ受信画面



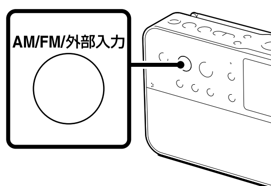
1 バンド(AM、FM)、外部入力(⊕)マーク
2 プリセット番号
3 周波数
4 放送局名
放送局名を設定していない場合は放送局名は表示されません。
5 スキャン感度表示(スキャン時)

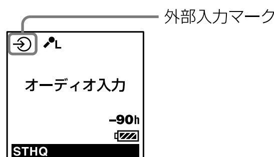
外部入力につないだ機器を聞く

外部入力(オーディオ/マイク)ジャックにつないだ機器の音源を再生することができます。

1 AM ／ FM ／外部入力ボタンを押して、⊕(外部入力)を選ぶ。

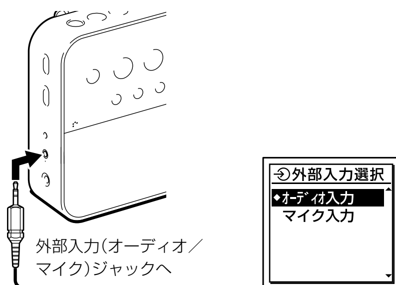
AM ／ FM ／外部入力ボタンを押すごとに、AM放送、FM放送、外部入力の順に切り換わります。





2 再生機器をポータブルラジオレコーダーの外部入力(オーディオ/マイク)ジャックにつなぐ。

「⊕外部入力選択」画面が表示されます。



3 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して「オーディオ入力」を選び、► 決定ボタンを押す。

「シンクロ録音機能を使って録音しますか？」と表示されます。

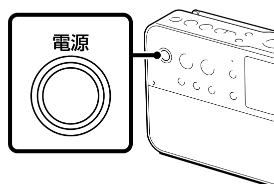
4 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して「いいえ」を選び、► 決定ボタンを押す。

5 外部入力(オーディオ／マイク)ジャックにつないだ機器の再生を開始する。

6 音量＋／－ボタンを押して、音量を調節する。

外部入力再生を止めるには

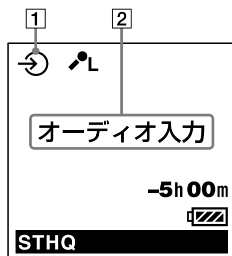
1 電源ボタンを押す。



ヒント

AM/FM/外部入力ボタン、お気に入りラジオ局ボタン、またはICレコーダーボタンを押すと、電源を切らずに、外部入力以外のモードに切り換えることができます。

外部入力画面



1 外部入力マーク

2 外部入力表示
AM/FM/外部入力ボタンで、(外部入力)を選択したときに、「オーディオ入力」または「マイク入力」と表示されます。

ヒント

「外部入力選択」で「オーディオ入力」を選ぶと「シンクロ録音機能を使って録音しますか？」と表示されます。外部入力音声を再生する場合は「いいえ」を選んでください。外部入力音声を録音する場合は、録音状況に合わせてシンクロ録音機能を使うか使わないかを選ぶことができます（64ページ）。

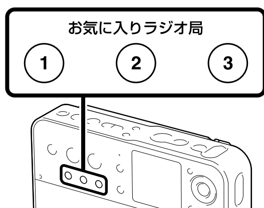
お気に入りラジオ局に登録する

よく聞く放送局はお気に入りラジオ局ボタンに登録すると、ワンタッチで選局することができ便利です（35ページ）。3つのお気に入りラジオ局ボタンにそれぞれ1つずつ放送局を登録できます。

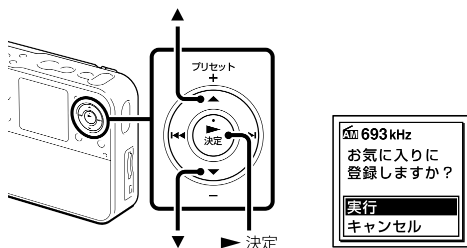
1 **「ラジオを聞く」（26ページ）の手順に従って、登録したい放送局を選局する。**

2 登録先のお気に入りラジオ局ボタン(1 ～ 3)を2秒以上押したままにする。

バンドと周波数、および「お気に入りに登録しますか？」が表示されます。



3 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して「実行」を選び、► 決定ボタンを押す。



お気に入りラジオ局ボタンに放送局が登録されます。登録をやめるには、コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して「キャンセル」を選び、► 決定ボタンを押します。

ご注意

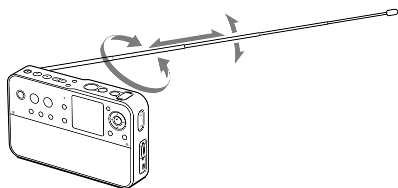
- お気に入りラジオ局ボタンに登録できるのは、AM、FMあわせて3つの局のみです。
- すでに放送局が登録されているお気に入りラジオ局ボタンを登録先にした場合は、あとから選んだ放送局で上書き登録されます。
- お気に入りラジオ局ボタンに登録した放送局は、別の放送局に上書き登録できますが、削除することはできません。
- 約10秒間操作しないと、登録実行画面は消え、ラジオ受信画面に戻ります。

ラジオの受信状態をよくする

雑音（ノイズ）の少ないラジオ受信のしかたについて詳しくは、付属の「クイックスタートガイド」をご覧ください。

FM放送の場合

ポータブルラジオレコーダー背面にあるロッドアンテナを充分に伸ばし、もっともよく受信できる向きに調整してお聞きください。



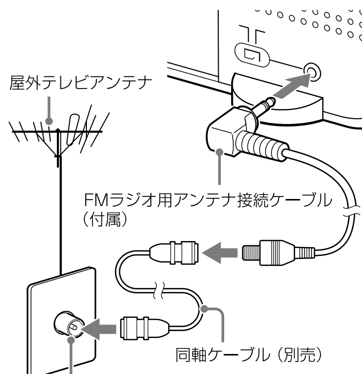
FMラジオ用アンテナ接続ケーブルジャックを使うには

ポータブルラジオレコーダーのロッドアンテナの向きを調節しても、FMラジオの受信状態がよくない場合は、FMラジオ用アンテナ接続ケーブル（付属）を使って、お部屋のテレビ受信用アンテナ端子につないでください。

ご注意

外部アンテナ端子にケーブルを接続する前に、電源を切り、ACアダプターを取りはずしてください。

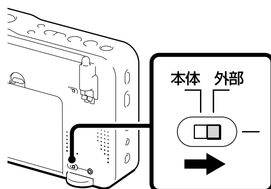
1 付属のFMラジオ用アンテナ接続ケーブルと、別売の同軸ケーブルを使ってお部屋のテレビ受信用アンテナ端子に接続する。



ご注意

- 壁のアンテナ端子が、屋外VHFテレビまたはFM放送を送信しているケーブルテレビを受信している場合、FM放送の感度が向上します。ただし、接続先のアンテナ端子の環境によっては、受信状態が本体ロッドアンテナより悪くなる場合もあります。
- ケーブルテレビ局などを経由してテレビを受信している場合、ラジオ放送局の周波数が通常と異なることがあります。詳しくは、ケーブルテレビ局などにお問い合わせください。

2 本体／外部FMアンテナ切り換えスイッチを「外部」の位置にスライドする。

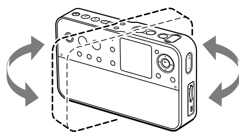


ご注意

ポータブルラジオレコーダーのロッドアンテナで受信する場合は、「本体」の位置に戻してください。

AM放送の場合

アンテナが内蔵されているので、ポータブルラジオレコーダーの向きによって受信状態が変わります。ポータブルラジオレコーダーをもっともよく受信できる向きにしてお聞きください。



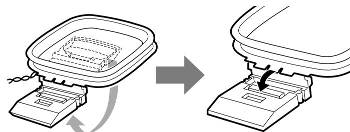
AMラジオ用ループアンテナ（付属）を使うには

ポータブルラジオレコーダーの向きを調節してもAMラジオの受信状態がよくない場合は、AMラジオ用ループアンテナ（付属）を取り付けてください。

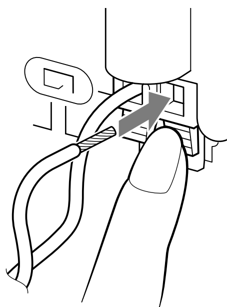
1 AMラジオ用ループアンテナを下図のように組み立てる。

アンテナに巻かれているアンテナコードをほどき、台を起こす

アンテナを起こして溝にはめる（カチッと音がするまで確実にはめる）

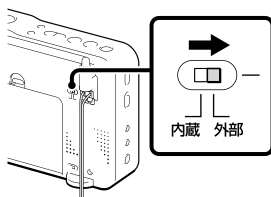


2 AMラジオ用ループアンテナ接続端子のレバーを押しながらアンテナコードを接続する。



レバーを押して、金属導線部(アンテナコードがむき出しになっている部分)を確実にはさむ。
必ず、左右の端子、2か所ともはさんでください。

3 内蔵／外部AMアンテナ切り換えスイッチを「外部」の位置にスライドする。

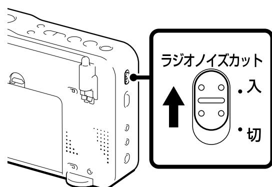


ご注意

AMラジオ用ループアンテナは、受信状態の良い場所や方向を探して設置してください。雑音の原因になるため、本体や他のAV機器から離してください。

電波が弱く、雑音が気になるときは

ラジオノイズカットスイッチを「入」の位置にスライドしてください。

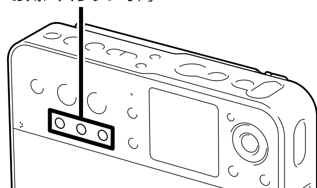


ご注意

ラジオノイズカット機能は、ICレコーダーモードまたは、外部入力モードでは働きません。ラジオ受信時、ラジオ録音時にのみノイズカット機能が働きます。

いろいろなラジオ選局方法

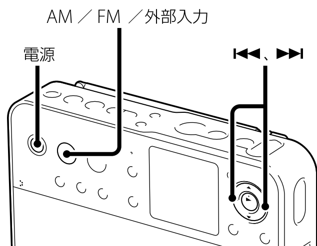
お気に入りラジオ局で聞く



「お気に入りラジオ局に登録する」(30ページ)で登録した放送局をワンタッチで選局して聞くことができます。

1 聞きたい放送局が登録されているお気に入りラジオ局ボタン(1 ～ 3)を押す。

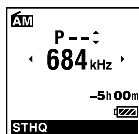
周波数を選んで聞く



1 AM ／ FM ／外部入力ボタンを押して、AM放送またはFM放送画面を表示する。

AM ／ FM ／外部入力ボタンを押すごとに、AM放送、FM放送、外部入力の順に切り換わります。

2 コントロールボタンの ⏮ (選局－)または ⏭ (選局+)を繰り返し押して選局する。



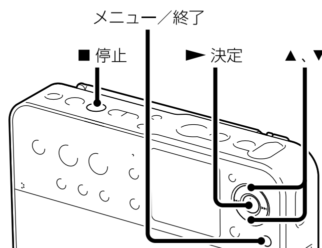
3 ラジオを止めるには電源ボタンを押す。

オートスキャン選局するには

手順2で、コントロールボタンの ⏮ (選局－)または ⏭ (選局+)を、画面上の周波数が変わり始めるまで長押しすると、周波数をスキャンし、放送を受信すると自動的に停止します。
放送を受信できない場合は、コントロールボタンの ⏮ (選局－)または ⏭ (選局+)を1回ずつ繰り返し押してください。

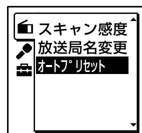
ラジオ放送局をプリセット登録する

自動でプリセット登録する



ラジオ放送局を検出し、プリセット番号に自動で登録することができます。AM、FMそれぞれで最大30件まで登録することができます。

1 ラジオ受信中にメニュー → (ラジオ)タブ → 「オートプリセット」を選び、► 決定ボタンを押す。



「オートプリセットしますか？」と表示されます。

2 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「実行」を選び、► 決定ボタンを押す。

受信可能な放送局をスキャンし、プリセット番号に低い周波数から高い周波数へ順に自動登録します。登録するのは、現在受信中のバンド(AMまたはFM)のみです。
オートプリセット実行中、登録予定のプリセット番号が点滅します。

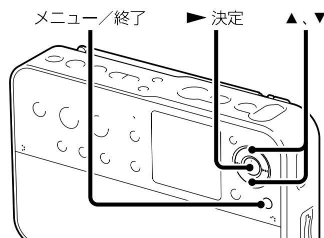
オートプリセットを止めるには

■ 停止ボタンを押してください。■ 停止ボタンを押した時点までに登録したプリセット番号は保持されます。

ご注意

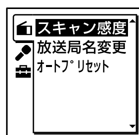
オートプリセットを実行すると、地域設定(21ページ)でプリセット登録された放送局が消去されます。オートプリセットで登録された周波数が地域設定の周波数と一致した場合は、放送局名も自動的に設定されます。

スキャン感度を設定するには

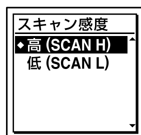


プリセット時のスキャン感度を設定できます。

1 ラジオ受信中にメニュー → (ラジオ)タブ → 「スキャン感度」を選び、► 決定ボタンを押す。



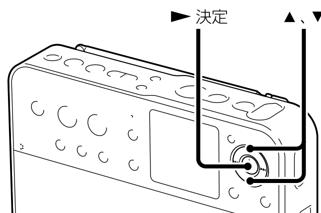
2 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「高(SCAN H)」または「低(SCAN L)」を選び、► 決定ボタンを押す。



お買い上げ時は、「高(SCAN H)」設定になっています。ノイズなどが登録されてしまう場合は、設定を「低(SCAN L)」に変更して再度プリセットをお試しください。

3 メニュー／終了ボタンを押して、メニューモードを終了する。

手動でプリセット登録する



登録されていないラジオ放送局をプリセット登録することができます。ポータブルラジオレコーダーに登録されていない中継局を登録する場合などに、この方法でプリセット登録してください。AM、FMそれぞれで最大30件まで登録することができます。

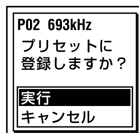
1 「周波数を選んで聞く」(35ページ)の手順1、2で、プリセット登録したい放送局を選局する。

選局した放送局がプリセット登録されていない場合、「P--」が表示されます。この場合、新たにプリセット登録することができます。

2 ► 決定ボタンを押す。

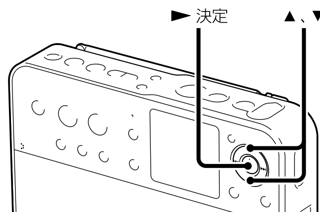
プリセット番号と周波数、および「プリセットに登録しますか？」が表示されます。

3 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「実行」を選び、► 決定ボタンを押す。



放送局がプリセット登録されます。

プリセット登録を消去する



1 「ラジオを聞く」(26ページ)の手順1、2で、登録を消去したい放送局のプリセット番号を表示する。

2 ► 決定ボタンを押す。

プリセット番号と周波数、および「プリセットを消去しますか？」が表示されます。

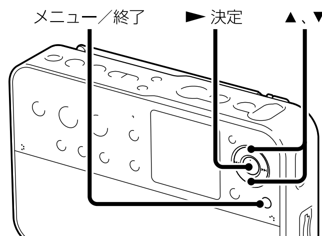
3 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「実行」を選び、► 決定ボタンを押す。

プリセット番号が「P--」へ変わります。

ご注意

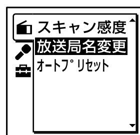
自動時刻補正は、AMラジオのP01にプリセット登録されたNHK第1放送またはNHK第2放送の時報を利用するため、P01のプリセット登録を消去すると、自動時刻補正ができなくなります。自動時刻補正機能をお使いの場合は、時報を受信するAMラジオのP01のプリセット登録は消さないようにしてください。なお、時刻補正メニューで「自動時刻補正」が選択されている場合、AMラジオのP01のプリセット登録を消去しようとするとメッセージが表示されます。

放送局名を変更する



受信中のプリセットされた放送局に、放送局名を選んで割り当てることができます。選んだ放送局名は、ラジオの受信画面などに表示されます。ポータブルラジオレコーダーにあらかじめ登録されている放送局（110ページ）の中継局（同地域で同じ放送をしている放送局）に放送局名を割り当てたい場合などにご使用ください。

1 ラジオ受信中にメニュー → （ラジオ）タブ →「放送局名変更」を選び、► 決定ボタンを押す。



2 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して放送局名を選び、► 決定ボタンを押す。



ご注意

「設定なし」を選択すると、放送局名は登録されません。

3 メニュー／終了ボタンを押して、メニューモードを終了する。

ご注意

- 地域設定（21ページ）されていない場合は、放送局名の変更はできません。
- プリセットされていない周波数に対しては、放送局名の変更はできません。

受信中のラジオを録音する

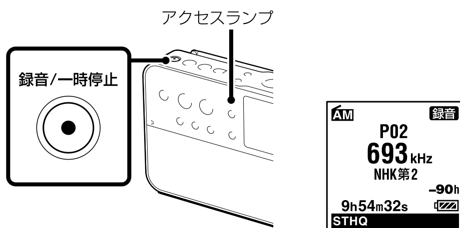
ご注意

- 録音中に録音予約開始時刻になった場合は、録音予約が優先されます。
- 録音を始める前に、必ず電池残量表示（19ページ）および受信環境、録音可能時間などをを確認してください。

1 ホールドスイッチが「切」になっていることを確かめてから、「ラジオを聞く」（26ページ）の手順に従って、録音したい放送局を選ぶ。

外部入力（オーディオ／マイク）ジャックにつないだ機器から録音する場合は、「外部入力につないだ機器を聞く」（28ページ）の手順に従って外部入力を選びます。

2 ● 録音／一時停止ボタンを押す。



録音が始まり、アクセスランプが赤く点灯します。
保存先メモリーに多くのファイルが保存されている場合、アクセスに時間がかかり、すぐに録音が始まらない場合があります。

ご注意

録音中は選局や外部入力を変更できません。

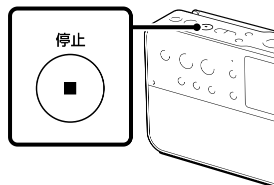
ヒント

- 保存先は「メモリー切り換え」で選んだメモリーになります（81ページ）。
- ラジオ放送を録音する場合は、録音ファイルの保存先フォルダは自動的に作成されます。録音予約の自動分類と同様にフォルダ名を放送局名や周波数で作成します（44ページ）。すでに同名のフォルダが存在する場合はそのフォルダ内に保存されます。
- 外部入力を録音する場合は、「外部入力」フォルダに保存されます。該当するフォルダがない場合は、自動的に作成されます。

録音を止めるには

1 ■ 停止ボタンを押す。

録音中に● 録音／一時停止ボタンを押すと、録音を一時停止できます。



アクセス中のご注意

画面上に「アクセス中...」のアニメーションが出ている間は、メモリーへ録音データを記録しています。アクセス中は、電池をはずしたり、ACアダプターを抜き差ししたりしないでください。データが破損するおそれがあります。

その他の操作

録音を一時停止する*	● 録音／一時停止ボタンを押す。 録音一時停止中はアクセスランプが赤く点滅し、●II（録音一時停止）表示と録音経過時間表示が点滅します。
録音一時停止を解除する	もう一度 ● 録音／一時停止ボタンを押す。 先ほど録音していたファイルに続けて録音することができます。（録音一時停止後、録音を続けず、停止するときは、■ 停止ボタンを押します。）

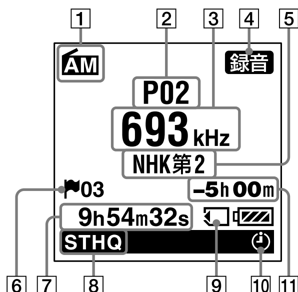
* 録音を一時停止して約1時間たつと、録音一時停止は解除され、録音停止になります。

ヒント

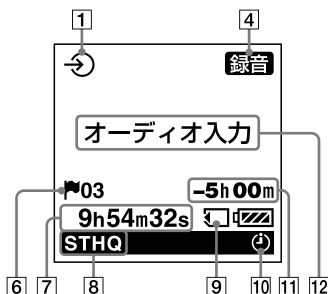
- ひとつのフォルダには最大199のファイルが録音できます。
- Sound Organizerを使うと、フォルダを消去することができます（91ページ）。
- 録音の設定は、付属の「クイックスタートガイド」を参照してください。

ラジオ／外部入力録音画面

ラジオ録音時



外部入力録音時



1. バンド(AM、FM)、外部入力(⊕)マーク
2. プリセット番号
3. 周波数
4. 動作モード表示
   録音：録音中
   ●II：録音一時停止中に点滅
5. 放送局名
   放送局名を設定していない場合は放送局名は表示されません。
6. トラックマーク表示
7. 録音経過時間
   録音一時停止中に点滅します。
8. 録音モード表示
   メニューで設定されている録音モードが表示されます。
9. メモリーカード表示
   現在使用しているメモリーがメモリーカードのときにのみ表示されます。
10. 予約表示
    録音予約やオンタイマーが設定されているときに表示されます。
11. 録音可能時間表示
    録音可能時間を時間、分、秒で表示します。
    10時間以上の場合：時間
    10分以上、10時間未満の場合：時間と分
    10分未満の場合：分と秒
12. 外部入力表示
    AM/FM/外部入力ボタンで、⊕(外部入力)を選択したときに、「オーディオ入力」または「マイク入力」と表示されます。

ラジオ／外部入力を録音予約する

録音予約する前にお読みください

録音を始める前に

- 録音予約を始める前に、受信環境／外部入力状態や電池残量、録音可能時間などをご確認ください。
- 録音予約の開始時刻約1分前になると録音準備状態となり、録音予約を設定した放送局や外部入力から切り換えることができなくなります。

録音中について

メモリーがいっぱいになると、録音が停止します。

録音予約について

- 録音予約できる件数は20件までです。
- 録音予約する場合、1件で23時間59分（最大連続録音時間）を超える設定の予約はできません。
- 内蔵メモリーおよびメモリーカードへの最大録音時間について詳しくは120ページをご覧ください。
- 電源を切っていても、録音予約は実行されます。
- ポータブルラジオレコーダーの時計が正しく設定されていない場合は、録音予約が正確な時刻に実行されません。
- **前の録音予約終了時刻と次の録音予約開始時刻が同じ場合、前の録音予約の終了間際（約5秒間）は録音されません。**
- 録音中は受信バンド、外部入力や放送局を変更することはできません。また、ICレコーダーモードに切り換えることもできません。
- 録音予約とオンタイマーが同じ時刻に重なって設定されている場合は、録音予約が優先され、オンタイマーは実行されません。
- プリセット登録していない放送局は、録音予約できません。録音予約をする前に放送局をプリセット登録してください（36ページ）。
- 電池を抜いたりACアダプター取りはずしてから約20日以上経過すると、時計設定がクリアされ、録音予約が開始されません。時計設定画面は、電池交換時には自動的に表示されますが、ACアダプター接続時には表示されません。そのため、電源ボタンを押してから、時計を設定してください。

制限事項について

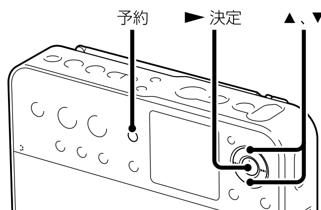
- 以下の場合は録音ができない、録音が途中で終了する、または録音が正しく行われないことがあります。
  - 電波の受信状況が良くないとき
  - 電波の受信ができないとき
  - ポータブルラジオレコーダーの電池残量が少ないとき
  - ポータブルラジオレコーダーの録音可能時間が少ないとき
  - 日付と時刻が正しく設定されていないとき
  - パソコンと接続中のとき
  - 保存先をメモリーカードに設定していて、メモリーカードがポータブルラジオレコーダーに挿入されていない、またはメモリーの残量が少ないとき
  - 録音先のフォルダーにファイルが199件以上保存されているとき

録音予約の実行中について

- 予約開始の約1分前から予約実行の準備を開始します。予約準備中に停止ボタンを押すと予約の実行を止めることができます。
- 電源が切れている状態で録音予約が開始すると画面に何も表示されませんが、録音は実行されます。録音を開始するとアクセスランプが赤に点灯します。
- 録音予約が実行されている状態でも電源のオン／オフができますが、録音予約は継続します。
- 録音予約を止めるには、停止ボタンを押します。録音中止の確認画面が表示されます。
- マイクでの録音中や受信中のラジオを録音中に録音予約の開始時刻になった場合は、実行中の録音を停止し、録音予約を開始します。
- 前の録音予約の終了時刻と次の録音予約の開始時刻が重なる場合は、予約実行の準備のため、前の録音予約は5秒前に終了します。

• 外部入力を選んでいる場合、外部入力（オーディオ／マイク）ジャックに機器が接続されていなかったり、接続した機器から入力がないときでも、内蔵マイクに自動的に切り換わりません。無音で録音が開始、継続されます。

録音予約する

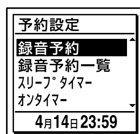


あらかじめ設定した時刻にラジオ番組や外部入力の録音予約ができます。
特定の日付を指定したり、毎週同じ曜日や毎日同じ時刻に録音するように設定できます。
20件まで録音予約を設定できます。
なお、ラジオ受信中、外部入力再生中でも、録音予約ができます。

1 録音予約する放送局が受信できることを確認する。
または、外部入力につないだ機器から再生されていることを確認する。

2 予約ボタンを押す。

3 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して「録音予約」を選び、決定ボタンを押す。



4 録音予約したい日時、時刻を設定する。

① コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「日時（1回のみ）」、「毎日」、または「曜日設定」を選び、► 決定ボタンを押す。



② **「日時（1回のみ）」を選んだ場合：**
コントロールボタンで年月日、開始時刻および終了時刻を設定し、► 決定ボタンを押します。
「曜日設定」を選んだ場合：
コントロールボタンと► 決定ボタンでお好みの曜日をチェックしたあと、「決定」を選び、► 決定ボタンを押して時刻設定画面に進みます。コントロールボタンで開始時刻および終了時刻を設定し、► 決定ボタンを押します。
「毎日」を選んだ場合：
コントロールボタンで開始時刻および終了時刻を設定し、► 決定ボタンを押します。

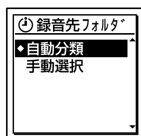
5 録音予約したい放送局を選ぶ。



① コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「AM」、「FM」または「外部入力」を選び、► 決定ボタンを押す。

② 「AM」または「FM」を選んだ場合は、コントロールボタンの ▲ または ▼ を押してお好みの放送局を選び、► 決定ボタンを押す。

6 録音先のフォルダ選択の方法を選ぶ。



① コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「自動分類」または「手動選択」を選び、► 決定ボタンを押す。

② **「自動分類」を選んだ場合：**
手順7の録音モード選択に進みます。
「手動選択」を選んだ場合：
コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して保存先のフォルダを選び、► 決定ボタンを押します。

ヒント

「自動分類」を選ぶと、「AM」または「FM」で、放送局名が設定されている場合は放送局名でフォルダが作成されます。放送局名が設定されていない場合は周波数でフォルダを作成します。
「外部入力」の場合は、「外部入力」フォルダに保存されます。

7 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して録音モードを選び、► 決定ボタンを押す。



録音モードについて詳しくは79ページをご覧ください。

8 予約確認画面で► 決定ボタンを押す。

「完了」が表示されます。

9 ► 決定ボタンを押す。

「登録しました。メモリー残量にご注意ください」と表示され、停止画面に戻ります。終了すると「⏻」が表示されて、録音予約が設定されます。
設定した開始時刻が現在時刻を過ぎていた場合、予約設定終了後すぐに録音が開始します。

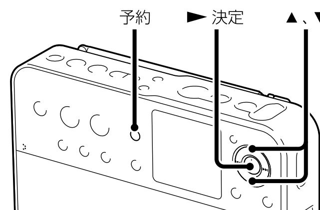
ご注意

- スリープタイマー作動中に録音予約が開始した場合、スリープタイマーを設定した時間に電源が切れたようになりますが、録音は継続されます。
- 録音予約とオンタイマーが同じ時刻に重なって設定されている場合は、録音予約が優先され、オンタイマーは実行されません。

録音予約の設定を途中でキャンセルするには

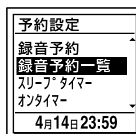
■ 停止ボタンまたは予約ボタンを押し、コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して「はい」を選んで、► 決定ボタンを押します。

予約を確認する



1 予約ボタンを押す。

2 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して「録音予約一覧」を選び、► 決定ボタンを押す。



設定されている録音予約の一覧が表示されます。

3 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して詳細を確認したい録音予約を選び、► 決定ボタンを押す。



予約の詳細が表示されます。

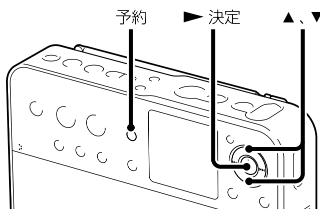
4 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して「戻る」を選び、► 決定ボタンを押す。



5 予約ボタンを押して、予約メニューを終了する。

メニュー／終了ボタンを押しても予約メニューを終了できます。

予約を変更する



1 「予約を確認する」の手順4で「変更／削除」を選び、► 決定ボタンを押す。



2 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して「変更」を選び、► 決定ボタンを押す。



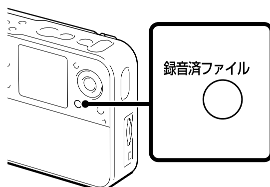
3 「録音予約する」(43ページ)の手順4から8をくり返す。

予約を削除するには

手順2で「削除」を選び、► 決定ボタンを押し、コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して「実行」を選び、► 決定ボタンを押します。

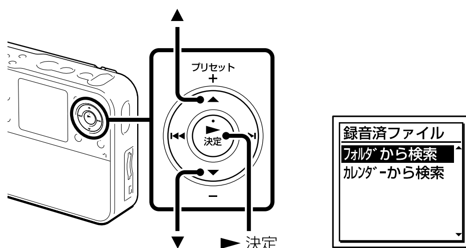
録音したラジオを再生する

1 ホールドスイッチが「切」になっていることを確かめてから、録音済ファイルボタンを押す。



2 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して「フォルダから検索」または「カレンダーから検索」を選び、► 決定ボタンを押す。

録音先フォルダ一覧、またはカレンダーの録音日からファイルを選ぶことができます。



3 録音先フォルダまたはカレンダーから録音日を選ぶ。

「フォルダから検索」を選んだ場合

コントロールボタンの ▲ または ▼ を押してフォルダを選び、► 決定ボタンを押します。

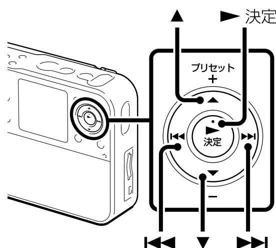
異なるフォルダから再生ファイルを選ぶ場合は、コントロールボタンの ⏮ を押したあと、コントロールボタンの ▲ または ▼ を押してフォルダを選び、コントロールボタンの ⏭ を押します。

「カレンダーから検索」を選んだ場合

今月のカレンダーが表示されます。録音したファイルが存在する日付には下線が表示されます。

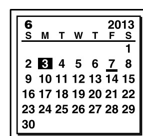
コントロールボタンの ⏮ または ⏭ を押して日付を選び、► 決定ボタンを押します。

▲ または ▼ を押すと、前後の週へ移動します。それぞれのボタンは長押しすると、連続して移動します。





「フォルダから検索」を選んだ場合

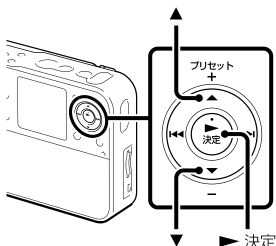


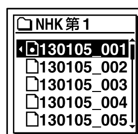
「カレンダーから検索」を選んだ場合

再生する

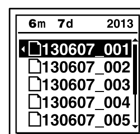
4 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押してファイルを選び、► 決定ボタンを押す。

- 「フォルダから検索」を選んだ場合は、すぐに再生が始まり、アクセスランプが緑に点灯します。
- 「カレンダーから検索」を選んだ場合は、確認画面が表示されます。コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「決定」を選び、► 決定ボタンを押すと、再生が始まります。



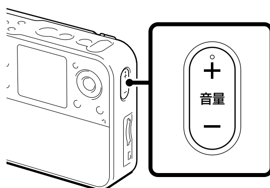


「フォルダから検索」を選んだ場合



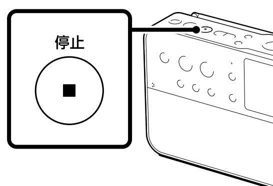
「カレンダーから検索」を選んだ場合

5 音量＋／－ボタンを押して、音量を調節する。



再生を止めるには

1 ■ 停止ボタンを押す。



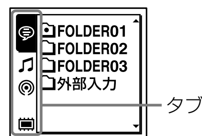
その他の操作

再生の途中、その位置で停止する	► 再生ボタンを押す。 もう一度 ► 再生ボタンを押すと、止めたところから再生が始まります。
今聞いているファイルを繰り返し再生する	► 再生ボタンを長押しする。 「⮌」が表示され、現在のファイルが繰り返し再生されます。 もう一度 ► 再生ボタンを押すと、通常の再生に戻ります。
今聞いているファイルの頭に戻る	⏮ 早戻しボタンを短く1回押す。*1
前のファイル、さらに前のファイルに戻る	⏮ 早戻しボタンを短く何回か押す。 （停止中は押したままにすると、連続して戻ります。*2）
次のファイルに進む	⏭ 早送りボタンを短く1回押す。*1
さらに次のファイルに進む	⏭ 早送りボタンを短く何回か押す。 （停止中は押したままにすると、連続して進みます。*2）

*1 トラックマークが設定されている場合は、前後のトラックマークの位置まで戻り、または進みます（71ページ）。
*2 トラックマークには止まりません。

タブ表示について

ポータブルラジオレコーダーで保存するフォルダは、録音可能エリアと再生専用エリアに分けて管理され、タブで表示されます。フォルダを選ぶときは、タブを切り換えることによりエリアを移動することができます。

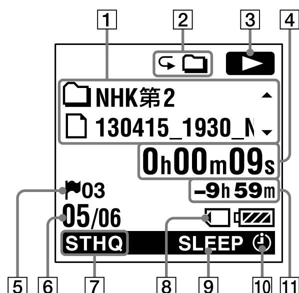


(Voice)：録音可能エリア。ポータブルラジオレコーダーで録音したファイルを管理するためのエリアです。
(Music)：再生専用エリア。パソコンから転送した音楽ファイルを管理するためのエリアです。
(Podcast)：再生専用エリア。パソコンから転送したポッドキャストを管理するためのエリアです。
（内蔵メモリー）または （外部メモリー）：ポータブルラジオレコーダーの内蔵メモリーと外部メモリー（メモリーカード）を切り換えることができます（62ページ）。

お買い上げ時には、(Voice)タブのみ表示されます。(Music)タブ、(Podcast)タブは、パソコンからファイルを転送すると表示されます（86ページ）。

再生する

ファイル再生画面



1 ファイル情報表示
コントロールボタンの▲または▼を押して再生中のファイル情報を確認することができます。
ポータブルラジオレコーダーで録音されたファイルは、下記のように表示されます。

- 録音したラジオ番組の場合



：フォルダ名を表示：放送局名または「バンド（AMまたはFM）＋周波数」

：ファイル名を表示：年月日*_録音開始時刻_放送局名または「バンド（AMまたはFM）＋周波数」

ヒント
フォルダの種類により、フォルダアイコンは次のように異なります。
：録音可能フォルダ
：再生専用フォルダ
：ポッドキャストフォルダ

- その他の録音ファイルの場合



：フォルダ名を表示：FOLDER01 ～ FOLDER03

：ファイル名を表示：年月日*_番号（130101_001）



：アーティスト名または放送局名または周波数を表示：My Recording（Sound Organizerでユーザー名が設定されている場合は、ユーザー名を表示します。）

：タイトル名を表示：年月日*_番号（130101_001）または年月日*_録音開始時刻_放送局名（130101_1200_NHK-FM）

* ファイル名の数字上2桁が西暦の下2桁を示しています。

2 再生モード表示（53ページ）
1：1件
：フォルダ
ALL：全件
1：1件ファイルリピート
：フォルダ内ファイルリピート
ALL：全ファイルリピート

3 動作モード表示
：停止中
：再生中
：早送り（キュー）／早戻し（レビュー）再生中

4 カウンター情報表示
メニューでお好みの表示モードを選ぶことができます（81ページ）。
経過時間：1ファイルの経過時間
残り時間：1ファイルの残り時間
録音日付：録音した日付
録音時刻：録音した時刻

5 トラックマーク表示

6 位置情報表示
選んだファイル番号が分子に、フォルダ内の総ファイル数が分母に表示されます。

7 録音モード表示
再生中のファイルの録音モードが表示されます。

8 メモリーカード表示
現在使用しているメモリーがメモリーカードのときにのみ表示されます。

9 スリープタイマー表示
スリープタイマーが設定されているときに表示されます。

10 予約表示
録音予約やオンタイマーが設定されているときに表示されます。

11 録音可能時間表示
録音可能時間を時間、分、秒で表示します。
10時間以上の場合：時間



10分以上、10時間未満の場合：時間と分



10分未満の場合：分と秒



ファイル情報表示画面



1 ファイル情報表示
停止中に ■ 停止ボタンを押すと、現在選択されているファイルの情報を約60秒間表示します。コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、情報を切り換えることができます。

確認できる情報は以下のとおりです。

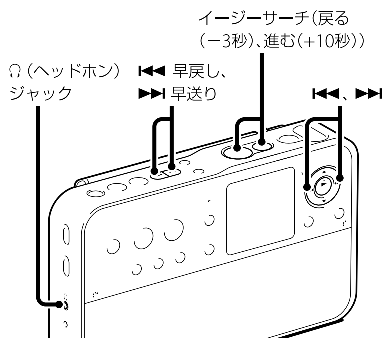
作成日時	ファイルの録音日時(年(y)月(m)日(d) ／時刻)を表示します。
ファイルの長さ	ファイルの再生時間を時間、分、秒で表示します。
録音した機器*	録音した機器を表示します。メニューの「本体情報」の「型名」が表示されます。
録音モード*	録音時の録音モード設定を表示します。
マイク感度*	録音時のマイク感度設定を表示します。
VOR*	録音時のVOR機能の設定を表示します。
入力*	録音時の入力を表示します。 内蔵マイク／外部マイク／オーディオ入力／ AMラジオ／ FMラジオ

* ポータブルラジオレコーダーで録音したファイルにのみ表示されます。

ヒント
操作しない状態で約60秒経過すると、停止画面に戻ります。すぐに停止画面に戻すにはもう一度 ■ 停止ボタンを押します。

いろいろな再生設定

より便利な再生方法



ヘッドホンで聞く

ステレオヘッドホンを (ヘッドホン)ジャックにつないでください。スピーカーからは音が出なくなります。

聞きたいところをすばやく探すには —イージーサーチ機能

イージーサーチボタンを使うと、再生中に聞きたいところをすばやく探せて便利です。
戻るボタンを1回押すごとに約3秒前、進むボタンを1回押すごとに約10秒先を再生します。

再生中に早送り／早戻しするには（キュー／レビュー）

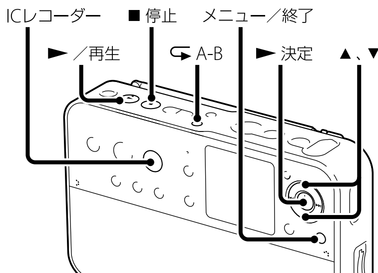
- 早送り（キュー）：
  再生中に ⏭ 早送りボタンを押したままにして、聞きたいところで離します。
- 早戻し（レビュー）：
  再生中に ⏮ 早戻しボタンを押したままにして、聞きたいところで離します。

最初は少しずつ早送り／早戻しされるので、1語分だけ戻したり、送ったりして聞きたいときに便利です。押し続けると、高速での早送り／早戻しになります。

最後のファイルの終わりまで再生または早送り（キュー）すると

- 最後のファイルの終わりまで来ると、「FILE END」表示が約5秒間点灯します。
- 「FILE END」とアクセスランプが消えると、最後のファイルの頭に戻って止まります。
- 「FILE END」の点灯中に ⏮ 早戻しボタンを押したままにすると、早戻しされ、離したところから再生が始まります。
- 最後のファイルが長時間のファイルの場合で、ファイル中の後ろの方を探して再生したい場合は、⏭ 早送りボタンを押し続けていったんファイルの最後まで早送りして、「FILE END」表示の点灯中に ⏮ 早戻しボタンを押して聞きたいところまで早戻しして探すと便利です。
- 最後のファイル以外の場合は、次のファイルの頭に送ってから再生中に早戻しするとすばやく探せます。

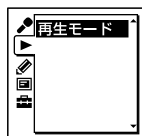
再生モードを設定する



メニューで用途に応じた再生モードを選ぶことができます。

1 ICレコーダーボタンを押す。
ICレコーダーモードになります。

2 停止／再生時にメニュー → ▶ (再生) タブ → 「再生モード」を選び、► 決定ボタンを押す。



3 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「1」、「🗀」、「ALL」、「⟲1」、「⟲ 🗀」または「⟲ ALL」を選び、► 決定ボタンを押す。



4 メニュー／終了ボタンを押して、メニューモードを終了する。

1	1件ファイルを再生する。
🗀	フォルダ内のファイルを連続再生する。
ALL	全ファイルを連続再生する。
⟲1	1件ファイルをリピート再生する。
⟲🗀	フォルダ内のファイルをリピート再生する。
⟲ ALL	全ファイルをリピート再生する。

お買い上げ時は、「🗀」設定になっています。

必要な部分だけを再生する — A-Bリピート

1 再生中に ⟲(リピート) A-Bボタンを押して、A点を指定する。
「A-B B?」が表示されます。

2 もう一度 ⟲(リピート) A-Bボタンを押して、B点を指定する。
「⟲A-B」が表示されて、指定した区間が繰り返し再生されます。

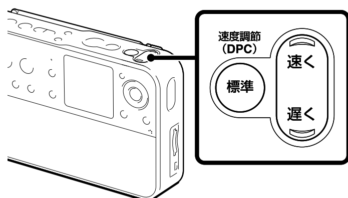
A-Bリピート再生を止めて通常の再生に戻すには：
もう一度 ⟲(リピート) A-Bボタンを押します。

A-Bリピート再生を停止するには：
■ 停止ボタンを押します。
A-Bリピートの設定を保持したまま再生が止まります。
▶ 再生ボタンを押すと、A-Bリピート再生が開始します。
もう一度 ■ 停止ボタンを押すと、A-Bリピート設定が解除されます。

A-Bリピートの範囲を変えるには：
A-Bリピート再生中にもう一度 ⟲(リピート) A-Bボタンを押すと、通常の再生に戻ります。もう一度手順1と2を行ってください。

ご注意
A点およびB点は、ファイルの先頭または終端付近や、トラックマーク付近では設定できません。

再生速度を調節する — DPC（Digital Pitch Control）



再生速度を0.50倍速から2.00倍速の間で調節できます。その際、音程はデジタル処理により、自然に近いレベルで再生します。

1 再生中に速度調節（DPC）速くボタンまたは遅くボタンを押して、再生速度を調節する。

遅くボタン：0.05倍速刻みで遅くする
速くボタン：0.10倍速刻みで速くする
ボタンを長押しすると連続して設定できます。
お買い上げ時は、「x1.00」になっています。

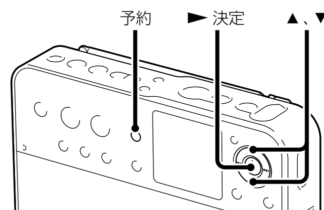
通常の再生速度に戻すには

速度調節（DPC）標準ボタンを押します。

ご注意

ファイルがLPCMの場合は、再生速度はx0.50 からx1.00の間でしか調節できません。再生速度がx1.10以上に設定されているときに、LPCMファイルを再生すると、「NO FAST」と表示され、DPC速度をx1.00として再生を行います。

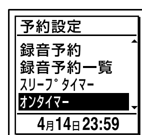
オンタイマーを使う



あらかじめ設定した時刻にラジオの受信やファイルの再生ができます。
特定の日付を指定したり、毎週同じ曜日や毎日同じ時刻に受信や再生するように設定できます。
設定できるオンタイマーは1件です。

1 予約ボタンを押す。

2 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して「オンタイマー」を選び、► 決定ボタンを押す。



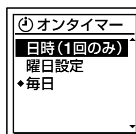
3 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して「オン」を選び、► 決定ボタンを押す。

4 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して「変更」を選び、► 決定ボタンを押す。



「完了」を選び、► 決定ボタンを押すと、設定内容を編集せずにオンタイマーの設定を完了します。

5 オンタイマーの日時、時刻を設定する。



① コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「日時（1回のみ）」、「毎日」、または「曜日設定」を選び、► 決定ボタンを押す。

② **「日時（1回のみ）」を選んだ場合：**
コントロールボタンで年月日、開始時刻および終了時刻を設定し、► 決定ボタンを押します。
「曜日設定」を選んだ場合：
コントロールボタンと► 決定ボタンでお好みの曜日をチェックしたあと、「決定」を選び、► 決定ボタンを押します。
次にコントロールボタンで開始時刻および終了時刻を設定し、► 決定ボタンを押します。
「毎日」を選んだ場合：
コントロールボタンで開始時刻および終了時刻を設定し、► 決定ボタンを押します。

6 オンタイマーの音源を選ぶ。



① コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「AM」、「FM」または「ファイル再生」を選び、► 決定ボタンを押す。

②「AM」または「FM」を選んだ場合：
コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して放送局を選び、► 決定ボタンを押します。
「ファイル再生」を選んだ場合：
コントロールボタンの ▲ または ▼ を押してフォルダを選び、► 決定ボタンを押します。
同様に再生ファイルを選び、► 決定ボタンを押します。

7 予約確認画面で► 決定ボタンを押す。
「⏻」が表示されて、オンタイマーが設定されます。

設定内容を変更するには

1 ～ 7の手順を繰り返します。

設定内容を解除するには

手順3で「オフ」を選び、► 決定ボタンを押します。オンタイマーが解除され、表示窓のオンタイマー表示が消えます。

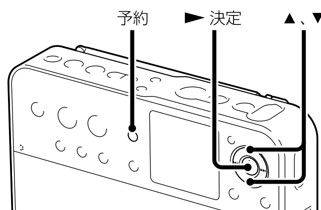
オンタイマーによるラジオ受信／ファイル再生を止めるには

ポータブルラジオレコーダーのいずれかのボタンを押すと停止します。

ご注意

- プリセット登録していない放送局は、オンタイマーを設定できません。オンタイマーを設定する前に放送局をプリセット登録してください（36ページ）。
- オンタイマーを設定したい放送局が受信できることを、あらかじめ確認してください。
- オンタイマーは1件のみ設定できます。
- 電源を切っていても、オンタイマーは実行されます。
- 時計を合わせていない場合は、オンタイマーは実行できません。
- データ更新中にオンタイマーを設定した時刻になった場合は、そのオンタイマーの設定が自動的に破棄されます。
- オンタイマーを設定したファイルを分割した場合、分けた時点より前のファイルにのみオンタイマーが設定されます。
- オンタイマーを設定したファイルを消去すると、開始時刻になってもファイル再生は実行されません。アラーム音が10秒鳴ります。
- ポッドキャストはオンタイマー再生できません。
- 録音予約とオンタイマーが同じ時刻に重なって設定されている場合は、録音予約が優先され、オンタイマーは実行されません。

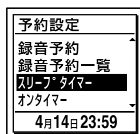
スリープタイマーを使う



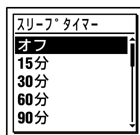
一定の時間が経過したあとに、自動的にポータブルラジオレコーダーの電源が切れるよう設定できます。

1 予約ボタンを押す。

2 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して「スリープタイマー」を選び、► 決定ボタンを押す。



3 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して電源が切れるまでの時間を選び、► 決定ボタンを押す。



スリープタイマーが設定されます。
すでに設定されているスリープタイマーが作動中の場合は、電源が切れるまでの残り時間が一番上に「継続・残り○○分」として表示されます。作動中のスリープタイマーを継続させる場合は、この項目を選んで ► 決定ボタンを押します。

スリープタイマーを解除するには

手順3で「オフ」を選びます。

ご注意

スリープタイマー作動中に録音予約が開始した場合、スリープタイマーを設定した時間に電源が切れたようになりますが、録音予約は継続されます。

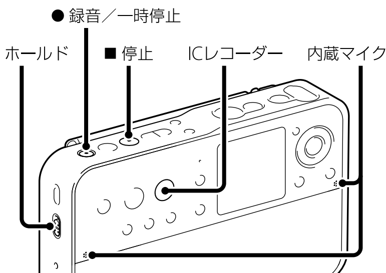
内蔵マイクで録音する

ご注意

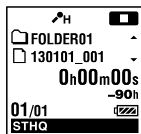
- 録音中に録音予約開始時刻になった場合は、録音予約が優先されます。
- 録音を始める前に、必ず電池残量表示（19ページ）および録音可能時間などを確認してください。
- 録音中、ポータブルラジオレコーダーに手などがあたったり、こすったりすると雑音が録音されてしまうことがあります。ご注意ください。

ヒント

- 録音をする前に、あらかじめためし録りするか、録音をモニター（66ページ）をしながら録音することをおすすめします。
- 状況に応じた録音の設定は、付属の「クイックスタートガイド」を参照してください。



1 ホールドスイッチが「切」になっていることを確かめてから、ICレコーダーボタンを押す。



2 内蔵マイクを録音する音の方向へ向ける。

3 停止中に ● 録音／一時停止ボタンを押す。

アクセスランプが赤く点灯します。

新しいファイルは、自動的に「マイク録音先フォルダ」で指定したフォルダ内の一番最後に録音されます。「マイク録音先フォルダ」について詳しくは、「マイク録音時の録音先フォルダを変える」（63ページ）をご覧ください。

録音を止めるには

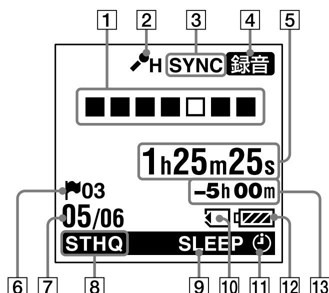
1 ■ 停止ボタンを押す。

録音中に● 録音／一時停止ボタンを押すと、録音を一時停止できます。

ファイル情報を表示するには

停止中に ■ 停止ボタンを押すと、現在選択されているファイルの情報を60秒間表示します。（51ページ）

録音画面



1 録音動作のアニメーション表示
録音時(VOR録音、シンクロ録音)に録音の進行状況をアニメーション表示します。

2 マイク感度表示
内蔵マイクの感度が表示されます。

3 シンクロ録音、VOR録音表示
シンクロ録音またはVOR録音が設定されているときに表示されます。

4 動作モード表示
録音：録音中
●II：録音一時停止中に点滅

5 経過時間、残り時間、録音日付、録音時刻表示(録音一時停止中に点滅)

6 トラックマーク表示

7 位置情報表示
選んだファイル番号が分子に、フォルダ内の総ファイル数が分母に表示されます。

8 録音モード表示
設定中の録音モードが表示されます。

9 スリープタイマー表示
スリープタイマーが設定されているときに表示されます。

10 メモリーカード表示
現在使用しているメモリーがメモリーカードのときにのみ表示されます。

11 予約表示
録音予約やオンタイマーが設定されています。

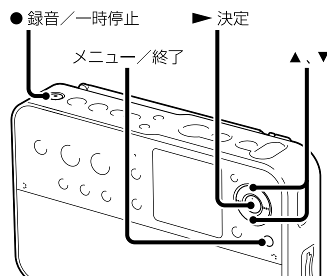
12 電池マーク

13 録音可能時間表示
録音可能時間を時間、分、秒で表示します。
10時間以上の場合：時間
10分以上、10時間未満の場合：時間と分
10分未満の場合：分と秒

マイクで録音する

いろいろな録音設定

音がしたとき自動録音する — VOR（Voice Operated Recording）録音



ある大きさ以上の音をマイクが拾うと自動的に録音が始まり、音が小さくなると録音が一時停止するように、メニューで設定することができます。
停止中、内蔵マイクでの録音中のみ設定できます（ラジオ受信中、外部入力再生中は設定できません）。

1 メニュー → (録音)タブ → 「VOR」を選び、► 決定ボタンを押す。



2 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「オン」を選び、► 決定ボタンを押す。
お買い上げ時は、「オフ」設定になっています。

3 メニュー／終了ボタンを押して、メニューモードを終了する。

4 ● 録音／一時停止ボタンを押す。
VOR 録音 が表示されます。

マイクで拾う音が一定レベル以下まで小さくなると、VOR ●II（録音一時停止）と録音経過時間表示が点滅して、VOR録音が一時停止状態になります。
VOR録音一時停止状態のときに、マイクが一定レベル以上の大きさの音を拾うと、VOR録音が再開されます。

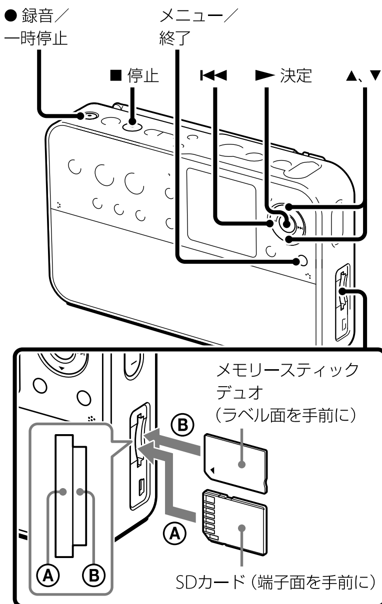
VOR録音を解除するには

手順2で「VOR」を「オフ」にします。

ご注意

- VOR機能は周囲の環境に左右されます。状況に合わせてマイク感度を切り換えてください。マイク感度を切り換えても思いどおりに録音できないときや、大切な録音をするときは、メニューで「VOR」を「オフ」に設定してください。
- VOR録音中に ● 録音／一時停止ボタンを押して録音を一時停止すると ●II だけが点滅します。
- シンクロ録音中（64ページ）、ラジオ放送録音中（39ページ）、外部入力録音中はVOR機能は働きません。

メモリーカードに録音する



ポータブルラジオレコーダーでは、内蔵メモリーのほかに、別売のメモリーカードに音声を記録できます。

ポータブルラジオレコーダーで使用できるメモリーカード

ポータブルラジオレコーダーでは、以下のメモリーカードをお使いいただけます。

メモリーカード	対応
メモリースティック　マイクロ（M2）（～ 16 GB）	○
メモリースティック　PRO　デュオ（～ 32 GB）	○
メモリースティック　PRO-HG　デュオ（～ 32 GB）	○
メモリースティック　XC-HG　デュオ（64 GB以上）	—
SDメモリーカード（～ 2 GB）	○
SDHCメモリーカード（4 GB ～ 32 GB）	○
SDXCメモリーカード（48 GB以上）	—
microSDメモリーカード（～ 2 GB）	○
microSDHCメモリーカード（4 GB ～ 32 GB）	○

ご注意

microSD/microSDHCカード、メモリースティック　マイクロ（M2）をお使いになるには、変換アダプターが必要です。

最新の動作確認済みソニー製メモリースティック™については、カスタマーサポートページ
http://www.sony.jp/support/ic-recorder
をご覧ください。
本書では、左記の“メモリースティック”およびSDカードを総称して「メモリーカード」と呼びます。
また、メモリースティック　デュオ™およびSDカードメモリーカードスロットは「メモリーカードスロット」と呼びます。
メモリーカードに記録・再生できるファイルのサイズはポータブルラジオレコーダーの仕様上、1ファイルにつきLPCMは2 GB未満、MP3/WMA/AAC-LCは1 GB未満です。
ポータブルラジオレコーダーで認識できるファイル数は、内蔵メモリー、メモリーカードともに最大4,074件です。

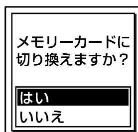
ご注意

すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。

メモリーカードを入れるには

録音する前に、メモリーカードに保存されているデータをパソコンに保存し、ポータブルラジオレコーダーで初期化して空の状態にしてからお使いください（82ページ）。

1 前ページの図の向きで、メモリースティック　デュオ™またはSDカードをメモリーカードスロットに、カチッと音がするまでしっかりと奥に差し込む。
メモリーカードが自動的に認識され、メモリーカード切り換えの確認画面が表示されます。



2 コントロールボタンの▲または▼を押して、「はい」または「いいえ」を選び、► 決定ボタンを押す。
「はい」を選ぶと、メモリーカードに切り換わります。

メモリーカードを取り出すには

メモリーカードを一度奥に押します。手前に出てきたら、メモリーカードスロットから取り出します。

フォルダとファイルの構成について

内蔵メモリーのフォルダとは別に、メモリーカード内に4個のフォルダが作成されます。フォルダとファイルの構成は、内蔵メモリーとは異なります(84ページ)。

ご注意

- 録音／再生／初期化中は、メモリーカードを抜き差ししないでください。故障の原因となります。
- 表示窓に「アクセス中...」のアニメーションが表示されている間はメモリーカードを取り出さないでください。データが破損するおそれがあります。
- メモリーカードが認識されない場合はメモリーカードを取り出し、再度入れ直してください。
- 挿入口には、液体・金属・燃えやすいものなど、メモリーカード以外のものは挿入しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

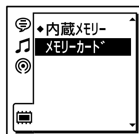
メモリーカードに切り換えるには(フォルダ選択画面から)

1 録音済ファイルボタンを押す。

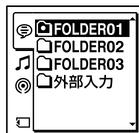
2 コントロールボタンの▲または▼を押して「フォルダから検索」を選び、► 決定ボタンを押す。

3 コントロールボタンの ⏮ を押したあと、コントロールボタンの▲または▼を押して (内蔵メモリー)タブを選び、► 決定ボタンを押す。

4 コントロールボタンの▲または▼を押して、「メモリーカード」を選び、► 決定ボタンを押す。



(内蔵メモリー)タブが (外部メモリー)に変わり、フォルダ選択画面が表示されます。



5 停止画面に戻すには、■ 停止ボタンを押す。

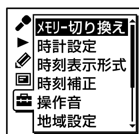
内蔵メモリーに戻すには

手順4で「内蔵メモリー」を選びます。

メモリーカードに切り換えるには(メニューから)

停止中、ラジオ受信中、外部入力再生中に設定できます。

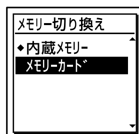
1 メニュー → (本体設定)タブ → 「メモリー切り換え」を選び、► 決定ボタンを押す。



ヒント

メニュータブの切り換え方法については77ページをご覧ください。

2 コントロールボタンの▲または▼を押して、「メモリーカード」を選び、► 決定ボタンを押す。



お買い上げ時は、「内蔵メモリー」設定になっています。

メモリーカードが初期化済みの場合は手順5に進んでください。

3 メモリーカードを初期化していない場合は、メニュー → 「(本体設定)」タブ → 「メモリー初期化」を選び、► 決定ボタンを押す。
「全てのデータを消去しますか？」と表示されます。

4 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「実行」を選び、► 決定ボタンを押す。

5 メニュー／終了ボタンを押して、メニューモードを終了する。

内蔵メモリーに戻すには
手順2で「内蔵メモリー」を選びます。

マイク録音時の録音先フォルダを変える

マイク録音時の録音先を別のフォルダに設定できます。お買い上げ時は内蔵メモリーの録音可能な先頭フォルダに設定されています。
停止中のみ設定できます（ラジオ受信中、外部入力再生中は設定できません）。

1 メニュー → (録音)タブ →「マイク録音先フォルダ」を選び、► 決定ボタンを押す。

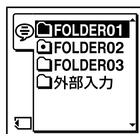
2 現在使用しているメモリーから切り換えるには、コントロールボタンの ⏮ を押した後、コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して (内蔵メモリー)または (外部メモリー)タブを選び、► 決定ボタンを押す。

3 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「内蔵メモリー」または「メモリーカード」を選び、► 決定ボタンを押す。



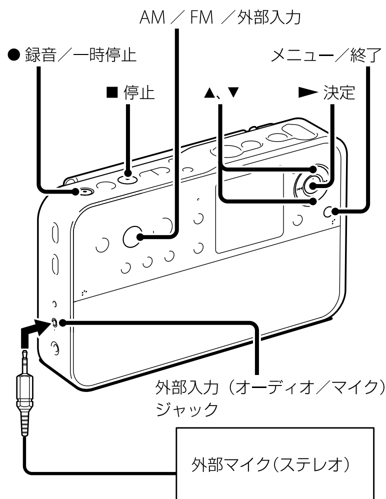
(内蔵メモリー)または (外部メモリー)タブに変わり、フォルダ選択画面が表示されます。

4 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、録音先フォルダを選び、► 決定ボタンを押す。



5 メニュー／終了ボタンを押して、メニューモードを終了する。

外部マイクをつないで録音する



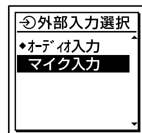
1 AM/FM/外部入力ボタンを押して (外部入力)を選ぶ。

マイクで録音する

2 停止中に外部マイクを外部入力(オーディオ/マイク)ジャックにつなぐ。

画面に「⊕外部入力選択」が表示されます。「⊕外部入力選択」が表示されない場合にはメニューで設定してください(79ページ)。

3 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「マイク入力」を選び、► 決定ボタンを押す。



お買い上げ時は、「オーディオ入力」設定になっています。

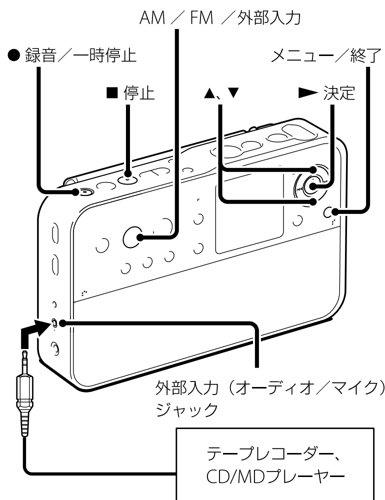
4 ● 録音/一時停止ボタンを押す。

内蔵マイクは自動的に切れ、外部マイクの音を録音します。
入力レベルが適正ではない場合は、ポータブルラジオレコーダーのマイク感度の設定を変更してください。
プラグインパワー対応のマイクを使うと、マイクの電源はポータブルラジオレコーダーから供給されます。

5 録音を止めるには■停止ボタンを押す。

ご注意
- 内蔵マイクで録音中に、外部マイクを外部入力(オーディオ/マイク)ジャックにつなぐと自動的にオーディオ入力になり、録音レベルが下がります。内蔵マイク録音中は外部マイクをつながないでください。
- 外部マイク接続前に、あらかじめポータブルラジオレコーダーの音量を下げておいてください。外部マイク接続時に、ピーという異音がスピーカーから再生される場合は、ポータブルラジオレコーダーの音量を下げてお使いください。

他の機器の音声を録音する



CDプレーヤーなど他の機器の音声をポータブルラジオレコーダーに録音することによって、パソコンを使わなくても、音楽ファイルを作成することができます。

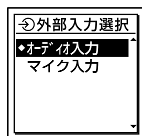
ヒント
- 録音をする前に、あらかじめためし録りをしてから、録音することをおすすめします。
- 入力レベルが適正ではない場合は、他の機器のヘッドホン端子(ステレオミニジャック)を使ってポータブルラジオレコーダーと接続し、つないだ機器側で音量を調節してください。
- **シンクロ録音機能**を使って録音すると、2秒以上無音の部分が続いた場合、録音は一時停止状態になり、次に音を感知したところから新しいファイルとして録音します。シンクロ録音は停止中、外部入力選択中のみ設定できます(ラジオ受信中は設定できません)。

1 AM/FM/外部入力ボタンを押して⊕(外部入力)を選ぶ。

2 停止中に他の機器をポータブルラジオレコーダーにつなぐ。

他の機器の音声出力端子(ステレオミニジャック)を別売のソニー製オーディオコード(66ページ)を使って、ポータブルラジオレコーダーの外部入力(オーディオ/マイク)ジャックにつなぎます。
画面に「⊕外部入力選択」が表示されます。

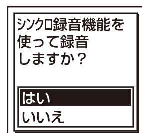
3 コントロールボタンの▲または▼を押して、「オーディオ入力」を選び、► 決定ボタンを押す。



「シンクロ録音機能を使って録音しますか?」と表示されます。

4 コントロールボタンの▲または▼を押して、「はい」を選び、► 決定ボタンを押す。

シンクロ録音が設定されます。
(シンクロ録音機能を使わない場合は「いいえ」を選んでください。)



5 ● 録音/一時停止ボタンを押す。

SYNC ●II が点滅してシンクロ録音が一時停止の状態になります。

6 つないだ機器で再生を始める。

SYNC 録音 が表示され、シンクロ録音が開始されます。
2秒以上無音の部分が続くと、SYNC ●II が点滅して、シンクロ録音が一時停止状態になります。シンクロ録音一時停止状態のときに、次に音を感知したところから新しいファイルとして、シンクロ録音が再開されます。

7 シンクロ録音を停止するには、■ 停止ボタンを押す。

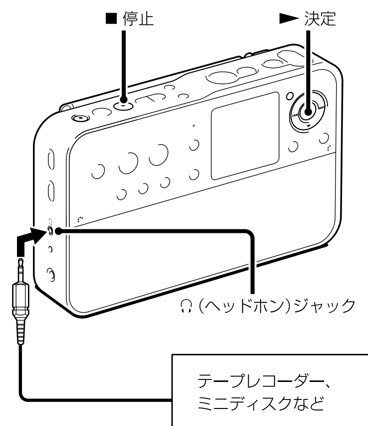
ご注意

- シンクロ録音中は、録音一時停止(58ページ)やVOR録音(60ページ)、トラックマーク登録(71ページ)はできません。
- ご使用の機器によっては、音声入力レベルの違いなどによりシンクロ録音機能が正常に動作しない場合があります。
- 他の機器の音声を録音する場合はマイク感度の切り替えはできません。
- メニューの「外部入力選択」でも外部入力の設定ができます。

シンクロ録音機能を使わずに録音するには

手順4で「いいえ」を選び、手順5、6に従ってつないだ機器から録音を行います。
手順5で、● 録音/一時停止ボタンを押すと、内蔵マイクは自動的に切れ、つないだ機器の音声が録音されます。

他の機器に音声を録音する



他の機器でポータブルラジオレコーダーの音声を録音できます。
録音をする前に、あらかじめためし録りをしてから、録音することをおすすめします。

1 ポータブルラジオレコーダーの (ヘッドホン)ジャックと他の機器の外部入力端子を、別売のソニー製オーディオコード*を使ってつなぐ。

2 ポータブルラジオレコーダーの ► 再生ボタンを押して再生状態にし、同時に、つないだ機器の録音ボタンを押して、録音状態にする。

ポータブルラジオレコーダーのファイルが他の機器に録音されます。

3 録音を止めるには、ポータブルラジオレコーダーの ■ 停止ボタンを押し、つないだ機器の停止ボタンを押す。

ヒント

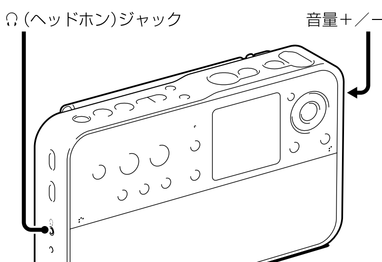
録音された音量が適切でない場合は、ポータブルラジオレコーダーの再生音量を調節してください(48ページ)。

***お使いになれるオーディオコード(別売)**

オーディオ入力を使って接続するときは、次の抵抗なしオーディオコードをお使いください。

	ポータブルラジオレコーダー側	接続先機器側
RK-G139	ステレオミニプラグ(抵抗なし)	ミニプラグ(モノラル)
RK-G136	ステレオミニプラグ(抵抗なし)	ステレオミニプラグ

録音中の音をヘッドホンで聞く(モニター)

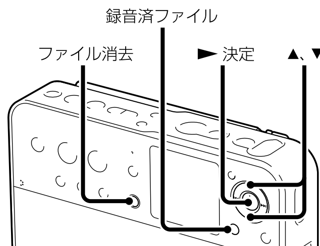


ステレオヘッドホンを (ヘッドホン)ジャックにつなぐと、録音中の音をモニターすることができます。
ヘッドホンからの音量(モニター音量)は、音量+/−ボタンを押して調節します。録音される音量に影響はありません。

ご注意

ヘッドホン使用時に、ヘッドホンコードがポータブルラジオレコーダーに触れると、擦れ音として録音されてしまう場合があります。あらかじめコードを固定しておくことをおすすめします。

ファイルを消去する



ご注意

一度消去した内容はもとに戻すことはできません。ご注意ください。

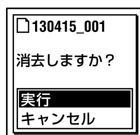
1 ホールドスイッチが「切」になっていることを確かめてから、録音済ファイルボタンを押して、消去したいファイルを選ぶ。

2 再生中または停止中にファイル消去ボタンを押す。

「消去しますか？」と表示され、確認のため、選んだファイルが再生されます。

3 コントロールボタンの▲または▼を押して「実行」を選び、► 決定ボタンを押す。

途中で消去をやめるには、「キャンセル」を選び、► 決定ボタンを押します。



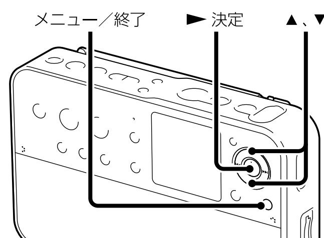
「消去中...」のアニメーションが表示され、ファイルが1件消去されます。

ファイルを消すと、次のファイルが自動的に繰り上がるので、間に空白部分は残りません。

ひとつのファイルの一部分だけ消去するには

ファイル分割（74ページ）で消去する部分としない部分に分け、消去したい部分のファイル番号を選んで「ファイルを消去する」の手順2から手順3の操作をします。

フォルダの中身を一度に消去する

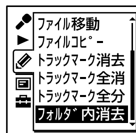


ご注意

フォルダ内のファイルが保護設定されている場合（76ページ）、そのファイルは消去されません。

1 停止中に消去したいファイルが入っているフォルダを選ぶ。

2 メニュー → （編集）タブ → 「フォルダ内消去」を選び、► 決定ボタンを押す。



「フォルダ内のファイルを全て消去しますか？」と表示されます。

編集する

3 コントロールボタンの▲または▼を押して、「実行」を選び、► 決定ボタンを押す。

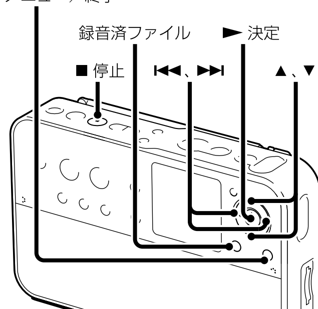
「消去中...」のアニメーションが表示され、フォルダ内の全ファイルが消去されます。

4 メニュー／終了ボタンを押して、メニューモードを終了する。

途中で消去をやめるには

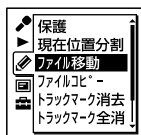
手順3で「キャンセル」を選び、► 決定ボタンを押します。

ファイルを別のフォルダに移動する

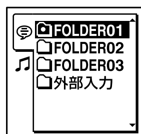


1 録音済ファイルボタンを押して、移動させたいファイルを選ぶ。

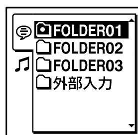
2 停止中にメニュー → ✎(編集)タブ → 「ファイル移動」を選び、► 決定ボタンを押す。



3 コントロールボタンの ⏮ を押したあと、コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して (Voice)タブまたは ♫ (Music)タブを選び、コントロールボタンの ⏭ を押す。



4 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、移動先のフォルダを選び、► 決定ボタンを押す。



「移動中...」のアニメーションが表示され、移動先フォルダの最終ファイルの位置にファイルを移動します。
移動すると、もとのフォルダからそのファイルはなくなります。

5 メニュー／終了ボタンを押して、メニューモードを終了する。

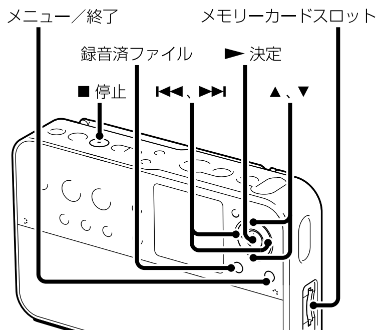
途中でファイルの移動をやめるには

手順4の前に ■ 停止ボタンを押します。

ご注意

- ポッドキャストは移動できません。
- 保護されている（76ページ）ファイルは移動できません。
- 別のメモリーにはファイルは移動できません。
- メモリー残量が少ないとファイルを移動できない場合があります。あらかじめメモリーに充分な空き容量があることを確認してください。

ファイルをコピーする

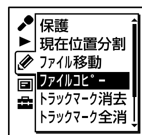


内蔵メモリーとメモリーカード間でファイルのコピーができます。バックアップをとる場合などに便利です。
操作を始める前に、ファイルコピーに使用するメモリーカードをメモリーカードスロットに入れてください。

1 録音済ファイルボタンを押して、コピーしたいファイルを選ぶ。

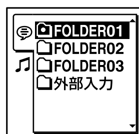
メモリーカードのファイルを内蔵メモリーにコピーするときは、メモリーをメモリーカードに切り換えます（62ページ）。

2 停止中にメニュー → ✐（編集）タブ →「ファイルコピー」を選び、► 決定ボタンを押す。

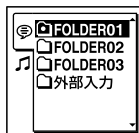


「メモリーカードのコピー先を選択してください」または「内蔵メモリーのコピー先を選択してください」というアニメーションが表示され、フォルダ選択画面が表示されます。

3 コントロールボタンの ⏮ を押したあと、コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して 💬（Voice）タブまたは ♫（Music）タブを選び、コントロールボタンの ⏭ を押す。



4 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、コピー先のフォルダを選び、► 決定ボタンを押す。



「コピー中...」のアニメーションが表示され、コピー先フォルダの最後にコピーします。ファイルは同じファイル名でコピーされます。

5 メニュー／終了ボタンを押して、メニューモードを終了する。

途中でコピーをやめるには

手順4の前に ■ 停止ボタンを押します。

コピー中に中止するには

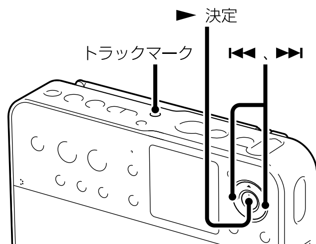
手順4で「コピー中...」のアニメーションが表示されているときに、■ 停止ボタンを押します。

ご注意

- ファイルコピーを始める前に、電池残量を確認してください。残量が少ないとコピーできません。
- コピー先のメモリーの残量が少ない場合は、ファイルコピーができない場合があります。
- ポッドキャストはコピーできません。
- コピーの途中でメモリーカードの抜き差しおよび電源を切らないでください。ファイルが破損する恐れがあります。

トラックマークを使う

トラックマークを付ける



再生時の頭出しや、分割位置の目安として利用するために、トラックマークを付けることができます。1つのファイルに98個まで設定できます。

1 録音中、再生中、一時停止中、トラックマークを付けたい場所でトラックマークボタンを押す。

(トラックマーク)表示が3回点滅し、トラックマークが設定されます。



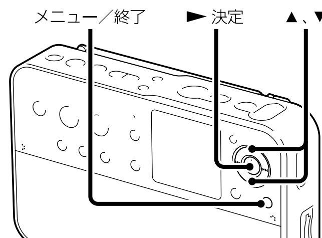
ご注意

- ソニー製のポータブルラジオレコーダーやICレコーダで録音したファイルについてのみトラックマークを設定することができます。ただし、アプリケーションソフトSound Organizerを使ってファイルを編集すると、トラックマークが設定できなくなる場合があります。
- トラックマークの0.5秒以内に別のトラックマークを設定することはできません。
- ファイルのはじめと終わりで、トラックマークの設定ができないことがあります。
- すでに98個のトラックマークがファイルに設定されている場合、新たに設定することはできません。
- 再生中にトラックマークを設定すると、再生が停止します。

トラックマークを付けた位置を探して聞くには

停止中にコントロールボタンの I◄◄ 早戻しボタンまたは ►►I 早送りボタンを押します。
(トラックマーク)表示が1回点滅したら、
► 決定ボタンを押します。

自動でトラックマークを付ける

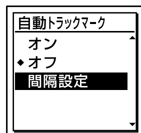


録音中に、一定の間隔で自動的にトラックマークを付けることができます。長い録音を後から検索する場合などに便利です。

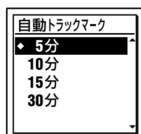
1 停止中、ラジオ受信中または外部入力再生中にメニュー → (録音)タブ → 「自動トラックマーク」を選び、► 決定ボタンを押す。



2 現在の間隔で自動的にトラックマークを付ける場合は、コントロールボタンの▲または▼を押して、「オン」を選び、► 決定ボタンを押す。（手順4へ）
間隔を変更する場合は、コントロールボタンの▲または▼を押して、「間隔設定」を選び、► 決定ボタンを押す。



3 コントロールボタンの▲または▼を押して、トラックマークを付ける間隔を選び、► 決定ボタンを押す。



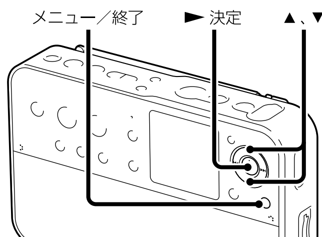
お買い上げ時は、「5分」設定になっています。

4 メニュー／終了ボタンを押して、メニューモードを終了する。
録音を開始すると、設定した間隔で自動的にトラックマークが付けられます。

自動トラックマークをやめるには

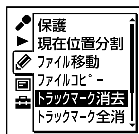
手順2で「オフ」を選び、► 決定ボタンを押します。

トラックマークを消去する



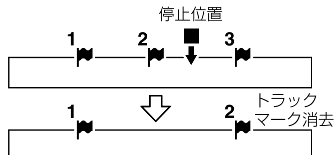
1 消去したいトラックマーク位置のあとで停止する。

2 停止中にメニュー → (編集)タブ → 「トラックマーク消去」を選び、► 決定ボタンを押す。



「トラックマークを消去しますか？」と表示されます。

3 コントロールボタンの▲または▼を押して、「実行」を選び、► 決定ボタンを押す。
「消去中...」のアニメーションが表示され、設定したトラックマークは消去されます。



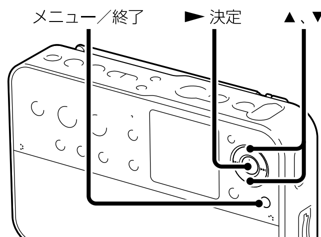
停止位置の一つ前のトラックマークが消去される。

4 メニュー／終了ボタンを押して、メニューモードを終了する。

途中で消去をやめるには

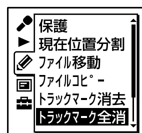
手順3で「キャンセル」を選び、► 決定ボタンを押します。

すべてのトラックマークを消去する



1 トラックマークを消去したいファイルを選ぶ。

2 停止中にメニュー → ✐(編集)タブ → 「トラックマーク全消去」を選び、► 決定ボタンを押す。



「トラックマークを全て消去しますか?」と表示されます。

3 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「実行」を選び、► 決定ボタンを押す。

「消去中...」のアニメーションが表示され、すべてのトラックマークが一度に消去されます。

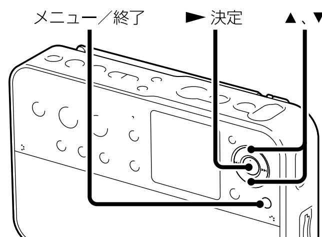
4 メニュー／終了ボタンを押して、メニューモードを終了する。

途中で消去をやめるには

手順3で「キャンセル」を選び、► 決定ボタンを押します。

ファイルを分割する

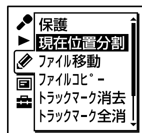
現在位置で分割する



停止中にファイルを分割して、その場所に新しいファイル番号が付けられます。会議など1件のファイルが長時間になったときなどに、複数のファイルに分割しておくと、再生したい場所がすばやく探せ、便利です。分割したいファイルが入っているフォルダのファイル数がいっぱいになるまで、ファイルを分割できます。

1 分割したい位置で停止する。

2 メニュー → ✎（編集）タブ →「現在位置分割」を選び、► 決定ボタンを押す。



「分割しますか？」と表示されます。

3 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「実行」を選び、► 決定ボタンを押す。

「分割中...」のアニメーションが表示されて、分割元のファイルには「_1」が、新しいファイルには「_2」が付きます。

ファイル1	ファイル2		ファイル3
	▲ ⇩ ファイル分割		
ファイル1	ファイル2_1	ファイル2_2	ファイル3

分割したファイル番号の末尾に連番（「_1」、「_2」）が振られる。

4 メニュー／終了ボタンを押して、メニューモードを終了する。

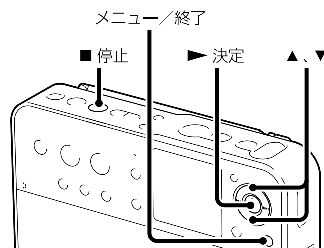
ご注意

- ファイルを分割するには、メモリーに一定の空き容量が必要です。
- ファイルタイトル、アーティスト名は分割した前後のファイルで同じになります。
- ポータブルラジオレコーダーで録音されたファイル以外（パソコンからコピーしたファイル）は分割できません。また、アプリケーションソフトSound Organizerを使ってファイルを編集すると、ファイルを分割できなくなる場合があります。
- 分割したファイルはもとに戻せません。
- トラックマークから前後0.5秒以内の位置で分割した場合、そのトラックマークは消去されます。
- システムの制約により、ファイルのはじめと終わりでファイルの分割ができないことがあります。

途中で分割をやめるには

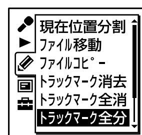
手順3で「キャンセル」を選び、► 決定ボタンを押します。

すべてのトラックマーク位置で分割する



1 分割したいファイルを選ぶ。

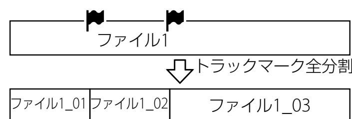
2 停止中にメニュー → (編集)タブ → 「トラックマーク全分割」を選び、► 決定ボタンを押す。



「全てのトラックマークで分割しますか？」と表示されます。

3 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「実行」を選び、► 決定ボタンを押す。

「分割中...」のアニメーションが表示されて、すべてのトラックマークが消去され、トラックマークの位置で分割します。ひとつのファイルから分割されたファイルには末尾に連番（_01 ～）が振られます。



4 メニュー／終了ボタンを押して、メニューモードを終了する。

途中で分割をやめるには

手順3で「キャンセル」を選び、► 決定ボタンを押します。

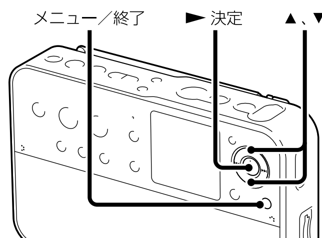
トラックマーク全分割を途中でやめるには

■ 停止ボタンを押します。分割が中断されるまでのファイルについては分割されます。

ご注意

- ファイルを分割するには、メモリーに一定の空き容量が必要です。
- ファイルタイトル、アーティスト名は分割したすべてのファイルで同じになります。
- ポータブルラジオレコーダーで録音されたファイル以外（パソコンからコピーしたファイル）は分割できません。また、アプリケーションソフトSound Organizerを使ってファイルを編集すると、ファイルを分割できなくなる場合があります。
- 分割したファイルはもとに戻せません。

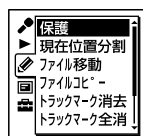
ファイルを保護する



大事なファイルを間違って消去、編集することがないように保護することができます。保護されたファイルには、🔒(保護)マークが表示され、消去、編集ができない読み取り専用ファイルになります。

1 (Voice)タブ、♫(Music)タブの中から、保護したいファイルを表示する。

2 停止中にメニュー → (編集)タブ → 「保護」を選び、► 決定ボタンを押す。



「保護に設定しますか？」と表示されます。

3 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「実行」を選び、► 決定ボタンを押す。

ファイルが保護されます。保護されたファイルには 🔒(保護)マークが表示されます。

4 メニュー／終了ボタンを押して、メニューモードを終了する。

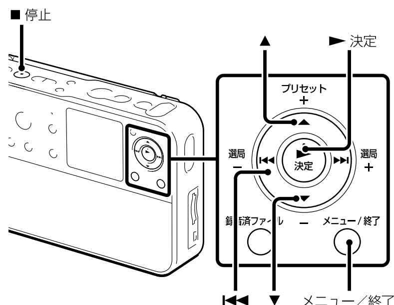
保護を解除するには

保護設定されたファイルを選び、手順2から手順4を実行します。ただし、手順2では「保護を解除しますか？」と表示されます。

ご注意

(Podcast)タブの中のファイルは保護設定できません。

メニューの使いかた



ここでは停止中の画面を例に説明します。

1 メニュー／終了ボタンを押して、メニューモードに入る。

メニュー画面が表示されます。



2 コントロールボタンの ⏮ を押した後、コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して （ラジオ）、（録音）、▶（再生）、（編集）、（表示）、（本体設定）タブのいずれかを選び、► 決定ボタンを押す。

動作（ラジオまたはICレコーダー）モードによって表示されるメニュー項目が変わります。詳しくは次ページ以降をご覧ください。

3 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、設定したい項目を選び、► 決定ボタンを押す。



4 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して設定し、► 決定ボタンを押す。

5 メニュー／終了ボタンを押して、メニューモードを終了する。

ご注意

操作しない状態が60秒以上続くと、メニューモードが自動的に解除され、通常の画面に戻ります。

1つ前の画面に戻るには

メニュー操作中にコントロールボタンの ⏮ を押します。

メニューモードを中止するには

■ 停止ボタンまたはメニュー／終了ボタンを押します。

メニュー一覧

タブ	メニュー	動作モード(○:設定可能 −:設定不可)					
		停止中	再生中	録音中	ラジオ受信中	ラジオ／外部入力録音中	外部入力再生中
(ラジオ)	スキャン感度	−	−	−	○	−	−
	放送局名変更	−	−	−	○	−	−
	オートプリセット	−	−	−	○	−	−
(録音)	録音モード	○	−	−	○	−	○
	マイク感度	○	−	○	−	−	○
	VOR	○	−	○	−	−	−
	マイク録音先フォルダ	○	−	−	−	−	−
	シンクロ録音	○	−	−	−	−	○
	外部入力選択	○	−	−	−	−	○
	自動トラックマーク	○	−	−	○	−	○
(再生)	再生モード	○	○	−	−	−	−
(編集)	保護	○	−	−	−	−	−
	現在位置分割	○	−	−	−	−	−
	ファイル移動	○	−	−	−	−	−
	ファイルコピー	○	−	−	−	−	−
	トラックマーク消去	○	−	−	−	−	−
	トラックマーク全消去	○	−	−	−	−	−
	トラックマーク全分割	○	−	−	−	−	−
	フォルダ内消去	○	−	−	−	−	−
(表示)	表示切り換え	○	○	○	−	−	−
(本体設定)	メモリー切り換え	○	−	−	○	−	○
	時計設定	○	−	−	○	−	○
	時刻表示形式	○	−	−	○	−	○
	時刻補正	○	−	−	○	−	○
	操作音	○	−	−	○	−	○
	地域設定	○	−	−	○	−	○
	設定初期化	○	−	−	○	−	○
	メモリー初期化	○	−	−	○	−	○
	本体情報	○	−	−	○	−	○

タブ	メニュー	設定項目（*：初期設定）	参照ページ
（ラジオ）	スキャン感度	オートプリセット時およびスキャン時のスキャン感度を設定します。 高（SCAN H）*：スキャン感度を高くします。 低（SCAN L）：　スキャン感度を低くします。	36
	放送局名変更	受信中のプリセットされた放送局に、放送局名を割り当てます。	38
	オートプリセット	受信可能な周波数を自動的にスキャンします。放送局はメモリーに登録されます。 実行：　　　オートプリセットを実行します。 キャンセル：　オートプリセットを実行しません。	36
（録音）	録音モード	音質などを設定します。 STHQ ステレオ高音質（MP3 192kbps）* STSP ステレオ標準（MP3 128kbps） SP モノラル（MP3 48kbps）	–
	マイク感度	マイク感度を設定します。 H 高*：広い会議室での録音など、遠くの音や小さい音を録音するときに使用します。 L 低：　楽器のすぐ近くで録音したり、大きい音を録音したりするときに使用します。 **ご注意** ラジオ録音中（39ページ）は、マイク感度設定は無効になります。	–
	VOR	VOR (Voice Operated Recording)機能を設定します。 オン：　ある大きさ以上の音をマイクが拾うと自動的に録音が始まり、音が小さくなると録音を一時停止します。● 録音／一時停止ボタンを押して、録音を始めるとVOR機能が働きます。 オフ*：　VOR機能は働きません。 **ご注意** シンクロ録音中（64ページ）、ラジオ録音中（39ページ）、外部入力録音中（28、39ページ）は、VOR機能は働きません。	60
	マイク録音先フォルダ	マイク録音時の録音先フォルダを設定します。お買い上げ時は内蔵メモリーの録音可能な先頭フォルダに設定されています。	63
	シンクロ録音	「外部入力選択」の設定が「オーディオ入力」で、2秒以上無音の部分が続いた場合、録音は一時停止状態になり、次に音を感知したところから新しいファイルとして録音します。ICレコーダーモードと、外部入力モードで設定できます。 オン：　シンクロ録音機能を有効にします。 オフ*：　シンクロ録音機能を無効にします。	64
	外部入力選択	外部入力（オーディオ／マイク）ジャックから録音する外部入力を選択します。ICレコーダーモードと、外部入力モードで設定できます。 オーディオ入力*：　オーディオケーブルなど、外部マイク以外のものをつないだときに選びます。 マイク入力：　　外部マイクをつないだときに選びます。	63

タブ	メニュー	設定項目（*：初期設定）	参照ページ
（録音）	自動トラックマーク	録音中に、自動的に設定した間隔でトラックマークを付ける自動トラックマーク機能を設定します。 オン：　自動トラックマーク機能を有効にします。 オフ*：　自動トラックマークを無効にします。 間隔設定：自動トラックマーク機能が「オン」のときに、トラックマークを付ける間隔を、5分*、10分、15分、30分から選びます。	71
▶（再生）	再生モード	再生モードを設定します。 1：　1件のファイルを再生します。 🗀*：　フォルダ内のファイルを連続再生します。 ALL：　全ファイルを連続再生します。 ↻1：　1件のファイルをリピート再生します。 ↻🗀：　フォルダ内のファイルをリピート再生します。 ↻ALL：　全ファイルをリピート再生します。	53
（編集）	保護	ファイルを保護して、消去や分割、移動ができないようにします。 実行：　ファイルを保護します。既に保護されているファイルを選んで実行した場合は、保護を解除します。 キャンセル：　保護あるいは保護解除を実行しません。	76
	現在位置分割	ファイルをふたつに分けます。 実行：　分割を実行します。 キャンセル：　分割を実行しません。	74
	ファイル移動	選んだファイルを選んだフォルダに移動します。 移動する前に、移動したいファイルを選んでから、メニューモードにしてください。	69
	ファイルコピー	内蔵メモリーで選んだファイルをメモリーカードの選んだフォルダにコピーします。またはメモリーカードから内蔵メモリーにコピーします。 コピーする前に、コピーしたいファイルを選んでから、メニューモードにしてください。	70
	トラックマーク消去	現在位置のトラックマークを消去します。 実行：　トラックマーク消去を実行します。 キャンセル：　トラックマーク消去を実行しません。	72
	トラックマーク全消去	選んだファイルのすべてのトラックマークを消去します。 実行：　トラックマーク消去を実行します。 キャンセル：　トラックマーク消去を実行しません。	73
	トラックマーク全分割	選んだファイルのすべてのトラックマークの位置で分割します。 実行：　トラックマーク分割を実行します。 キャンセル：　トラックマーク分割を実行しません。	75
	フォルダ内消去	選んだフォルダの中身をすべて消去します。 消去する前に、録音済ファイルボタンを押して消去したいフォルダに切り換えてから、メニューモードにしてください。 実行：　フォルダ内消去を実行します。 キャンセル：　フォルダ内消去を実行しません。	67

タブ	メニュー	設定項目（*：初期設定）	参照ページ
（表示）	表示切り換え	表示モードを設定します。 経過時間*：1ファイルの経過時間 残り時間：停止／再生中は、1ファイルの残り時間、録音中は、録音可能時間 録音日付：録音した日付 録音時刻：録音した時刻	－
（本体設定）	メモリー切り換え	録音したファイルを保存する、または再生、編集、コピーするファイルが保存されているメモリーを選びます。 内蔵メモリー*：内蔵メモリーを使用します。 メモリーカード：ポータブルラジオレコーダーのメモリーカードスロットに挿入されているメモリーカードを使用します。 **ご注意** メモリーカードを取り出すと、自動的に内蔵メモリーが選択されます。	62
	時計設定	「年」「月」「日」「時」「分」をそれぞれ設定して時計を合わせます。 （2013年1月1日0：00*）	21
	時刻表示形式	時刻表示形式を設定します。 12時間：12：00AM＝真夜中、12：00PM＝正午 24時間*：0：00＝真夜中、12：00＝正午	－
	時刻補正	時計の補正方法を設定します。 オフ：「時計設定」メニューで、手動で時計を合わせます。 対応ソフトと同期*：ポータブルラジオレコーダーをパソコンにつないでアプリケーションソフトSound Organizerを起動すると、パソコンの時計に自動的に合わせます。 自動時刻補正：AMラジオのP01に登録したNHK第1放送またはNHK第2放送の時報を利用して、時刻が自動的に補正されます。「最終補正日」欄には、自動時刻補正を行った最終日が表示されます。	－
	操作音	確認音を設定します。 オン：操作時の受け付け確認音およびエラー時の操作音が鳴ります。 オフ*：操作時の受け付け確認音やエラー音が鳴りません。	－
	地域設定	ラジオの受信地域を設定し、ラジオの放送局を自動でプリセット登録します。 北海道（札幌）／北海道（函館）／北海道（旭川）／北海道（帯広）／北海道（釧路）／北海道（北見）／北海道（室蘭）／青森／岩手／秋田／宮城／山形／福島／埼玉／千葉／東京／神奈川／茨城／栃木／群馬／山梨／長野／静岡／愛知／岐阜／三重／新潟／富山／石川／福井／大阪／京都／兵庫／滋賀／奈良／和歌山／鳥取／島根／岡山／広島／山口／徳島／香川／愛媛／高知／福岡（福岡）／福岡（北九州）／佐賀／長崎／大分／熊本／宮崎／鹿児島／沖縄	21

タブ	メニュー	設定項目（＊：初期設定）	参照ページ
（本体設定）	設定初期化	メニューの設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。 実行：　「アクセス中...」のアニメーションが表示され、設定を初期化します。 キャンセル：　初期化しません。 **ご注意** 放送局名変更（38ページ）、保護（76ページ）、メモリー切り換え（62ページ）、時計設定（21、23ページ）、地域設定（21ページ）、録音予約（42ページ）、録音予約一覧（44ページ）、オンタイマー（55ページ）、ラジオプリセット（36ページ）、お気に入りラジオ局（30ページ）については初期化されません。	–
	メモリー初期化	現在選択されているメモリー（内蔵メモリーまたはメモリーカード）を初期化します。メモリー内のすべてのデータを消去し、フォルダ構成を初期状態に戻します。 実行：　「初期化...」のアニメーションが表示され、初期化します。 キャンセル：　初期化しません。 **ご注意** • ポータブルラジオレコーダーで使うメモリーカードはパソコンで初期化しないでください。必ずポータブルラジオレコーダーで行ってください。 • あらかじめ初期化したいメモリーに切り換えてから（62ページ）、初期化を実行してください。 • 初期化をすると保存したすべてのデータが消去されます。一度消去した内容はもとに戻すことはできません。ご注意ください。	–
	本体情報	本体の型名、ソフトウェアのバージョン番号、ユーザー名を表示します。 ユーザー名はSound Organizerで設定することができます。ファイル名の一部にユーザー名を表示するように設定することもできます。	–

パソコンにつないで使う

ポータブルラジオレコーダーとパソコンを接続すると、ファイルのやり取りが行えます。

ファイルをポータブルラジオレコーダーからパソコンにコピーして保存する（88ページ）

音楽ファイルをパソコンからポータブルラジオレコーダーにコピーして再生する（89ページ）

USBメモリーとして利用する（90ページ）

パソコンに保存されている画像やテキストファイルなどを一時的に保存することができます。

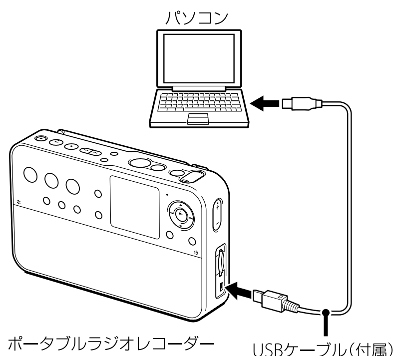
Sound Organizerを使う（91ページ）

ソフトウェアSound Organizerを使って、ポータブルラジオレコーダーで録音したファイルをパソコンに取り込んで管理・編集したり、パソコンに保存されている音楽ファイルやポッドキャストをポータブルラジオレコーダーに転送したりできます。

パソコンに必要なシステム構成

パソコンに必要なシステム構成については、92ページ、118ページをご覧ください。

ポータブルラジオレコーダーをパソコンに接続する



ポータブルラジオレコーダーとパソコンでファイルをやり取りするためには、ポータブルラジオレコーダーをパソコンに接続します。

1 ポータブルラジオレコーダーの （USB）端子とパソコンのUSBポートに、付属のUSBケーブルを奥まで差し込み接続する。

2 正しく認識されているかを確認する。

Windowsでは、「マイコンピュータ」または「コンピュータ」を開き、「RADIO REC」または「MEMORY CARD」が新しく認識されているかを確認してください。
Macでは、Finderに「RADIO REC」または「MEMORY CARD」という名前のドライブが表示されているかを確認してください。

接続するとパソコン側でポータブルラジオレコーダーを認識することができ、ファイルのやり取りが行えます。
接続している間はポータブルラジオレコーダーの表示窓に「接続中」の表示が出ています。

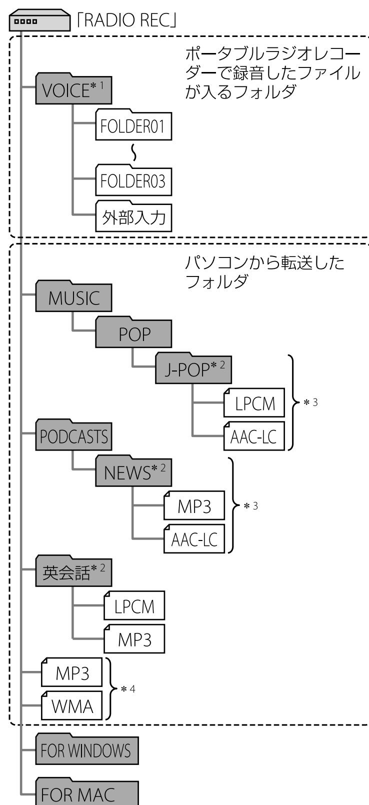
ご注意

- 1台のパソコンに2台以上のUSB機器を接続した場合の動作保証はいたしかねます。
- USBハブ、またはUSB延長ケーブルをご使用の場合の動作保証はいたしかねます。必ず付属のUSBケーブルで接続してください。
- 同時にお使いになるUSB機器によっては、正常に動作しないことがあります。
- パソコン接続時は必ずACアダプターを接続するか、電池を挿入してからお使いください。
- パソコン接続時は、タイマー設定時刻になってもタイマーは作動しません。タイマー設定時刻にはポータブルラジオレコーダーをパソコンから取りはずしてください。
- パソコンとは必要なときだけ接続することをおすすめします。パソコンを使って操作しないときは、ポータブルラジオレコーダーははずしておいてください。

フォルダとファイルの構成

ポータブルラジオレコーダーをパソコンに接続すると、フォルダやファイルの構成をパソコンの画面で見ることができます。
WindowsではエクスプローラをMac使って、ではFinderを使って、「RADIO REC」または「MEMORY CARD」を開くと、フォルダやファイルを表示できます。
パソコンの画面で見ると、次の図のように表示されます。

内蔵メモリーの場合



*1 VOICEフォルダ直下にファイルを転送しても、ポータブルラジオレコーダーでは認識されず、(Voice)タブには表示されません。ファイルを転送するときは、VOICEフォルダ配下のフォルダ内にファイルを入れてください。

*2 音楽ファイルやポッドキャストが保存されたフォルダ名はポータブルラジオレコーダーでも同じフォルダ名として表示されます。管理しやすいフォルダ名にしておくと便利です。（図は、フォルダ名称の例です。）

*3 音楽ファイルを認識できるのは、ポータブルラジオレコーダーに転送したフォルダの8階層目までとなります。

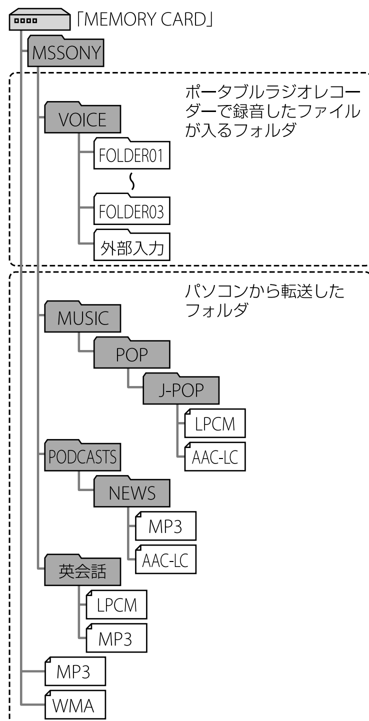
*4 音楽ファイルを「RADIO REC」の直下に転送すると「未分類」のファイルとして「未分類フォルダ」内に表示されます。

ヒント

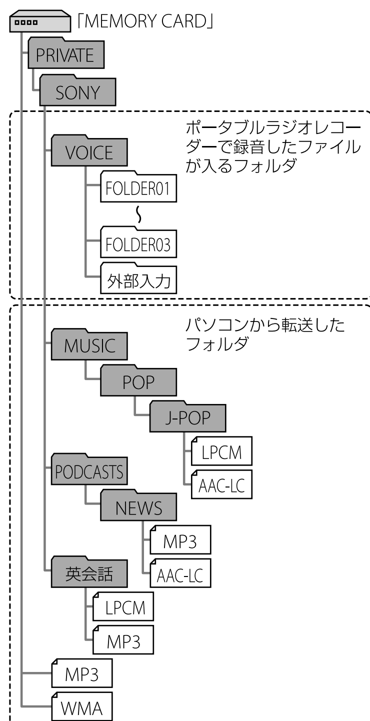
- ポータブルラジオレコーダーでは、音楽ファイルに登録されているタイトル名やアーティスト名の情報を表示することができますので、音楽ファイルを作成するソフトやパソコンで情報を入力しておくと便利です。
- タイトル名またはアーティスト名が登録されていない場合は、ポータブルラジオレコーダーでは「No Data」と表示されます。

ポータブルラジオレコーダーのメモリーを「メモリーカード」に切り換えてから（62ページ）パソコンに接続した場合、内蔵メモリーの場合とはフォルダの構成が異なります。

メモリースティック デュオ™／メモリースティック マイクロ™（M2™）の場合



SDカード／microSDカードの場合



ラジオ／外部入力録音時のフォルダ名について

「録音予約」の「録音先フォルダ」で「自動分類」を選んでいる場合（44ページ）、ラジオ／外部入力の録音時にファイルの保存先として以下の名前で自動的にフォルダが作られます。

- 放送局名が取得できている場合：放送局名（例：NHK-FM）
- 放送局名が取得できていない場合：バンド（AMまたはFM）＋周波数（例：AM693kHz）
- 外部入力の場合：外部入力

ポータブルラジオレコーダーで見たフォルダの構成

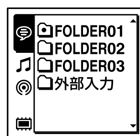
ポータブルラジオレコーダーの表示窓で見たフォルダの構成は、パソコンで見た場合とは異なります。
フォルダの違いは、ポータブルラジオレコーダーの表示窓に表示されるフォルダ表示で区別できます。

- ：ポータブルラジオレコーダーで録音したファイルが入るフォルダ
- ：パソコンから転送したフォルダ（パソコンから転送したときに表示されます。）
- ：パソコンから転送したポッドキャストファイルが入るフォルダ（パソコンから転送したときに表示されます。）

ご注意

ポータブルラジオレコーダーで再生できるファイルが入っていないフォルダは、ポータブルラジオレコーダーでは表示されません。

ポータブルラジオレコーダーの (Voice) タブに表示されるフォルダ



ポータブルラジオレコーダーで録音したファイルが入るフォルダ（VOICEフォルダ配下のフォルダ）が表示されます。

ご注意

VOICEフォルダ直下にファイルを転送してもVOICEフォルダ内にファイルは表示されません。

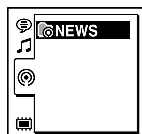
ポータブルラジオレコーダーの ♫(Music)タブに表示されるフォルダ



パソコンから転送したフォルダのうち、以下のフォルダが表示されます。

- MUSICフォルダ配下のフォルダのうち、中にファイルを含むフォルダ(階層が深い場合は、すべて並列に表示されます。)
- MUSICフォルダ配下またはPODCASTSフォルダ配下以外の場所に転送されたフォルダ
- 「未分類」フォルダ(単独で転送したファイルは、このフォルダ配下に表示されます。)

ポータブルラジオレコーダーの ◎(Podcast)タブに表示されるフォルダ



パソコンから転送したポッドキャストファイルが入るフォルダが表示されます。
ポッドキャストファイルをパソコンからポータブルラジオレコーダーに転送する際は、Sound Organizerをご使用ください。

ポータブルラジオレコーダーをパソコンから取りはずす

必ず下記の手順で取りはずしてください。この手順で行わないと、データが破損するおそれがあります。

1 ポータブルラジオレコーダーのアクセスランプが消えていることを確認する。

2 パソコンで下記の操作を行う。

Windowsの場合：
タスクバー（パソコンの画面右下）にあるアイコンを左クリックしてください。

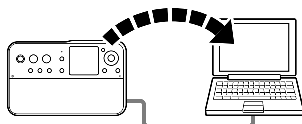


→［RADIO RECの取り出し］(Windows 7、Windows 8)または、［USB大容量記憶装置 − ドライブを安全に取り外します］(Windows XP、Windows Vista)を左クリックしてください。
アイコン、メニューの表示はOSの種類によって異なる場合があります。

Macの場合：
Finderのサイドバーに表示されている「RADIO REC」の取り外しアイコンをクリックしてください。
パソコンから取りはずす方法について詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

3 パソコンからUSBケーブルを取りはずす。

ファイルをポータブルラジオレコーダーからパソコンにコピーして保存する



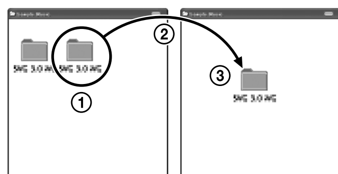
ポータブルラジオレコーダーにあるファイルやフォルダをパソコンにコピーして保存することができます。

1 ポータブルラジオレコーダーをパソコンに接続する（83ページ）。

2 保存したいファイルやフォルダをパソコンにコピーする。

「RADIO REC」または「MEMORY CARD」に入っているファイルやフォルダをパソコンのローカルディスクにドラッグアンドドロップします。

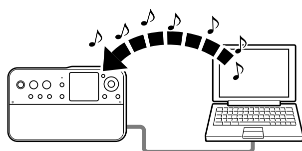
ファイルやフォルダをコピーする（ドラッグアンドドロップ）



①コピーしたいフォルダをクリックしたまま、
②保存先まで移動（ドラッグ）して、
③はなす（ドロップ）

3 ポータブルラジオレコーダーをパソコンから取りはずす（87ページ）。

音楽ファイルをパソコンからポータブルラジオレコーダーにコピーして再生する



パソコンに保存してある音楽（語学）ファイル（LPCM(.wav)/MP3(.mp3)/WMA(.wma)/AAC-LC(.m4a)*）をポータブルラジオレコーダーにコピーして再生することができます。

* ポータブルラジオレコーダーで再生可能なファイル形式については、「主な仕様」（118ページ）をご覧ください。

パソコンにある音楽ファイルをポータブルラジオレコーダーにドラッグアンドドロップしてコピーする

1 ポータブルラジオレコーダーをパソコンに接続する（83ページ）。

2 パソコン内の音楽ファイルが入っているフォルダをポータブルラジオレコーダーにコピーする。

Windowsではエクスプローラを使って、MacではFinderを使って、音楽ファイルが入っているフォルダを「RADIO REC」または「MEMORY CARD」ににドラッグアンドドロップします。
ポータブルラジオレコーダーでは最大400個のフォルダまで認識できます。1個のフォルダには最大199件のファイルを入れることができます。また、1つのメモリーに対して、フォルダとファイルを合計して最大4,095件まで認識できます。

3 ポータブルラジオレコーダーをパソコンから取りはずす（87ページ）。

コピーした音楽ファイルをポータブルラジオレコーダーで再生する

1 録音済ファイルボタンを押す。

2 コントロールボタンの ⏮ を押したあと、コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して ♫(Music)タブを選び、⏭ を押す。

3 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、音楽ファイルを入れたフォルダ（フォルダアイコン）を選び、コントロールボタンの ⏭ を押す。

4 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して再生したい音楽ファイルを選ぶ。

5 ► 再生ボタンを押して再生を始める。

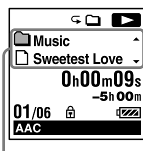
6 再生を止めるには、■ 停止ボタンを押す。

ご注意

- パソコンからコピーした音楽ファイルでは、再生はできますが、ファイルの分割、トラックマーク設定ができない場合があります。
- パソコンを使って、ポータブルラジオレコーダーにコピーした音楽ファイルは、システムの制約によりコピー順にならないことがあります。パソコンにある音楽ファイルを1ファイルずつポータブルラジオレコーダーにコピーすると、表示、再生の順番をコピー順に合わせることができます。

音楽再生時の画面表示について

コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して再生中の音楽ファイルの情報を確認することができます。



- ：フォルダ名を表示
- ：ファイル名を表示
- ：アーティスト名を表示
- ：タイトル名を表示

USBメモリーとして利用する

ポータブルラジオレコーダーとパソコンをUSB経由で接続すると、パソコン上にあるポータブルラジオレコーダーで録音したファイル以外の画像やテキストなどのファイルをポータブルラジオレコーダーに一時保存できます。USBメモリーとして使うためには、一定の条件を満たしたシステム構成のパソコンが必要です。

OSの条件については「必要なシステム構成」（118ページ）をご覧ください。

Sound Organizerを使う

Sound Organizerでできること

Sound Organizerでは、ポータブルラジオレコーダーやメモリーカードとファイルのやりとりができます。また、音楽CDなどから取り込んだ楽曲、パソコンから取り込んだMP3などの音声ファイルやポッドキャストを再生したり、ポータブルラジオレコーダーに転送したりできます。取り込んだファイルは、再生、編集、MP3ファイルなどへの変換など、さまざまな操作ができます。また、お好みの音楽CDを作成したり、音声ファイルをメールで送信することができます。
使用方法の詳細はSound Organizerのヘルプをご覧ください。

ポータブルラジオレコーダーで録音したファイルを取り込む

ポータブルラジオレコーダーで録音した音声ファイルをSound Organizerに取り込めます。取り込んだファイルはパソコンに保存されます。

音楽CDから楽曲を取り込む

音楽CDの楽曲をSound Organizerに取り込みます。
取り込んだ楽曲はパソコンに保存されます。

パソコン上のファイルを取り込む

パソコン上に保存されている音楽などのファイルをSound Organizerに取り込めます。

ポッドキャストを登録／更新する

Sound Organizerにポッドキャストを登録します。
ポッドキャストを登録／更新すると、インターネットから最新のデータをダウンロード（購読）して楽しむことができます。

ファイルを再生する

Sound Organizerに取り込んだファイルを再生します。

ファイルの曲情報を変更する

ファイル一覧に表示されるタイトル名、アーティスト名などの曲情報を変更します。

ファイルを分割する

1つのファイルを複数のファイルに分割します。

ファイルを結合する

複数のファイルを1つのファイルに結合します。

ポータブルラジオレコーダーからファイルを削除する

ポータブルラジオレコーダーに保存されているファイルを削除できます。
ポータブルラジオレコーダーの空き容量を増やしたい場合や、不要なファイルがある場合などは、この操作でポータブルラジオレコーダー内のファイルを削除してください。

ポータブルラジオレコーダーに転送する

Sound Organizerからポータブルラジオレコーダーやメモリーカードにファイルを転送します。
転送された音楽やポッドキャストなどをポータブルラジオレコーダーで楽しむことができます。

ポータブルラジオレコーダーにユーザー名を登録する

「ユーザー名」とは、ポータブルラジオレコーダーのユーザーを認識するための情報です。Sound Organizerで、20文字までのユーザー名を設定することができます。
ユーザー名を設定した状態でポータブルラジオレコーダーで録音すると、ファイルにユーザー名の情報がつきます。未登録の場合は「My Recording」と表示されます。ポータブルラジオレコーダーでは、設定したユーザー名はメニューの「本体情報」で確認することができます。

音楽CDを作成する
Sound Organizerに取り込んだ楽曲からお好みの楽曲を選んで、自分だけのオリジナル音楽CDを作成します。

時刻補正の設定を変更する
時刻の補正方法(オフ、対応ソフトと同期、自動時刻補正)を変更することができます。

ラジオのプリセット登録を編集する
放送局名、周波数、プリセット登録順を変更することができます。

ラジオ／外部入力録音予約の設定をする
ポータブルラジオレコーダーをパソコンに接続して、Sound Organizerでラジオ／外部入力の録音予約を設定できます。各操作の詳細はヘルプを参照してください。

オンタイマーの設定をする
ポータブルラジオレコーダーをパソコンに接続して、Sound Organizerでオンタイマーを設定できます。各操作の詳細はヘルプを参照してください。

その他の便利な使いかた
- メールソフトウェアを起動して、録音した音声ファイルを添付してメールで送信できます。
- Sound Organizerに対応した音声認識ソフトウェア「Dragon NaturallySpeaking」(別売)を使って、ファイルを音声認識して文字に変換できます。

パソコンに必要なシステム構成

Sound Organizerを使用するためには、以下の環境が必要です。

OS
- Windows 8
- Windows 8 Pro
- Windows 7 Ultimate
- Windows 7 Professional
- Windows 7 Home Premium
- Windows 7 Home Basic
- Windows 7 Starter
- Windows Vista Ultimate Service Pack 2 以降
- Windows Vista Business Service Pack 2 以降
- Windows Vista Home Premium Service Pack 2 以降
- Windows Vista Home Basic Service Pack 2 以降
- Windows XP Media Center Edition 2005 Service Pack 3 以降
- Windows XP Media Center Edition 2004 Service Pack 3 以降
- Windows XP Professional Service Pack 3 以降
- Windows XP Home Edition Service Pack 3 以降

標準インストール(日本語版のみ)

ご注意
- 上記以外のOSは動作保証いたしません。
アップグレードした場合や、マルチブート環境の場合は、動作保証いたしません。
- Windows XPについては、64ビット版のOSは動作保証いたしません。

以下の性能を満たしたIBM PC/ATおよびその互換機

- CPU
  Windows XP：Pentium III プロセッサー 500 MHz以上
  Windows Vista：Pentium III プロセッサー 800 MHz以上
  Windows 7：Pentium III プロセッサー 1 GHz以上
  Windows 8：Pentium III プロセッサー 1 GHz以上
- メモリー
  Windows XP：256 MB以上
  Windows Vista：512 MB以上（Windows Vista Ultimate/Business/Home Premiumの場合は1 GB以上推奨）
  Windows 7：1 GB以上（32ビット版）／2 GB以上（64ビット版）
  Windows 8：1 GB以上（32ビット版）／2 GB以上（64ビット版）
- ハードディスクの空き容量
  400 MB以上
  Windowsのバージョンによってはそれ以上使用する場合があります。
  また、音楽データを扱うための空き容量がさらに必要です。
- ディスプレイの設定
  画面の解像度：800×600ピクセル以上（1,024×768ピクセル推奨）
  画面の色：High Color（16ビット）以上
- サウンドボード
  SoundBlaster互換推奨
- USBポート
  機器・メディアをご使用になるには、使用可能なUSBポートが必要です。
  USBハブにて拡張されたUSBポートは特別に動作保証された機種以外での動作の保証はいたしません。
- ディスクドライブ
  音楽CDを作成する場合はCD-R/RWドライブが必要です。

Sound Organizerをインストールする

Sound Organizerをポータブルラジオレコーダーの内蔵メモリーからパソコンのハードディスクなどにインストールします。

ご注意

- Sound Organizerをインストールするときは、Administrator（管理者）権限でログオンしてください。
  また、Windows 7またはWindows 8をお使いで「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、内容をご確認の上、[はい]（Windows Vistaの場合は[続行]）をクリックしてください。
- Windows XPの制限ユーザーでは、Sound Organizerを起動できません。
- Windows XPでソフトウェアのアップデート機能を使うには、コンピューターの管理者としてログオンする必要があります。
- Sound OrganizerのインストールによってWindows Media Format Runtimeのモジュールが追加されます。
  Sound Organizerをアンインストールした場合でも、このモジュールは削除されません。
  ただし、プリインストールされている場合にはインストールされないことがあります。
- Sound Organizerをアンインストールした場合にも、コンテンツ格納先フォルダ内のデータは消えません。
- 1台のパソコンに複数のオペレーティングシステムをインストールした環境では、それぞれのオペレーティングシステムにSound Organizerをインストールしないでください。データの不整合が生じる場合があります。

1 ポータブルラジオレコーダーをパソコンに接続する（83ページ）。

2 正しく認識されているかを確認する。
接続している間はポータブルラジオレコーダーの表示窓に「接続中」の表示が出ています。

3 Windowsの[スタート]メニューから、[コンピューター](または[マイコンピュータ])をクリックし、[RADIO REC] → [FOR WINDOWS]をダブルクリックする。



画面はお使いのWindowsのバージョンによって異なります。本書では、Windows 7を例にして説明しています。

4 [SoundOrganizerInstaller_V140](または[SoundOrganizerInstaller_V140.exe])をダブルクリックする。



画面の指示に従って操作してください。
お使いのWindowsのバージョンによっては、この画面が表示されずに、セットアップの準備(解凍)が自動的に始まる場合があります。

5 使用許諾契約の内容を確認したら、「使用許諾契約に同意します」を選び、[次へ]をクリックする。

6 「インストールの種類」の画面が表示されたら、お好みで「標準」、「カスタム」のいずれかを選び、[次へ]をクリックする。
「カスタム」を選んだ場合は、画面の指示に従い、インストール設定を行ってください。

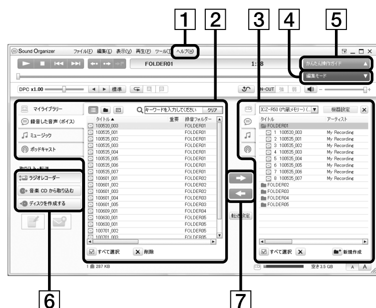
7 「インストールの開始」の画面が表示されたら、[インストール]をクリックする。
インストールが始まります。

8 「Sound Organizerは正常にインストールされました」の画面が表示されたら、「Sound Organizerを今すぐ起動する」をチェックし、「終了」をクリックする。

ご注意

Sound Organizerのインストール後、パソコンの再起動が必要になる場合があります。

Sound Organizerの基本操作について



1 ヘルプ
Sound Organizerのヘルプを表示します。各操作の詳細はヘルプを参照してください。

2 Sound Organizerファイル一覧（マイライブラリー）
Sound Organizerのマイライブラリーに含まれるファイルの一覧を、操作に合わせて表示します。
録音した音声（ボイス）：録音した音声ファイルの一覧を表示します。
ポータブルラジオレコーダーで録音したファイルを取り込むと、このライブラリーに表示されます。
ミュージック：音楽ファイルの一覧を表示します。
音楽CDから楽曲を取り込むと、このライブラリーに表示されます。
ポッドキャスト：ポッドキャストの一覧を表示します。

3 ファイル一覧
パソコンに接続しているポータブルラジオレコーダーまたはメモリーカードに保存されているファイルが表示されます。

4 編集モードボタン
編集エリアを表示して、ファイルを編集できます。

5 かんたん操作ガイドボタン
Sound Organizerの基本的な機能をガイドする、「かんたん操作ガイド」を表示します。

6 サイドバー（取り込み・転送）
ラジオレコーダー：転送画面を表示します。接続機器内のファイル一覧が表示されます。
音楽CDから取り込む：音楽CDの取り込み画面を表示します。
ディスクを作成する：ディスク作成画面を表示します。

7 ファイル転送ボタン
：Sound Organizerのファイルをポータブルラジオレコーダーまたはメモリーカードに転送します。
：ポータブルラジオレコーダー・メモリーカードのファイルをSound Organizerのマイライブラリーに取り込みます。

パソコンを活用する

困ったときは

「症状から調べる」(97ページ)の各項目で調べる。

▼

電池を入れなおす。
電池を入れなおすと問題が解決することがあります。

▼

ACアダプターを抜き差しする
ACアダプターを抜き差しすると問題が解決することがあります。

パソコンを利用できる場合

- **ヘルプガイドで調べる(122ページ)**
  パソコンで"ポータブルラジオレコーダー"の操作について、説明があります。
- **ポータブルラジオレコーダー「サポート・お問い合わせ」のホームページで調べる(121ページ)**
  インターネットに接続できる環境の場合、サポートホームページで最新情報を調べることができます。
- **Sound Organizerのヘルプで調べる(95ページ)**
  Sound Organizerについての操作方法はSound Organizerのヘルプで調べることができます。

▼

上記を確認しても問題が解決しないときは、ソニーの相談窓口(126ページ)またはお買い上げ店に相談する。

症状から調べる

修理を依頼される前に、もう一度下記項目をチェックしてみてください。
なお、保証書とアフターサービスについては、121ページをご参照願います。
修理に出すと、録音した内容が消えることがあります。ご了承ください。

こんなときは（ポータブルラジオレコーダー）

症状	原因／処置
ラジオの音がまったく聞こえない。	• 電池を入れる向きが正しくない。 → 乾電池または充電式電池を正しく入れてください（18ページ）。 • 電池が消耗している。 → 新しい乾電池、または充電済の充電式電池に交換してください（18ページ）。 • 音量が最小になっている。 → 音量＋／－ボタンで音量を調節する。
ラジオが受信できない。	• 地域設定が間違っている。 → 地域設定で正しい地域を選ぶ（21ページ）。
AMラジオが受信できない。	• 内蔵/外部 AMアンテナ切り換えスイッチが「外部」になっている。 → ループアンテナをつないでいない場合は、AMアンテナ切り換えスイッチを「内蔵」にする（26ページ）。
FMラジオが受信できない。	• ロッドアンテナが引き出されていない。 • 内蔵/外部 FMアンテナ切り換えスイッチが「外部」になっている。 → FMラジオ用アンテナ接続ケーブルジャックにつないでいない場合は、FMアンテナ切り換えスイッチを「本体」にする（26ページ）。
ラジオ受信中、音声が小さい、または音質がよくない。	• 電池が消耗している。 → 新しい乾電池、または充電済の充電式電池に交換してください（18ページ）。 • 電波が弱い。 → 建物や乗り物の中では電波が弱いので、なるべく窓側でお聞きください。 • テレビから離してお使いください。
ラジオ受信中、雑音が入る。	• 近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している。 → 携帯電話などをポータブルラジオレコーダーから離して使用する。
FMラジオ受信中、テレビの画像が乱れる。	• 室内アンテナを使用しているテレビの近くでFMラジオを受信している場合は、テレビから離れてください。
プリセット番号を選んでも、聞きたい放送局が受信できない。	• 正しいプリセット番号を選んでいない。 → 正しい放送局のプリセット番号を選ぶ。 • 正しい地域を選んでいない。 →「地域設定」で現在ラジオを使っている地域を設定する（21ページ）。
ラジオ放送がプリセット登録できない。	• ラジオ放送局が30件登録されている。 → プリセット登録を消去する（37ページ）。 • メニューで「スキャン感度」が「低（SCAN L）」になっている。 →「スキャン感度」設定を「高（SCAN H）」にする（36ページ）。
雑音が入る。	• 録音したとき、ポータブルラジオレコーダーをこすってしまい、雑音が録音された。 • 録音中や再生中にポータブルラジオレコーダーを電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。 • 外部マイク（別売）で録音したとき、マイクのプラグが汚れていた。 → プラグをきれいにクリーニングする。 • ヘッドホンで聞いているとき、ヘッドホンのプラグが汚れている。 → プラグをきれいにクリーニングする。 • MP3録音時の一時停止、VOR録音、シンクロ録音のつなぎ目でもノイズが入ることがあります。

症状	原因／処置
電源が切れない。	• 電源ボタンを押す（20ページ）。 • ホールドがオンになっている。 → ホールドスイッチを「切」の位置にスライドしてから（17ページ）、電源ボタンを押す。
電源が入らない。	• 電源がオフになっている。 → 電源ボタンを押す（20ページ）。 • ACアダプターが接続されていない。 • 電池の ⊕ と ⊖ の向きが正しくない（18ページ）。
電源が自動的に切れる。	• 停止状態で操作をしないまま放置していると、約60分後に電源が自動的に切れます。 • スリープタイマーが設定されています。
正常に動作しない。	• ACアダプターが接続されていない。 • 電池を取り出して、もう一度入れ直す。
起動に時間がかかる。	• ファイル数が多いと、起動するのに時間がかかることがありますが、故障ではありません。ラジオ画面・外部入力画面・停止画面になるまでお待ちください。
ポータブルラジオレコーダーが動作しない。	• パソコンで初期化（フォーマット）している。 → ポータブルラジオレコーダーで初期化を行ってください（82ページ）。
操作ボタンを押しても動作しない。	• 電池が消耗している（19ページ）。 • 電源がオフになっている。 → 電源ボタンを押す（20ページ）。 • ホールドがオンになっている。 → ホールドスイッチを「切」の位置にスライドする（17ページ）。
スピーカーから音が出ない。	• 音量が絞られている（27、48ページ）。 • ヘッドホンをつないでいる（52ページ）。
ヘッドホンをつないでいても、スピーカーから音が出る。	• 再生中にヘッドホンを差し込むとき、最後まで差し込まないとスピーカーからも音が聞こえてしまうことがあります。 → いったんヘッドホンを抜いて、最後までしっかり差し込む。
「メモリーが一杯です」のアニメーションが表示され、録音できない。	• メモリーがいっぱいになっている。 → 不要なファイルを消去する（67ページ）か、別のメモリーもしくはパソコンに保存してから、メモリーの内容を消去する。
「ファイルが一杯です」のアニメーションが表示され、操作できない。	• 選んだフォルダ（🗀）に199件のファイルが入っているか、または、全体で4,074件のファイル（フォルダが21個のとき）が入っているため、録音やファイル移動ができない。 → 不要なファイルを消去する（67ページ）か、別のメモリーもしくはパソコンに保存してから、メモリーの内容を消去する。
録音できない。	• 録音残り時間が不足している場合は録音できません。 • 再生専用エリアの ♫（Music）タブ、◎（Podcast）タブで管理されているフォルダには録音できません。
再生音量が小さい。	• 音量が絞られている。 → 音量＋／－ボタンを押して音量を調節する（27、48ページ）。 • マイク感度が「🎤L 低」になっている。 → 「🎤H 高」に切り換える（79ページ）。
予約が作動しない。	• 時計が設定されていない。 • ポータブルラジオレコーダーをパソコンに接続していると、予約設定時刻になっても予約は作動しません。予約設定時刻にはポータブルラジオレコーダーをパソコンから取りはずしてください（87ページ）。 • 録音中はオンタイマーは動作しません。 • 録音予約開始時刻に電源が入っていないときは、表示画面に何も表示されませんが、録音を実行しています。

症状	原因／処置
録音が途中で止まる。	• VORが作動している。VORを使用しないときは、メニューで「オフ」にする（60ページ）。
VOR機能が働かない。	• シンクロ録音では、VOR機能は働きません（64ページ）。 • ラジオ放送、または外部入力からの音源の録音をしている。ラジオ放送、または外部入力録音中はVOR機能は働きません。
他の機器から録音するとき、録音レベルが小さすぎたり大きすぎたりする。	• 他の機器のヘッドホン端子を使ってポータブルラジオレコーダーと接続し、つないだ機器側で音量を調節してください。
再生スピードが速すぎたり遅すぎたりする。	• 再生速度が調節されている。 → 速度調節（DPC）標準ボタンを押すと、通常の速度で再生されます。または、速度調節（DPC）速くボタン、遅くボタンを押して適切な再生速度に調節してください（54ページ）。
ファイルを分割できない。	• メモリーに一定の空き容量がない。 • 選んだフォルダ（□）に199件のファイルが入っている。 → 不要なファイルを消去する（67ページ）か、別のメモリーもしくはパソコンに保存してから、メモリーの内容を消去する。 • システムの制約により、ファイルのはじめと終わりでファイル分割できないことがあります。 • ポータブルラジオレコーダーで録音されたファイル以外（パソコンから転送したファイル）は、分割できません。
メモリーカードが認識されない。	• メモリーカード内の別ファイル（画像データなど）によって、初期フォルダを作成するために必要な容量が不足しています。WindowsのエクスプローラまたはMacのFinderなどから不要なデータを消去するか、ポータブルラジオレコーダーでメモリーカードの初期化を行ってください。 • ポータブルラジオレコーダーのメモリーを「メモリーカード」に切り換えてください（62ページ）。 • メモリーカードを取り出し、裏表を確認して再度入れ直してください。
時計表示が「--:--」になる。	• 時計を合わせていない（21ページ）。 • ACアダプターが接続されていなかったり、電池が消耗した状態で長時間放置されていたりしたため、時計設定がクリアされた。
録音日時表示が「--y--m --d」または「--:--」になる。	• 時計を合わせていないときに録音したファイルには、録音した日付は表示されません。
メニュー表示の項目が足りない。	• 再生、録音中、またはラジオ受信中、外部入力再生中は、表示されないメニューがあります（78ページ）。
ポータブルラジオレコーダーに表示される残り時間が、パソコン上での残量表示より短い。	• ポータブルラジオレコーダーではシステム上必要な領域を差し引いて表示しているため、Sound Organizerでの残量表示と異なる場合があります。
電池の持続時間が短い。	• 120ページの電池の持続時間は、当社試験法で再生した場合の目安です。使用条件によって短くなる場合があります。
電池を入れたまま長い期間使用しないあとで、使おうとすると電池がなくなっている。	• 使用しない場合でも、わずかですが電池を消耗します。長い間ご使用にならない場合は、こまめに電源を切る（20ページ）か、電池をはずしておくことをおすすめします。
充電式電池の持続時間が短い。	• 5℃以下の環境で使用している。電池の特性によるもので故障ではありません。 • しばらく使用していなかった。何回か充電、放電（ポータブルラジオレコーダーに入れて使用する）を繰り返す。 • 充電式電池の交換が必要です。新しい充電式電池と交換する。
変更したメニュー設定が反映されていない。	• 設定変更直後に電池が抜かれたり、電池残量が無い状態でSound Organizerの「本体設定」を使ってメニューの設定を変更した場合、ポータブルラジオレコーダーのメニュー設定が反映されないことがあります。

症状	原因／処置
フォルダ名やファイル名が文字化けしてしまう。	• WindowsのエクスプローラまたはMacのFinderを使ってパソコンで名前を入力した場合、ポータブルラジオレコーダーで対応していない特殊文字や記号が混ざっていると、ポータブルラジオレコーダーの表示窓では文字化けすることがあります。
「アクセス中...」のアニメーション表示が消えない。	• ファイル数が多いと、長時間表示されることがありますが、故障ではありません。表示が消えるまでお待ちください。
ファイルコピーに時間がかかる。	• ファイルサイズによっては、コピーに時間がかかることがあります。実行が終わるまでお待ちください。
ポータブルラジオレコーダーに転送したファイルが表示されない。	• 表示できるファイルは8階層目までです。 • ポータブルラジオレコーダーで対応しているLPCM(.wav)/MP3(.mp3)/WMA(.wma)/AAC-LC(.m4a)以外のファイルは、表示されない場合があります。ポータブルラジオレコーダーの仕様をご確認ください（118ページ）。
パソコンで認識しない。 パソコンからフォルダ、ファイルが転送できない。	• パソコンからポータブルラジオレコーダーをはずし、再度接続してください。 • ポータブルラジオレコーダーが対応しているシステム構成（118ページ）以外では、動作保証はいたしかねます。 • お使いのパソコンのUSBポートの位置によっては、認識できないことがあります。別のUSBポートに接続してください。
転送したファイルが再生できない。	• 転送したファイルがポータブルラジオレコーダーで再生可能なファイル形式（LPCM(.wav)/MP3(.mp3)/WMA(.wma)/AAC-LC(.m4a)）と異なる。ファイルの名称を確認してください（118ページ）。
パソコンが起動しない。	• ポータブルラジオレコーダーをパソコンに接続したまま、パソコンを起動すると、パソコンがフリーズしたり、起動しないことがあります。 → ポータブルラジオレコーダーをパソコンからはずして起動してください。

こんなときは（Sound Organizer）

Sound Organizerのヘルプもあわせてご覧ください。

症状	原因／処置
インストールできない。	• ハードディスクの空き容量が少ない。 → 容量を確認してください。 • Sound Organizerが動作保証していないOSにインストールしようとした。 → 対応しているOS（92ページ）にインストールしてください。 • Windows XPの制限ユーザー、Windows Vista、Windows 7またはWindows 8のGuestアカウントでログオンしている。 →「コンピューターの管理者」に所属するユーザー名でログオンしてください。 • 日本語以外のOSにインストールしようとした。 → 日本語のOSにインストールしてください。
ポータブルラジオレコーダーと接続できない。	• ソフトウェアのインストール、接続ケーブルの接続などを正しく行ったか確認してください。 – 外付けUSBハブをご使用の場合には、直接パソコンに接続してください。 – ポータブルラジオレコーダー側の接続ケーブルを抜き差ししてください。 – 他のUSBポートで接続してみてください。 • システムサスペンド／システムハイバネーションモードに移行している。 → システムサスペンド／システムハイバネーションモードに移行しないでください。 • 内蔵メモリーやメモリーカードのデータをパソコンにすべてバックアップしたあとで、内蔵メモリーおよびメモリーカードをポータブルラジオレコーダーで初期化してください（82ページ）。
パソコンからの再生音量が小さい、 パソコンから音が出ない。	• サウンドポートが付いていない。 • パソコンにスピーカーが内蔵または接続されていない。 • ミュートが解除されていない。 • パソコン側で音量を上げてみてください。（詳しくはお使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。）
保存したファイルが再生、編集できない。	• 対応していないファイル形式のファイルは再生できません。また、ファイル形式によっては一部の編集機能がお使いになれません。詳しくは、ヘルプをご覧ください。
カウンターやスライダーの動きがおかしい、 雑音が入る。	• 分割を行ったファイルをパソコン上で再生したときに発生する場合があります。 → いったんハードディスクに保存してから*再度ポータブルラジオレコーダーに戻すと、データが最適化され、正常な再生に戻ります。（*ポータブルラジオレコーダーの形式に合ったファイル形式で保存してください。）
ファイル数が多くなると動作が遅くなる。	• 録音時間の長さに関係なく、ポータブルラジオレコーダー内のファイルの総数が多いと、処理に時間がかかることがあります。
ファイルの保存・追加・消去中に画面が動かなくなる。	• 録音時間の長いファイルの場合、コピーまたは消去に時間がかかります。 → コピーまたは消去が終了するまでお待ちください。通常の操作ができるようになります。
本ソフトウェアを起動したときフリーズ（ハングアップ）してしまう。	• ポータブルラジオレコーダーと通信を行っている間は絶対にケーブルを抜かないでください。パソコンの動作が不安定になったり、ポータブルラジオレコーダー内のデータが壊れるおそれがあります。 • 他にインストールされているドライバおよびアプリケーションソフトとのコンフリクトの可能性があります。

メッセージ表示一覧

メッセージ表示	原因
ホールド中 解除してください	• ポータブルラジオレコーダーが誤動作防止（ホールド）状態になっているため、すべてのボタン操作が無効になっています。ホールドスイッチを「切」の位置にスライドして、ホールドを解除してください（17ページ）。
電池残量がありません	• 電池が消耗しています。新しい単3形乾電池と取り換えてください。充電式電池の場合は、充電済みの電池と取り換えてください（18ページ）。
メモリーカードエラー	• メモリーカードスロットにメモリーカードを挿入時にエラーが発生しました。いったんメモリーカードを抜き差ししてください。それでも同じエラーが表示される場合は、別のメモリーカードをお使いください。
非対応のメモリーカードです	• ポータブルラジオレコーダーが対応していないメモリーカードが使われています。「ポータブルラジオレコーダーで使用できるメモリーカード」をご覧ください（61ページ）。
メモリーカードがロックされています	• メモリーカードが書き込み禁止になっています。ポータブルラジオレコーダーではお使いいただけません。
読み取り専用のメモリーカードです	• 読み取り専用メモリーカードが使われています。ポータブルラジオレコーダーではお使いいただけません。
アクセスは禁止されています	• アクセスコントロール機能が有効なメモリーカードが使われているため、ご利用できません。
更新に必要な電池残量がありません	• 電池が消耗しています。新しい単3形乾電池と取り換えてください。充電式電池の場合は、充電済みの電池と取り換えてください（18ページ）。
メモリーが一杯です	• 録音できるメモリー容量がなくなりました。いくつかのファイルを消去してからやり直してください（67ページ）。
ファイルが一杯です	• フォルダ内のファイルの合計か、全体のファイル数が最大になったため、新規のファイルを作成できません。いくつかのファイルを消去して（67ページ）からやり直してください。
ファイルが壊れています	• 選んだファイルのデータが破損しているので、再生や編集ができません。
内蔵メモリーの初期化が必要です	• パソコンでポータブルラジオレコーダーを初期化したためUSB接続で電源を入れようとしても、動作に必要な管理ファイル作成ができません。メニューでポータブルラジオレコーダーの初期化をしてください（82ページ）。パソコンで初期化しないでください。
メモリーカードの初期化が必要です	• パソコンでメモリーカードを初期化したため動作に必要な管理ファイル作成ができません。メニューで初期化をしてください（82ページ）。
処理を継続できません	• ACアダプターを接続し直してみてください。 • 電池を抜き差ししてみてください。 • 必要なデータをバックアップしてからメニューでポータブルラジオレコーダーの内蔵メモリーを初期化してください（82ページ）。
停止してからメモリーカードを再挿入してください	• 再生、録音処理中にメモリーカードを挿入したため、メモリーカードが認識できませんでした。一度メモリーカードを抜いてから、停止状態のときに、挿入してください。
時計を設定してください	• 時計を合わせていないと、録音予約やオンタイマーは設定できません。
トラックマークが一杯です	• すでに上限までトラックマークを設定しているため、これ以上追加できません。不要なトラックマークを消去してください（72、73ページ）。
ファイルがありません	• 選んだフォルダには1件もファイルが録音されていません。ファイル移動とオンタイマーの設定などの操作ができません。 • 「カレンダーから検索」で選んだカレンダーの日付には1件も録音されたファイルがありません。

メッセージ表示	原因
トラックマークがありません	• トラックマークが設定されていないため、トラックマークの消去、全分割が実行できません。
電池が残りわずかです	• 電池が残りわずかのため、初期化やフォルダ内消去ができません。新しい単3形乾電池と取り換えてください。充電式電池の場合は、充電済みの電池と取り換えてください(18ページ)。
ファイルが保護されています	• 選んだファイルが保護設定されているか、「読み取り専用」になっています。消去などができません。ポータブルラジオレコーダーで保護設定を解除するか、パソコン上で「読み取り専用」属性をはずすと、操作できるようになります(76ページ)。
過去の日時です	• 現在日時よりも前の日時で録音予約やオンタイマーを設定しようとしています。年月日などもう一度確認して、設定し直してください(42、55ページ)。
登録が一杯です	• ラジオのプリセット登録は30件までです。未使用のプリセット登録を解除してください。
非対応のデータです	• ポータブルラジオレコーダーで対応していないファイル形式のデータです。ポータブルラジオレコーダーが対応しているファイル形式(拡張子)は、LPCM(.wav)/MP3(.mp3)/WMA(.wma)/AAC-LC(.m4a)となります。詳しくはポータブルラジオレコーダーの仕様をご覧ください(118ページ)。 • 著作権保護されたファイルは再生できません。
操作できません	• 再生専用エリアの (Music)タブ、(Podcast)タブで管理されているファイルは分割、カレンダー検索やトラックマーク設定ができません。 • メモリーカードが後発不良(BADBLOCK)になった場合、データの書き込みができません。新しいメモリーカードを準備してください。 • ファイル名が最大文字数に達しているため、分割できません。ファイル名を短くしてください。 • 分割実行位置の前後0.5秒未満にトラックマークが設定されているため、「トラックマーク全分割」が実行できません。 • ファイルの先頭または終端から0.5秒未満にトラックマークが設定されているため、「トラックマーク全分割」が実行できません。 • ファイルの長さが1秒未満のため、分割できません。 • ファイルの先頭または終端から0.5秒未満では、「現在位置分割」は実行できません。
新しいファイルで録音を継続します	• 録音中のファイルがファイルサイズの上限(1 GB)に達しています。ファイルは自動的に分割され、録音を継続します。
フォルダを切り換えます	• または で表示されるフォルダにファイルがひとつもない場合、フォルダが表示できないため、表示できるフォルダに切り換えます。
ファイル数が上限を超えるため分割できません	• フォルダ内のファイルの合計か、全体のファイル数が最大になったため、ファイルの分割はできません。不要なファイルを消去してからやり直してください。
同名のファイルが存在します	• 作成されるファイルと同名のファイルが存在しているため、ファイルの作成ができません。
メモリーカードがありません	• メモリーカードスロットにメモリーカードが挿入されていないため、「メモリー切り換え」、「ファイルコピー」の設定はできません。
分割位置付近のトラックマークを消去しました	• 分割実行位置の前後0.5秒以内にトラックマークが設定されていた場合は、自動的に消去されます。
設定できません 予約99と重複しています	• 他の録音予約と時刻が重なっています。時刻を変更して録音予約設定をし直してください(42ページ)。
予約録音中です 操作できません	• 予約録音中はファンクションの切り換えなどの操作ができません。予約録音を止めてから操作してください(42ページ)。
受信する地域を設定してください	• 「地域設定」で現在ラジオを使っている地域を設定してください(21ページ)。

メッセージ表示	原因
曜日が選択されていません	• 録音予約を「曜日設定」で設定する場合は、曜日を選んでください（43ページ）。
プリセット登録してください	• 放送局をプリセット登録してください（36ページ）。
予約件数の上限20件を超えています	• 録音予約件数が最大になったため、新たに録音予約を設定できません。他の予約を削除してからやり直してください（45ページ）。
開始時刻と終了時刻が同じです	• 録音予約およびオンタイマーの終了時刻は開始時刻から1分後～ 23時間59分後に設定してください。
内蔵メモリーに切り換えて録音します	• 録音先に指定したメモリーカードがいっぱいになった場合は、録音先が自動的に内蔵メモリーに切り換わります。
予約がありません	• 録音予約が設定されていません。
放送局が登録されていません	• 放送局を登録してください（36ページ）。
未登録です。登録時はボタンの長押しが必要です	• お気に入りラジオ局ボタンに放送局を登録してください（30ページ）。
設定できません 時計を設定してください	• 時計合わせをしていないと、自動時刻補正の設定ができません。時計を合わせてください（21ページ）。
設定できません AMラジオのプリセットP01を設定してください	• 時報を利用した時刻の自動補正が設定できません。AMラジオのプリセットP01にNHK第1放送またはNHK第2放送を登録してください。
故障です	• 何らかの原因でシステムエラーが発生しています。一度電池をはずし、再度入れ直してください。

システム上の制約

ポータブルラジオレコーダーの録音方式では、いくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

症状	原因／処置
最大録音時間まで録音できない。	• 様々な録音モードを混ぜて録音すると、最大録音時間は各モードの最大録音時間の間になります。 • 上記の理由により、実際に録音した時間（カウンター表示）の合計と、「録音可能時間」を合計した時間が、最大録音時間より少なくなる場合があります。
音楽ファイルを順番に表示、再生できない。	• パソコンを使って、ポータブルラジオレコーダーに転送した音楽ファイルは、システムの制約により転送順にならないことがあります。パソコンにある音楽ファイルを1ファイルずつポータブルラジオレコーダーに転送すると、表示、再生の順番を転送順に合わせることができます。
録音中に自動的に分割されてしまう。	• 録音中のファイルまたは音楽がファイルサイズの上限（1 GB）に達しています。ファイルは自動的に分割されます。
英文字がすべて大文字になってしまう。	• パソコンで作成したフォルダ名称の文字の組み合わせによっては英文字がすべて大文字になってしまうことがあります。
フォルダ名、タイトル名、アーティスト名、ファイル名に「□」が表示される。	• ポータブルラジオレコーダーで表示できない文字が使用されています。パソコンでポータブルラジオレコーダーで表示可能な別の文字に置き換えてください。
A-Bリピート設定で、設定位置がずれてしまう。	• ファイルによっては、設定位置がずれてしまうことがあります。
ファイルを分割すると、録音可能時間が少なくなる。	• ファイルを分割すると、ファイル管理をする領域が必要になるため、録音可能時間が少なくなります。

表示窓について



1 ポッドキャスト新着情報

2 曲情報種別表示
: 録音可能フォルダ
: 再生専用フォルダ
: ポッドキャストフォルダ
: タイトル
: アーティスト
: ファイル

3 録音時のマイクの感度が表示されます。
H : 高
L : 低

4 曲情報表示
曲情報種別に合わせたそれぞれの名称(フォルダ名、タイトル名、アーティスト名、ファイル名)が表示されます。

5 曲情報切り換え操作ガイド
コントロールボタンの▲または▼を押して、曲情報表示を順に切り換えることができます。

6 動作モード表示
ポータブルラジオレコーダーの動作状態に応じて下記のように表示されます。
: 停止中
: 再生中
録音 : 録音中
: 録音一時停止中に点滅
VOR 録音 : VOR録音中
VOR : VOR録音一時停止中に点滅
VOR録音を「オン」にしているときに●録音/一時停止ボタンを押して録音を一時停止すると だけが点滅します。
SYNC 録音 : シンクロ録音中
SYNC : シンクロ録音一時停止中に点滅
 : 連続ファイル戻し/送り

7 経過時間、残り時間、録音日付、録音時刻表示

8 トラックマーク表示
現在位置のトラックマーク番号が表示されます。トラックマークが設定されているときにだけ表示されます。

9 位置情報表示
選んだファイル番号が分子に、フォルダ内の総ファイル数が分母に表示されます。

10 録音モード表示
停止中はメニューで設定されている録音モードが、再生中または録音中はそのファイルの録音モードが表示されます。
STHQ、STSP、SP : ポータブルラジオレコーダーで録音されたファイル
MP3 : パソコンなどからコピーされたMP3ファイル
LPCM : コピーされたLPCMファイル
WMA : コピーされたWMAファイル
AAC : コピーされたAAC-LCファイル
録音モード情報を取得できないときは、下記のように表示されます。
---- : 不明

11 保護マーク
ファイルが保護設定されているとき表示されます。

12 スリープタイマー表示
ラジオやファイルにスリープタイマーが設定されているときに表示されます。

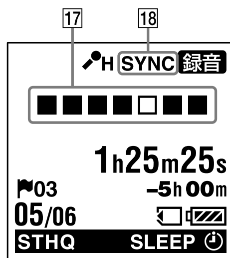
⑬ メモリーカード表示
現在使用しているメモリーがメモリーカードのときにのみ表示されます。内蔵メモリーを使用中は何も表示されません。

⑭ 予約表示
録音予約やオンタイマーが設定されているときに表示されます。

⑮ 電池マーク

⑯ 録音可能時間表示
録音可能時間を時間、分、秒で表示します。
10時間以上の場合：時間
10分以上、10時間未満の場合：時間と分
10分未満の場合：分と秒

録音時(59ページ)



⑰ 録音動作のアニメーション表示

⑱ シンクロ録音、VOR録音表示

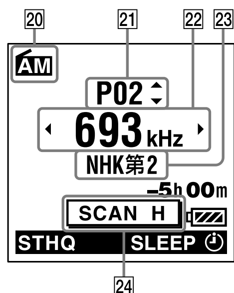
再生時(53ページ)



⑲ 再生モード表示
1：1件
フォルダアイコン：フォルダ
ALL：全件
リピートアイコン 1：1件ファイルリピート
リピートアイコン フォルダアイコン：フォルダ内ファイルリピート
リピートアイコン ALL：全ファイルリピート

困ったときは

ラジオ受信時（28ページ）



20 バンド（AM、FM）マーク
21 プリセット番号
22 周波数
23 放送局名
24 スキャン感度表示（スキャン時）

ラジオ録音時



25 動作モード表示
録音：録音中
●II：録音一時停止中に点滅
26 ラジオ録音経過時間

外部入力時（オーディオ入力時）



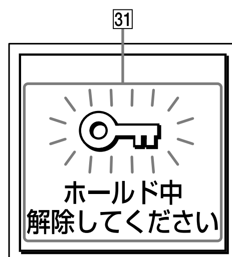
27 外部入力マーク
28 外部入力表示

外部入力時（マイク入力時）



29 外部入力マーク
30 マイク感度表示

ホールド状態時



31 ホールド表示
誤動作防止（ホールド）状態になっているときに操作すると表示されます。すべてのボタン操作が無効になっています。
ホールドを解除するには、ホールドスイッチを「切」の位置にスライドします（17ページ）。

放送局名一覧

ポータブルラジオレコーダーには国内の以下の放送局の名前があらかじめ登録されています。この放送局名一覧は、各地域における代表的な周波数を記載しています。（2012年1月現在）
お使いになる場所によっては周波数が異なる場合があります。

AM

地域設定	放送局名
北海道（札幌）	NHK第1
	NHK第2
	HBCラジオ
	STVラジオ
北海道（函館）	NHK第1
	NHK第2
	HBCラジオ
	STVラジオ
北海道（旭川）	NHK第1
	NHK第2
	HBCラジオ
	STVラジオ
北海道（帯広）	NHK第1
	NHK第2
	HBCラジオ
	STVラジオ
北海道（釧路）	NHK第1
	NHK第2
	HBCラジオ
	STVラジオ
北海道（北見）	NHK第1
	NHK第2
	HBCラジオ
	STVラジオ
北海道（室蘭）	NHK第1
	NHK第2
	HBCラジオ
	STVラジオ
青森	NHK第1
	NHK第2
	IBCラジオ
	ABSラジオ
	RABラジオ
	AFN
岩手	NHK第1
	NHK第2
	IBCラジオ
	ABSラジオ
	RABラジオ
	AFN
秋田	NHK第1
	NHK第2
	IBCラジオ
	ABSラジオ
	RABラジオ
	AFN
宮城	NHK第1
	NHK第2
	YBCラジオ
	TBCラジオ
	ラジオ福島
山形	NHK第1
	NHK第2
	YBCラジオ
	TBCラジオ
	ラジオ福島
福島	NHK第1
	NHK第2
	YBCラジオ
	TBCラジオ
	ラジオ福島
埼玉	NHK第1
	NHK第2
	AFN
	TBSラジオ
	文化放送
	ニッポン放送
	ラジオ日本
千葉	NHK第1
	NHK第2
	AFN
	TBSラジオ
	文化放送
	ニッポン放送
	ラジオ日本
東京	NHK第1
	NHK第2
	AFN
	TBSラジオ
	文化放送
	ニッポン放送
	ラジオ日本
神奈川	NHK第1
	NHK第2
	AFN
	TBSラジオ
	文化放送
	ニッポン放送
	ラジオ日本
茨城	NHK第1
	NHK第2
	TBSラジオ
	文化放送
	IBS茨城放送
	ニッポン放送
	CRT栃木放送
栃木	NHK第1
	NHK第2
	TBSラジオ
	文化放送
	IBS茨城放送
	ニッポン放送
	CRT栃木放送
群馬	NHK第1
	NHK第2
	TBSラジオ
	文化放送
	IBS茨城放送
	ニッポン放送
	CRT栃木放送
山梨	NHK第1
	NHK第2
	YBSラジオ
	SBCラジオ
	SBSラジオ
長野	NHK第1
	NHK第2
	YBSラジオ
	SBCラジオ
	SBSラジオ
静岡	NHK第1
	NHK第2
	YBSラジオ
	SBCラジオ
	SBSラジオ

地域設定	放送局名
愛知	NHK第1
	NHK第2
	CBCラジオ
	東海ラジオ
	AM岐阜ラジオ
岐阜	NHK第1
	NHK第2
	CBCラジオ
	東海ラジオ
	AM岐阜ラジオ
三重	NHK第1
	NHK第2
	CBCラジオ
	東海ラジオ
	AM岐阜ラジオ
新潟	NHK第1
	NHK第2
	KNBラジオ
	FBCラジオ
	MROラジオ
	BSNラジオ
富山	NHK第1
	NHK第2
	KNBラジオ
	FBCラジオ
	MROラジオ
	BSNラジオ
石川	NHK第1
	NHK第2
	KNBラジオ
	FBCラジオ
	MROラジオ
	BSNラジオ

地域設定	放送局名
福井	NHK第1
	NHK第2
	KNBラジオ
	FBCラジオ
	MROラジオ
	BSNラジオ
大阪	NHK第1
	NHK第2
	ラジオ関西
	ABCラジオ
	KBS京都
	MBSラジオ
	ラジオ大阪
京都	NHK第1
	NHK第2
	ラジオ関西
	ABCラジオ
	KBS京都
	MBSラジオ
	ラジオ大阪
兵庫	NHK第1
	NHK第2
	ラジオ関西
	ABCラジオ
	KBS京都
	MBSラジオ
	ラジオ大阪
滋賀	NHK第1
	NHK第2
	ABCラジオ
	KBS京都
	MBSラジオ
	ラジオ大阪
	WBS和歌山放送

地域設定	放送局名
奈良	NHK第1
	NHK第2
	ABCラジオ
	KBS京都
	MBSラジオ
	ラジオ大阪
	WBS和歌山放送
和歌山	NHK第1
	NHK第2
	ABCラジオ
	KBS京都
	MBSラジオ
	ラジオ大阪
	WBS和歌山放送
鳥取	NHK第1
	NHK第2
	KRYラジオ
	BSSラジオ
	RCCラジオ
	RSKラジオ
	AFN
島根	NHK第1
	NHK第2
	KRYラジオ
	BSSラジオ
	RCCラジオ
	RSKラジオ
	AFN
岡山	NHK第1
	NHK第2
	KRYラジオ
	BSSラジオ
	RCCラジオ
	RSKラジオ
	AFN

地域設定	放送局名
広島	NHK第1
	NHK第2
	KRYラジオ
	BSSラジオ
	RCCラジオ
	RSKラジオ
	AFN
山口	NHK第1
	NHK第2
	KRYラジオ
	BSSラジオ
	RCCラジオ
	RSKラジオ
	AFN
徳島	NHK第1
	NHK第2
	RKCラジオ
	RNBラジオ
	JRTラジオ
	RNCラジオ
香川	NHK第1
	NHK第2
	RKCラジオ
	RNBラジオ
	JRTラジオ
	RNCラジオ
愛媛	NHK第1
	NHK第2
	RKCラジオ
	RNBラジオ
	JRTラジオ
	RNCラジオ
高知	NHK第1
	NHK第2
	RKCラジオ
	RNBラジオ
	JRTラジオ
	RNCラジオ

地域設定	放送局名
福岡（福岡）	NHK第1
	NHK第2
	OBSラジオ
	NBCラジオ
	RKBラジオ
	KBCラジオ
	AFN
福岡（北九州）	NHK第1
	NHK第2
	OBSラジオ
	NBCラジオ
	RKBラジオ
	KBCラジオ
	AFN
佐賀	NHK第1
	NHK第2
	OBSラジオ
	NBCラジオ
	RKBラジオ
	KBCラジオ
	AFN
長崎	NHK第1
	NHK第2
	OBSラジオ
	NBCラジオ
	RKBラジ--オ
	KBCラジオ
	AFN
大分	NHK第1
	NHK第2
	OBSラジオ
	NBCラジオ
	RKBラジオ
	KBCラジオ
	AFN

地域設定	放送局名
熊本	NHK第1
	NHK第2
	AFN
	RBCiラジオ
	ROKラジオ沖縄
	MRTラジオ
	MBCラジオ
	RKKラジオ
宮崎	NHK第1
	NHK第2
	AFN
	RBCiラジオ
	ROKラジオ沖縄
	MRTラジオ
	MBCラジオ
	RKKラジオ
鹿児島	NHK第1
	NHK第2
	AFN
	RBCiラジオ
	ROKラジオ沖縄
	MRTラジオ
	MBCラジオ
	RKKラジオ
沖縄	NHK第1
	NHK第2
	AFN
	RBCiラジオ
	ROKラジオ沖縄
	MRTラジオ
	MBCラジオ
	RKKラジオ

FM

地域設定	放送局名
北海道（札幌）	NHK-FM
	AIR-G'
	NORTH WAVE
北海道（函館）	NHK-FM
	AIR-G'
	NORTH WAVE
北海道（旭川）	NHK-FM
	AIR-G'
	NORTH WAVE
北海道（帯広）	NHK-FM
	AIR-G'
	NORTH WAVE
北海道（釧路）	NHK-FM
	AIR-G'
	NORTH WAVE
北海道（北見）	NHK-FM
	AIR-G'
	NORTH WAVE
北海道（室蘭）	NHK-FM
	AIR-G'
	NORTH WAVE
青森	NHK-FM
	エフエム岩手
	エフエム青森
	エフエム秋田
岩手	NHK-FM
	エフエム岩手
	エフエム青森
	エフエム秋田
秋田	NHK-FM
	エフエム岩手
	エフエム青森
	エフエム秋田
宮城	NHK-FM
	Date fm
	FM山形
	ふくしまFM

地域設定	放送局名
山形	NHK-FM
	Date fm
	FM山形
	ふくしまFM
福島	NHK-FM
	Date fm
	FM山形
	ふくしまFM
埼玉	NHK-FM
	InterFM
	放送大学
	bayfm
	FM NACK5
	TOKYO FM
	J-WAVE
	FMヨコハマ
千葉	NHK-FM
	InterFM
	放送大学
	bayfm
	FM NACK5
	TOKYO FM
	J-WAVE
	FMヨコハマ
東京	NHK-FM
	InterFM
	放送大学
	bayfm
	FM NACK5
	TOKYO FM
	J-WAVE
	FMヨコハマ

地域設定	放送局名
神奈川	NHK-FM
	InterFM
	放送大学
	bayfm
	FM NACK5
	TOKYO FM
	J-WAVE
	FMヨコハマ
茨城	NHK-FM
	RADIO BERRY
	放送大学
	FMぐんま
栃木	NHK-FM
	RADIO BERRY
	放送大学
	FMぐんま
群馬	NHK-FM
	RADIO BERRY
	放送大学
	FMぐんま
山梨	NHK-FM
	K-MIX
	FM長野
	FM-FUJI
長野	NHK-FM
	K-MIX
	FM長野
	FM-FUJI
静岡	NHK-FM
	K-MIX
	FM長野
	FM-FUJI
愛知	NHK-FM
	ZIP-FM
	Radio 80
	FM AICHI
	レディオキューブ FM三重
岐阜	NHK-FM
	ZIP-FM
	Radio 80
	FM AICHI
	レディオキューブ FM三重
三重	NHK-FM
	ZIP-FM
	Radio 80
	FM AICHI
	レディオキューブ FM三重
新潟	NHK-FM
	FM福井
	FM-NIIGATA
	FM PORT
	エフエム石川
	FMとやま
	KNBラジオ
富山	NHK-FM
	FM福井
	FM-NIIGATA
	FM PORT
	エフエム石川
	FMとやま
	KNBラジオ
石川	NHK-FM
	FM福井
	FM-NIIGATA
	FM PORT
	エフエム石川
	FMとやま
	KNBラジオ
福井	NHK-FM
	FM福井
	FM-NIIGATA
	FM PORT
	エフエム石川
	FMとやま
	KNBラジオ
大阪	NHK-FM
	FM COCOLO
	FM802
	FM OSAKA
	α-STATION
	Kiss-FM KOBE
京都	NHK-FM
	FM COCOLO
	FM802
	FM OSAKA
	α-STATION
	Kiss-FM KOBE
兵庫	NHK-FM
	FM COCOLO
	FM802
	FM OSAKA
	α-STATION
	Kiss-FM KOBE
滋賀	NHK-FM
	FM COCOLO
	e-radio
	FM802
	FM OSAKA
	α-STATION
奈良	NHK-FM
	FM COCOLO
	e-radio
	FM802
	FM OSAKA
	α-STATION
和歌山	NHK-FM
	FM COCOLO
	e-radio
	FM802
	FM OSAKA
	α-STATION
鳥取	NHK-FM
	FM岡山
	V-air エフエム山陰
	HFM
	エフエム山口
島根	NHK-FM
	FM岡山
	V-air エフエム山陰
	HFM
	エフエム山口
岡山	NHK-FM
	FM岡山
	V-air エフエム山陰
	HFM
	エフエム山口
広島	NHK-FM
	FM岡山
	V-air エフエム山陰
	HFM
	エフエム山口
山口	NHK-FM
	FM岡山
	V-air エフエム山陰
	HFM
	エフエム山口

地域設定	放送局名
徳島	NHK-FM
	FM香川
	FM愛媛
	エフエム徳島
	Hi-Six FM高知
香川	NHK-FM
	FM香川
	FM愛媛
	エフエム徳島
	Hi-Six FM高知
愛媛	NHK-FM
	FM香川
	FM愛媛
	エフエム徳島
	Hi-Six FM高知
高知	NHK-FM
	FM香川
	FM愛媛
	エフエム徳島
	Hi-Six FM高知
福岡（福岡）	NHK-FM
	LOVE FM
	エフエム佐賀
	cross fm
	エフエム長崎
	fm fukuoka
	エフエム大分
福岡（北九州）	NHK-FM
	LOVE FM
	エフエム佐賀
	cross fm
	エフエム長崎
	fm fukuoka
	エフエム大分

地域設定	放送局名
佐賀	NHK-FM
	LOVE FM
	エフエム佐賀
	cross fm
	エフエム長崎
	fm fukuoka
	エフエム大分
長崎	NHK-FM
	LOVE FM
	エフエム佐賀
	cross fm
	エフエム長崎
	fm fukuoka
	エフエム大分
大分	NHK-FM
	LOVE FM
	エフエム佐賀
	cross fm
	エフエム長崎
	fm fukuoka
	エフエム大分
熊本	NHK-FM
	FMKエフエム·クマモト
	μ-FMエフエム鹿児島
	JOY FM FM宮崎
	エフエム沖縄
	AFN
	NHK第1
	NHK第2
	RBCiラジオ
	ROKラジオ沖縄

地域設定	放送局名
宮崎	NHK-FM
	FMKエフエム·クマモト
	μ-FMエフエム鹿児島
	JOY FM FM宮崎
	エフエム沖縄
	AFN
	NHK第1
	NHK第2
	RBCiラジオ
	ROKラジオ沖縄
鹿児島	NHK-FM
	FMKエフエム·クマモト
	μ-FMエフエム鹿児島
	JOY FM FM宮崎
	エフエム沖縄
	AFN
	NHK第1
	NHK第2
	RBCiラジオ
	ROKラジオ沖縄
沖縄	NHK-FM
	FMKエフエム·クマモト
	μ-FMエフエム鹿児島
	JOY FM FM宮崎
	エフエム沖縄
	AFN
	NHK第1
	NHK第2
	RBCiラジオ
	ROKラジオ沖縄

著作権と商標について

著作権について

- 権利者の許諾を得ることなく、このマニュアルの全部または一部を複製、転用、送信等を行うことは、著作権法上禁止されております。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上権利者に無断で使用できません。著作権の対象になっている画像やデータの記録されたメモリースティック™ メディアは、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意ください。

モジュールについて

Sound Organizerは、以下のソフトウェアモジュールを使用しています。
Windows Media Format Runtime

商標について

- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac OSは米国その他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
- Pentiumは米国Intel Corporationの商標または登録商標です。
- 本機はFraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
- SD、SDHC、microSDおよびmicroSDHCロゴはSD-3C, LLC. の商標です。





- “メモリースティック”、“メモリースティック デュオ”、“メモリースティック PRO デュオ”、“メモリースティック PRO-HG デュオ”、“メモリースティック マイクロ”（“M2”）および MEMORY STICK™ は、ソニー株式会社の商標または登録商標です。



- “MagicGate” はソニー株式会社の商標です。
- AmiVoiceおよびAmiVoiceのロゴマークは株式会社アドバンスト･メディアの商標です。
- Nuance、Nuanceのロゴ、Dragon、Dragon NaturallySpeaking、RealSpeakは、米国とその他の国々におけるNuance Communications Inc.、およびその関連会社の商標または登録商標です。
- 本機は、ドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では®、™マークは明記していません。

“M2” は “メモリースティック マイクロ” の略称です。本文では略称M2™を用いて記述しています。

This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft Corporation. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft or an authorized Microsoft subsidiary.

使用上のご注意

ご使用場所について

運転中のご使用は危険ですのでおやめください。

取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- 次のような場所には置かないでください。
  - 温度が非常に高いところ(60℃以上)。
  - 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
  - 窓を閉めきった自動車内(特に夏期)。
  - 風呂場など湿気の多いところ。
  - ほこりの多いところ。
- 水がかからないようご注意ください。ポータブルラジオレコーダーは防水仕様ではありません。特にキッチンでの使用や、雨や雪、湿度の多い場所での使用はご注意ください。
- 空気が乾燥する時期にヘッドホンを使用すると、耳にピリピリと痛みを感じることがありますが、ヘッドホンの故障ではなく、人体に蓄積された静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身に着けていただくことにより、軽減されます。

万一故障した場合は、内部を開けずにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

ノイズについて

- 録音中や再生中にポータブルラジオレコーダーを電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。
- 録音中にポータブルラジオレコーダーに手などが当たったり、こすったりすると、雑音が録音されることがあります。

お手入れ

本体表面が汚れたときは、水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナーやベンジン、アルコール類は表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

バックアップのおすすめ

万一の誤消去や、ポータブルラジオレコーダーの故障などによるデータの消滅や破損にそなえ、大切な録音内容は、必ずパソコンなどにバックアップしてください。

メモリーカードのご使用について

ご注意

- 初期化(フォーマット)は必ずポータブルラジオレコーダーで行ってください。パソコンなどポータブルラジオレコーダー以外の機器を用いて初期化したメモリーカードは、ポータブルラジオレコーダーでの動作を保証しません。
- すでにデータが書き込まれているメモリーカードを初期化すると、そのデータが消去されてしまいます。誤って大切なデータを消去することがないよう、ご注意ください。
- メモリーカードは、小さいお子様の手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込むおそれがあります。
- 録音／再生／初期化中は、メモリーカードを抜き差ししないでください。故障の原因となります。
- 表示窓に「アクセス中...」のアニメーションが表示されている間や、アクセスランプがオレンジに点滅している間はメモリーカードを取り出さないでください。データが破損するおそれがあります。
- 対応仕様のメモリーカードでも、すべてのメモリーカードでの動作を保証するものではありません。
- メモリースティック デュオ™、M2™の対応表については、http://www.sony.jp/products/ms/compatible/icrecorder.html をご覧ください。
- SD/SDHCカード、microSD/SDHCカードの対応表については、http://www.sony.jp/sd/compatible/index.html をご覧ください。
- “MagicGate™”(マジックゲート)は、ソニーが開発した、著作権を保護する技術の総称です。ポータブルラジオレコーダーは、MagicGate™によるデータ録音、再生には対応していません。
- ポータブルラジオレコーダーはパラレルデータ転送には対応していません。
- ROMタイプのメモリーカード、誤消去防止、書込み禁止のメモリーカードは、ご使用できません。

- 以下の場合、データが破壊されることがあります。
  - 読み込み中、書き込み中にメモリーカードを取り出したり、機器の電源を切った場合
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- お客様の記録したデータの破損（消滅）については、弊社は一切その責任を負いかねますのでご容赦ください。
- 大切なデータは、バックアップを取っておくことをおすすめします。
- 端子部には手や金属などを触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用はしないでください。
  - 使用条件範囲以外の場所（炎天下や夏場の窓を閉め切った車の中、直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど）
  - 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所
- ご使用の際は正しい挿入方向をご確認ください。
- “メモリースティック マイクロ”をポータブルラジオレコーダーでお使いの場合は、必ず“メモリースティック マイクロ”をM2デュオサイズアダプターに入れてからお使いください。
- M2デュオサイズアダプターに装着されていない状態で挿入されますと、“メモリースティック マイクロ”が取り出せなくなる可能性があります。
- 誤消去防止スイッチが付いていない“メモリースティック デュオ”をご使用の際は、誤ってデータを編集したり、消去しないようご注意ください。
- 誤消去防止スイッチのついた“メモリースティック デュオ”をご使用の際は、スイッチを「LOCK」にするとデータの記録や変更、消去ができなくなります。
- 誤消去防止スイッチを動かすときは、先の細いもので動かしてください。
- メモエリアに書きこむときは、あまり強い圧力をかけないでください。
- 持ち運びや保管の際は、専用の収納ケースに入れてください。
- 誤消去防止スイッチが付いていない“メモリースティック PRO デュオ”をご使用の際は、誤ってデータを編集したり、消去しないようご注意ください。
- 誤消去防止スイッチのついた“メモリースティック PRO デュオ”をご使用の際は、スイッチを「LOCK」にするとデータの記録や変更、消去ができなくなります。
- ポータブルラジオレコーダーでは、標準サイズの“メモリースティック”はご使用になれません。

主な仕様

必要なシステム構成

Sound Organizerを使う場合

Sound Organizerをお使いの場合は、92ページをご覧ください。

Sound Organizerを使わない場合

Sound Organizerを使わずにパソコンと接続する場合や、USBメモリーとして使う場合に必要なシステム構成は以下の通りです。

OS

- Windows 8
- Windows 8 Pro
- Windows 7 Ultimate Service Pack 1以降
- Windows 7 Professional Service Pack 1以降
- Windows 7 Home Premium Service Pack 1以降
- Windows 7 Home Basic Service Pack 1以降
- Windows 7 Starter Service Pack 1以降
- Windows Vista Ultimate Service Pack 2以降
- Windows Vista Business Service Pack 2以降
- Windows Vista Home Premium Service Pack 2以降
- Windows Vista Home Basic Service Pack 2以降
- Windows XP Media Center Edition 2005 Service Pack 3以降
- Windows XP Media Center Edition 2004 Service Pack 3以降
- Windows XP Professional Service Pack 3以降
- Windows XP Home Edition Service Pack 3以降
- Mac OS X（v10.3.9 ～ v10.8）

標準インストール（日本語版のみ）

ご注意

- 上記のOSがパソコン工場出荷時にインストールされている必要があります。
  アップグレードした場合や、マルチブート環境の場合は、動作保証いたしません。
- Windows XPについては、64ビット版のOSは動作保証いたしません。
- 最新の対応OSについては、121ページに記載のカスタマーサポートページをご覧ください。

以下の性能を満たしたWindowsコンピューターまたはMac

- サウンドボード：各OSに対応したもの
- USBポート
- ディスクドライブ：音楽CDを作成する場合はCD-R/RWドライブが必要です。

ご注意

推奨環境すべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。また、自作パソコンなどへお客様自身がインストールしたものや、アップグレードしたもの、マルチブート環境、マルチモニタ環境での動作保証はいたしません。

ポータブルラジオレコーダーの仕様

容量（ユーザー使用可能領域：ポータブルラジオレコーダーで内蔵メモリーを初期化した場合）

8 GB（約7.20 GB = 7,730,941,132 Byte）

メモリー容量の一部をデータ管理領域として使用しています。

周波数範囲

STHQモード：50 Hz ～ 20,000 Hz
STSPモード：50 Hz ～ 16,000 Hz
SPモード：50 Hz ～ 14,000 Hz

MP3対応ビットレート、サンプリング周波数[*1]

ビットレート：32 kbps ～ 320 kbps、
可変ビットレート（VBR）対応
サンプリング周波数：
16/22.05/24/32/44.1/48 kHz
拡張子：.mp3

[*1] これに加えてポータブルラジオレコーダーの各録音モードで録音したMP3ファイルの再生にも対応しています。すべてのエンコーダーに対応しているわけではありません。

WMA対応ビットレート、サンプリング周波数＊2
ビットレート：32 kbps 〜 192 kbps、
可変ビットレート（VBR）対応
サンプリング周波数：44.1 kHz
拡張子：.wma

＊2 WMA Ver.9には準拠していますが、MBR（Multi Bit Rate）、Lossless、Professional、Voiceには対応していません。
著作権保護されたファイルは再生できません。
すべてのエンコーダーに対応しているわけではありません。

AAC-LC対応ビットレート、サンプリング周波数＊3
ビットレート：16 kbps 〜 320 kbps、
可変ビットレート（VBR）対応
サンプリング周波数：
11.025/12/16/22.05/24/32/44.1/48 kHz
拡張子：.m4a

＊3 著作権保護されたファイルは再生できません。
すべてのAACエンコーダーに対応しているわけではありません。

リニアPCM対応サンプリング周波数、ビット
サンプリング周波数：44.1 kHz
ビット：16 ビット
拡張子：.wav

AMラジオ受信周波数
531 kHz 〜 1,629 kHz

AMアンテナ
フェライトバーアンテナ（内蔵）、ループアンテナ（付属）

FMラジオ受信周波数
76.0 MHz 〜 90.0 MHz

FMアンテナ
ロッドアンテナ（本体）、FMラジオ用アンテナ接続ケーブルジャック経由（外部）

スピーカー
直径48 mm

入・出力端子
外部入力（オーディオ／マイク）（ステレオミニジャック）
　プラグインパワー対応
　最小入力レベル：1.2 mV
ヘッドホン（ステレオミニジャック）
　推奨負荷インピーダンス：16Ω
USB端子（USB mini-B端子）
　High-Speed USB対応
メモリースティック デュオ™／ SD対応スロット

再生スピード調節（DPC）
2.00倍速〜 0.50倍速（MP3/WMA/AAC-LC）
1.00倍速〜 0.50倍速（LPCM）

実用最大出力
0.5 W + 0.5 W

電源
DC5.0 V、ACアダプター（付属）使用時
DC6.0 V、単3形アルカリ乾電池（別売）4本
DC4.8 V、単3形充電式ニッケル水素電池（別売）4本

動作温度
5℃〜 35℃

最大外形寸法（最大突起部含まず）
約195.0 mm×122.5 mm×35.0 mm
（幅／高さ／奥行き）（JEITA＊4）

質量
約460 g（単3形アルカリ乾電池含まず）
約552 g（単3形アルカリ乾電池4本含む）
（JEITA＊4）

＊4 電子情報技術産業協会（JEITA）規格

付属品
14ページ参照

別売アクセサリー
オーディオコード RK-G136、RK-G139
充電式単3形ニッケル水素電池 NH-AA-4BKB
充電器セット BCG34HH4K

ポータブルラジオレコーダーの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

最大録音時間[*5*6]
最大録音時間は、全フォルダ合わせて表のとおりです。

録音モード	内蔵メモリー	メモリーカード				
		2 GB	4 GB	8 GB	16 GB	32 GB
STHQモード （ステレオ高音質モード）	89時間 25分	22時間 20分	44時間 40分	89時間 25分	178時間 0分	357時間 0分
STSPモード （ステレオ標準モード）	134時間 0分	33時間 30分	67時間 5分	134時間 0分	268時間 0分	536時間 0分
SPモード （モノラルモード）	357時間 0分	89時間 25分	178時間 0分	357時間 0分	715時間 0分	1431時間 0分

*5 連続録音の場合は、途中電池交換が必要になります。詳しくは下記の電池の持続時間をご確認ください。
*6 表記の最大録音時間は目安です。カードの仕様によって変わることがあります。

音楽ファイル最大再生時間／ファイル数[*7]

ビットレート	再生時間	曲数
48 kbps	357時間0分	5,355ファイル
128 kbps	134時間0分	2,010ファイル
192 kbps	89時間25分	1,341ファイル

*7 パソコンにある1ファイル4分のMP3ファイルを転送して再生する場合

電池の持続時間

乾電池の持続時間[*]（ソニーアルカリ乾電池LR6（SG）を連続使用時）

録音モード	マイク録音時	スピーカー再生時	ヘッドホン再生時	ラジオ録音（スピーカーモニター）時	ラジオ録音（ヘッドホンモニター）時	外部入力録音（スピーカーモニター）時
リニアPCMモード	—	13時間0分	85時間0分	—	—	—
STHQ/STSP/SPモード	105時間0分	13時間0分	85時間0分	11時間0分	43時間0分	13時間0分
音楽ファイル (128kbps/44.1 kHz)	—	13時間0分	85時間0分	—	—	—
ラジオ受信	—	11時間0分	50時間0分	—	—	—
外部入力	—	13時間0分	—	—	—	—

充電式電池の持続時間[*]（ソニー充電式ニッケル水素電池NH-AA-4BKBを連続使用時）

録音モード	マイク録音時	スピーカー再生時	ヘッドホン再生時	ラジオ録音（スピーカーモニター）時	ラジオ録音（ヘッドホンモニター）時	外部入力録音（スピーカーモニター）時
リニアPCMモード	—	13時間0分	67時間0分	—	—	—
STHQ/STSP/SPモード	92時間0分	13時間0分	67時間0分	11時間0分	39時間0分	13時間0分
音楽ファイル (128kbps/44.1 kHz)	—	13時間0分	67時間0分	—	—	—
ラジオ受信	—	11時間0分	41時間0分	—	—	—
外部入力	—	13時間0分	—	—	—	—

* 電子情報技術産業協会（JEITA）規格による測定値です。使用条件によって短くなる場合があります。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付（取扱説明書の裏面）されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

ソニーの相談窓口（裏表紙）、お買い上げ店、またはソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではポータブルラジオレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

サポートホームページで調べる

パソコンをインターネットに接続できる環境の場合、ポータブルラジオレコーダー「サポート・お問い合わせ」のホームページ（http://www.sony.jp/support/ic-recorder/）でトラブルの解決方法や最新情報などを調べることができます。

サポートホームページでは、以下の情報などを見ることができます。

□ Q&A（よくある問い合わせ情報）
□ 動画でサポート（上手な録音方法（シーン別録音のコツ）など）
□ ソフトウェアアップデートなどの最新情報
□ 製品別サポート情報
□ Sound Organizerのソフトウェアの使いかた
□ 重要なお知らせ（サポートからの重要なお知らせ）
□ 製品登録（製品登録へのご案内）
□ Sound Organizerや「ヘルプガイド」のダウンロードサービス

ヘルプガイドで調べる

ヘルプガイドは、本体内蔵メモリーからポータブルラジオレコーダーガイドをインストールするか、ヘルプガイドページ（http://rd1.sony.net/help/icd/iczr51/jp/）で見ることができます。

ポータブルラジオレコーダーガイドをインストールする。

1 ポータブルラジオレコーダーの (USB)端子とパソコンのUSBポートに、付属のUSBケーブルを奥まで差し込み接続する。

2 インストールする。

Windowsでは、「コンピュータ」または「マイコンピュータ」を開き、「RADIO REC」→[FOR WINDOWS] → [Help_Guide_Installer_for_Win]（または[Help_Guide_Installer_for_Win.exe]）をダブルクリックする。

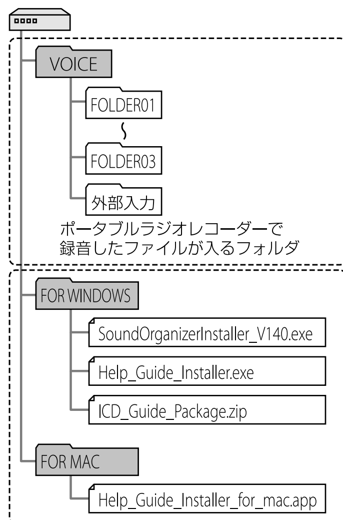
Macでは、Finderを使って、デバイスの「RADIO REC」を開き、[FOR MAC] → [Help_Guide_Installer_for_Mac]（または、[Help_Guide_Installer_for_Mac.app]）をクリックする。(v10.5.8 以降)

3 インストールしたあとに、パソコンのデスクトップの[Help_Guide_icdsx3_jp.htm]アイコンをダブルクリックする。

「ヘルプガイド」が表示されます。

フォルダとファイルの構成

パソコンの画面で見ると、次の図のように表示されます。



索引

数字、記号、アルファベット順

五十音順

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

ら行

お問い合わせ窓口のご案内

本機についてご不明な点や技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

- **ホームページで調べるには→カスタマーサポートへ（http://www.sony.jp/support/ic-recorder）**
  ポータブルラジオレコーダーに関する最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答をご案内するホームページです。
- **電話・FAX でのお問い合わせは→ソニーの相談窓口へ（下記電話・FAX 番号）**
  - 本機の商品カテゴリーは［ポータブルラジオレコーダー］です。
  - お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。

◆セット本体に関するご質問時：
- 型名：ICZ-R51
- ご相談内容：できるだけ詳しく
- シリアルナンバー：電池ボックス内
- お買い上げ年月日

◆ソフトウェアに関連するご質問時：
質問の内容によっては、お客さまのシステム環境について質問させていただく場合があります。上記内容に加えて、システム環境を事前に分かる範囲でご確認いただき、お知らせください。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。　**http://www.sony.jp/support/**

使い方相談窓口	フリーダイヤル	0120-333-020
	携帯電話・PHS・一部のIP電話	0466-31-2511
修理相談窓口	フリーダイヤル	0120-222-330
	携帯電話・PHS・一部のIP電話	0466-31-2531

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。



左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「304」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通）0120-333-389

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

無料修理規定

1. 正常な使用状態で保証期間内に製品（ハードウェア）が故障した場合には、本書に従い無料修理をさせていただきます。本書記載の修理対応の種別（出張修理、持込修理、引取修理）をご確認の上、以下の要領でご依頼および本書（再発行しませんので、大切に保管してください）の提示・提出をお願いいたします。なお、受付窓口の種類は、(1)お買上げの販売店、(2)お近くのソニーサービスステーション、(3)本書に記載の修理相談窓口の３種類です。

種別	受付窓口	保証書の提示・提出	注意事項
出張修理	(1)(2)(3)	出張修理担当者が訪問した際に提示	※1
持込修理	(1)(2)	持参した製品の修理依頼の際に提示	※2
引取修理	(3)	製品の引取時に指定業者へ提出	

※1 離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理となる場合、出張費用（実費）を申し受けます。
※2 (1)(2)へのご依頼が難しい場合は、(3)にご相談ください。

2. お客様のご要望により、出張修理の種別について引取修理を、持込修理の種別について出張修理・引取修理を、引取修理の種別について出張修理を行う場合は、別途所定の料金を申し受けます。
3. 保証期間内の故障でも次の場合には有料となります。

(1)本書のご提示がない場合(2)本書のお買上げの年月日、お客様名、販売店名を書き換えた場合(3)お買上げの年月日、販売店が確認できない場合(4)保証期間中に発生した故障について、保証期間終了後に修理依頼された場合(5)使用上の誤り（取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った正常な使用をしなかった場合を含む）による故障・損傷(6)他の機器から受けた障害または不当な修理、改造による故障・損傷(7)お買上げ後の移設、輸送、落下などによる故障・損傷(8)火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧などによる故障・損傷(9)業務用など一般家庭用以外での使用による故障・損傷(10)消耗・摩耗した部品の交換、汚損した部分の交換

4. 故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。
5. 修理に際して再生部品・代替部品を使用する場合があります。また、修理により交換した部品は弊社が任意に回収のうえ適切に処理・処分させていただきます。
6. 本書に基づく無料修理（製品交換を含む）後の製品については、最初のご購入時の保証期間が適用されます。
7. 故障によりお買上げの製品を使用できなかったことによる損害については補償いたしません。
8. 記録媒体を搭載または使用する製品の場合、故障の際または修理・交換により記録内容が消失等する場合がありますが、記録内容についての補償はいたしません。
9. 本書は日本国内でのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

修理メモ	

＊本書はお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
＊保証期間後の修理については、取扱説明書等をご覧ください。

T01-1

保証書

持込修理

品名	ポータブルラジオレコーダー
型名	ICZ-R51
お買い上げ日	平成・西暦　　年　　月　　日

本書は、本書記載内容（裏面記載）で無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げの日から下記期間中に故障が発生した場合は、お客様欄にご記入の上、修理をお申付けください。

販売店	

お問合せ先：修理相談窓口
フリーダイヤル：**0120-222-330**（FAX 0120-333-389）
携帯電話・PHS・一部のIP電話からは、0466-31-2531
ホームページ：http://www.sony.jp/support/
ソニーマーケティング株式会社
東京都港区港南1-7-1 〒108-0075

保証期間	お買上げの日から　1年
お客様住所 お名前	電話　-　- 様

TO1-1



(2)